

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-4)	選択必修B
担当教員			
浜川 仁			

授業のテーマ及び到達目標	文の基礎を習得し、短い英文を書く力を養う。
授業計画	<p>第1回 文のなりたち、文の種類 Part 1 英語の語順 18 Part 2 基本的な文の形 22</p> <p>第2回 動詞と文型 Part 1 動詞の使い方と文型 32 Part 2 1 動詞の使い方 36 2 文型 38</p> <p>第3回 動詞と時制（現在形と現在進行形） Part 1 「時」をどのように表すか 56 Part 2 1 現在形と現在進行形 61 2 過去形と過去進行形 67 3 未来を表す表現 70</p> <p>第4回 動詞と時制（過去形と過去進行形、未来を表す表現） Part 1 「時」をどのように表すか 56 Part 2 1 現在形と現在進行形 61 2 過去形と過去進行形 67 3 未来を表す表現 70</p> <p>第5回 完了形（現在完了形と現在完了進行形） Part 1 完了形が表す意味 82 Part 2 1 現在完了形と現在完了進行形 86 2 過去完了形と過去完了進行形 94</p> <p>第6回 完了形（過去完了形と過去完了進行形） Part 1 完了形が表す意味 82 Part 2 1 現在完了形と現在完了進行形 86 2 過去完了形と過去完了進行形 94</p> <p>第7回 助動詞（能力・許可、義務・必要） Part 1 助動詞の役割 110 Part 2 1 能力・許可を表す助動詞 112 2 義務・必要を表す助動詞 116 3 可能性・推量を表す助動詞 120 4 will / would / shall の用法 123 5 need / used toの用法 126</p> <p>第8回 助動詞（可能性・推量、will, would shall, need, used to） Part 1 助動詞の役割 110 Part 2 1 能力・許可を表す助動詞 112 2 義務・必要を表す助動詞 116 3 可能性・推量を表す助動詞 120 4 will / would / shall の用法 123 5 need / used toの用法 126</p> <p>第9回 態 Part 1 受動態の形と意味 144 Part 2 1 受動態の基本形 148 2 受動態のさまざまな形 (1) 149 3 語順に注意する受動態 153</p> <p>第10回 不定詞 Part 1 不定詞とは 168 Part 2 1 不定詞の名詞的用法 172 2 不定詞の形容詞的用法 173 3 不定詞の副詞的用法 176 4 SVO + to 不定詞 180 5 不定詞の意味上の主語と否定語の位置 182 6 使役動詞・知覚動詞を使った表現 185</p> <p>第11回 不定詞の意味上の主語、使役動詞、知覚動詞を使った表現 Part 1 不定詞とは 168 Part 2 1 不定詞の名詞的用法 172 2 不定詞の形容詞的用法 173 3 不定詞の副詞的用法 176 4 SVO + to 不定詞 180 5 不定詞の意味上の主語と否定語の位置 182 6 使役動詞・知覚動詞を使った表現 185</p> <p>第12回 動名詞 Part 1 動名詞とは 202 Part 2 1 動名詞の働き 206 2 動名詞の意味上の主語と否定語の位置 209</p>

第13回	分詞 Part 1 分詞とは 222 Part 2 1 名詞を修飾する分詞 (限定用法) 226 2 補語になる分詞 (叙述用法) 228 3 have + 0 + 分詞 / see + 0 + 分詞 231 4 分詞構文 234
第14回	分詞構文 Part 1 分詞とは 222 Part 2 1 名詞を修飾する分詞 (限定用法) 226 2 補語になる分詞 (叙述用法) 228 3 have + 0 + 分詞 / see + 0 + 分詞 231 4 分詞構文 234
第15回	比較 Part 1 何と何を比較するのか 250 Part 2 1 原級・比較級・最上級 254 2 原級を使った比較 258 3 比較級を使った比較 262 4 最上級を使った比較 267 5 原級・比較級を使って最上級の意味を表す 270
第16回	関係代名詞 Part 1 関係代名詞と関係副詞 290 Part 2 1 関係代名詞の基本 293 2 関係代名詞の継続用法 300 3 関係副詞 304 4 複合関係詞 310
第17回	関係副詞 Part 1 関係代名詞と関係副詞 290 Part 2 1 関係代名詞の基本 293 2 関係代名詞の継続用法 300 3 関係副詞 304 4 複合関係詞 310
第18回	句と節 句と節 1 「句」と「節」とは何か 323 2 句の種類 324 3 節の種類 326
第19回	仮定法 Part 1 「仮定法」と動詞の形 330 Part 2 1 if を使った仮定法 334 2 wish や as if の後の仮定法 338
第20回	疑問文 Part 1 疑問文の形 354 Part 2 1 疑問詞の種類と用法 357 2 疑問文のさまざまな形 (1) 363 3 疑問文への答え方 366
第21回	否定 Part 1 英語で否定を表す 378 Part 2 1 否定語と否定の範囲 382 2 部分否定・二重否定 389
第22回	話法 Part 1 発言内容の伝え方 400 Part 2 直接話法と間接話法 404
第23回	名詞構文・無生物主語 Part 1 名詞構文と無生物主語 418 Part 2 1 名詞構文 420 2 無生物主語 425
第24回	名詞 Part 1 数えられるか、数えられないか 454 Part 2 1 名詞の種類 457 2 名詞の用法 458 3 注意すべき名詞の用法 464 4 名詞の複数形 466 5 所有を表す名詞の形 470
第25回	冠詞 Part 1 a / an か、the か、冠詞なしか 476 Part 2 1 冠詞の基本用法 479 2 冠詞の働き 480 3 不定冠詞・定冠詞・無冠詞の働き 483
第26回	代名詞 Part 1 代名詞の働き 496 Part 2 1 人称代名詞 499 2 it の用法 504 3 指示代名詞 509 4 不定代名詞 512
第27回	形容詞 Part 1 形容詞の働きと使い方 526 Part 2 1 形容詞の用法 527 2 形容詞の注意すべき用法 531 3 数量を表す形容詞 537

	4 数詞 540 5 国名を表す形容詞 545 第28回 副詞 Part 1 副詞の位置と働き 548 Part 2 1 副詞の用法 549 2 副詞の注意すべき用法 554 3 2つの文の論理関係を表す副詞..... 561 第29回 前置詞 Part 1 前置詞のイメージ 564 Part 2 1 前置詞が作る句の形と働き 566 2 前置詞の用法 568 3 群前置詞 588 第30回 接続詞 Part 1 接続詞の働き 590 Part 2 1 等位接続詞の用法 591 2 名詞節を導く従属接続詞の用法 597 3 副詞節を導く従属接続詞の用法 599 第31回 定期試験
授業の概要	英文を書く練習を通して既習の基本的な文法事項を復習・再確認させ、定着を図る。
予習	テキストを読んで理解しておく。できれば、他の英文法参考書も見る。 各回、約1時間の事前学習を要する。
復習	既習の事項を見直し、わからなかったところをチェックする。 毎回、約1時間の事後学習を要する。
テキスト	塙タカユキ編 『総合英語Evergreen』 いいずな書店、2017年 いいずな書店編集部 『English Grammar 25 Lessons Updated』 いいずな書店
参考書	総合英語フォレスト (第7版)
評価方法・評価基準	定期試験60%、宿題や小テスト40% 【DP 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	辞書と英文法参考書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること。
オフィスアワー	毎週月曜日 (13:00~14:30) 研究室 できれば、事前にメール予約をお取りください。 メールアドレス: hamagawah@oc.jc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	毎回の課題や小テストは、採点したのちにクラス内で返却する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1年	2単位(0-4)	選択必修B
担当教員			
浜川仁・南有規子・仲座栄利子・作田真由子			

授業のテーマ及び到達目標	文法を活用して、実際的な場面に必要とされる英文が書けるようになる。		
授業計画	第1回	第1章 文の種類 Part 3 疑問文・命令文の応用形	
	第2回	第2章 動詞と文型 Part 3 1 注意すべき動詞の使い方 2 文型と動詞	
	第3回	第3章 動詞と時制 Part 3 1 時や条件を表す接続詞の後に用いる現在形 2 進行形の注意すべき用法 3 未来を表すさまざまな表現 Part 4 「時制」のまとめ	
	第4回	第3章 動詞と時制 Part 3 1 時や条件を表す接続詞の後に用いる現在形 2 進行形の注意すべき用法 3 未来を表すさまざまな表現 Part 4 「時制」のまとめ	
	第5回	第4章 完了形 Part 3 1 will+完了形 2 「今」に視点を置かない現在完了形 Part 4 「完了形」のまとめ	
	第6回	第4章 完了形 Part 3 1 will+完了形 2 「今」に視点を置かない現在完了形 Part 4 「完了形」のまとめ	
	第7回	第5章 助動詞 Part 3 1 助動詞+have+過去分詞 2 助動詞を含む慣用表現 3 that節で用いられるshouldの用法 Part 4 「助動詞」のまとめ	
	第8回	第5章 助動詞 Part 3 1 助動詞+have+過去分詞 2 助動詞を含む慣用表現 3 that節で用いられるshouldの用法 Part 4 「助動詞」のまとめ	
	第9回	第6章 態 Part 3 1 受動態のさまざまな形(2) 2 注意すべき受動態の表現 Part 4 「態」のまとめ	
	第10回	第6章 態 Part 3 1 受動態のさまざまな形(2) 2 注意すべき受動態の表現 Part 4 「態」のまとめ	
	第11回	第7章 不定詞 Part 3 1 不定詞のさまざまな形 2 自動詞+不定詞 3 不定詞の注意すべき用法 Part 4 「不定詞」のまとめ	
	第12回	不定詞 Part 3 1 不定詞のさまざまな形 2 自動詞+不定詞 3 不定詞の注意すべき用法 Part 4 「不定詞」のまとめ	
	第13回	不定詞 Part 3 1 不定詞のさまざまな形 2 自動詞+不定詞	

第14回	<ul style="list-style-type: none"> 3 不定詞の注意すべき用法 Part 4 「不定詞」のまとめ 第8章 動名詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 動名詞のさまざまな形 2 動名詞を使った重要表現 3 動名詞と不定詞
第15回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「動名詞」のまとめ 第8章 動名詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 動名詞のさまざまな形 2 動名詞を使った重要表現 3 動名詞と不定詞
第16回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「動名詞」のまとめ 第8章 動名詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 動名詞のさまざまな形 2 動名詞を使った重要表現 3 動名詞と不定詞
第17回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「動名詞」のまとめ 第9章 分詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 分詞構文の応用 2 付帯状況を表すwith+ (代) 名詞+分詞 3 分詞を使った表現
第18回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「分詞」のまとめ 第9章 分詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 分詞構文の応用 2 付帯状況を表すwith+ (代) 名詞+分詞 3 分詞を使った表現
第19回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「分詞」のまとめ 第9章 分詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 分詞構文の応用 2 付帯状況を表すwith+ (代) 名詞+分詞 3 分詞を使った表現
第20回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「分詞」のまとめ 第10章 比較 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 原級を用いたさまざまな表現 2 比較級を用いたさまざまな表現 (1) 3 比較級を用いたさまざまな表現 (2) 4 noを使った比較表現 5 最上級を用いたさまざまな表現
第21回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「比較」のまとめ 第10章 比較 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 原級を用いたさまざまな表現 2 比較級を用いたさまざまな表現 (1) 3 比較級を用いたさまざまな表現 (2) 4 noを使った比較表現 5 最上級を用いたさまざまな表現
第22回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「比較」のまとめ 第10章 比較 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 原級を用いたさまざまな表現 2 比較級を用いたさまざまな表現 (1) 3 比較級を用いたさまざまな表現 (2) 4 noを使った比較表現 5 最上級を用いたさまざまな表現
第23回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「比較」のまとめ 第11章 関係詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 「譲歩」を表す複合関係詞 2 関係代名詞の働きをするasとthan 3 関係代名詞のさまざまな用法
第24回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「関係詞」のまとめ 第11章 関係詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 「譲歩」を表す複合関係詞 2 関係代名詞の働きをするasとthan 3 関係代名詞のさまざまな用法
第25回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「関係詞」のまとめ 第11章 関係詞 Part 3 <ul style="list-style-type: none"> 1 「譲歩」を表す複合関係詞 2 関係代名詞の働きをするasとthan 3 関係代名詞のさまざまな用法
第26回	<ul style="list-style-type: none"> Part 4 「関係詞」のまとめ 第12章 仮定法

	Part 3 1 未来のことを表す仮定法 2 ifが出てこない仮定法 3 仮定法を使った慣用表現 4 仮定法を使ったいいねいな表現 Part 4 「仮定法」のまとめ 第12章 仮定法 Part 3 1 未来のことを表す仮定法 2 ifが出てこない仮定法 3 仮定法を使った慣用表現 4 仮定法を使ったいいねいな表現 Part 4 「仮定法」のまとめ 第13章 疑問詞と疑問文 Part 3 1 疑問文のさまざまな形（2） 2 疑問文の慣用表現 第27回 第14章 否定 Part 3 1 否定の慣用表現 2 否定語を使わない否定表現 第28回 第15章 話法 Part 3 間接話法の応用形 第29回 第30回 第31回 定期試験
授業の概要	「英作・文法Ⅰ」で学習したことをさらに深めていく。英文法の諸項目を十分に理解し、正しい英文を書く能力を養う。具体的には、テキストを読んで解説した後、テキストの問題や、問題集で理解を深める。学んだ文法事項を使用して英作文を作成し、発表する。また、一部は課題として提出する。
予習	テキストを読んで理解しておく。できれば、他の英文法参考書も見るといい。各回、約1時間の事前学習を要する。
復習	既習の事項を見直し、わからなかったところをチェックする。各回、約1時間の事後学習を要する。
テキスト	奥 塔カユキ編 『総合英語Evergreen』 いいずな書店、2017年 いいずな書店編集部 『English Grammar 30 Lessons』 いいずな書店
参考書	総合英語フォレスト（第7版）
評価方法・評価基準	定期試験60%、課題40% 【DP 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	辞書と英文法参考書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること。
オフィスアワー	(仮) 浜川：毎週**曜日 **限目 浜川研究室 (仮) 作田：毎週**曜日 **限目 作田研究室 (仮) 仲座：毎週**曜日 **限目 仲座研究室 (仮) 南：授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	提出した課題はチェック後、授業中に返却する。定期試験はチェック後、レターボックスに返却する。

講義科目名称 : Paragraph Writing I

授業コード :

英文科目名称 : Paragraph Writing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1・2年	2単位(2-0)	選択必修B
担当教員			
浜川 仁			

授業のテーマ及び到達目標	英作文の基礎となるワン・パラグラフ エッセイ (one-paragraph essay) の書き方を習得し、いくつかのパラグラフからなる文章の作成にふれる。		
授業計画	第1回	INTRODUCTION / UNIT 1 Your Personality READING 1 Right Brain, Left Brain WRITING 1 SKILLS The Paragraph / Capitalization Rules / The Title PRACTICE Writing about yourself	
	第2回	UNIT 1 Your Personality READING 1 Right Brain, Left Brain WRITING 1 SKILLS The Paragraph / Capitalization Rules / The Title PRACTICE Writing about yourself	
	第3回	UNIT 1 Your Personality READING 2 Let' s Face It WRITING 2 SKILLS Joining Compound Sentences with and, but, or or PRACTICE Writing about another person	
	第4回	UNIT 1 Your Personality READING 2 Let' s Face It WRITING 2 SKILLS Joining Compound Sentences with and, but, or or PRACTICE Writing about another person	
	第5回	UNIT 2 Food READING 1 Live a Little: Eat Potatoes! WRITING 1 SKILLS The Topic Sentence PRACTICE Writing about food or drink	
	第6回	UNIT 2 Food READING 1 Live a Little: Eat Potatoes! WRITING 1 SKILLS The Topic Sentence PRACTICE Writing about food or drink	
	第7回	UNIT 2 Food READING 2 Bugs, Rats, and Other Tasty Dishes WRITING 2 SKILLS Supporting Sentences / Concluding Sentences PRACTICE Writing about a special food	
	第8回	UNIT 2 Food READING 2 Bugs, Rats, and Other Tasty Dishes WRITING 2 SKILLS Supporting Sentences / Concluding Sentences PRACTICE Writing about a special food	
	第9回	UNIT 3 Celebrations and Special Days READING 1 Tihar: Festival of Lights WRITING 1 SKILLS Describing a Process / Punctuation: Comma (,) with Items in a Series PRACTICE Writing about a special event	
	第10回	UNIT 3 Celebrations and Special Days	

	<p>READING 1 Tihar: Festival of Lights</p> <p>WRITING 1 SKILLS Describing a Process / Punctuation: Comma (,) with Items in a Series PRACTICE Writing about a special event</p> <p>第11回 UNIT 3 Celebrations and Special Days</p> <p>READING 2 Celebrating a Fifteenth Birthday</p> <p>WRITING 2 SKILLS Main and Dependent Clauses / Writing a Dependent Clause with before or after PRACTICE Writing about a celebration</p> <p>第12回 UNIT 4 Amazing People</p> <p>READING 1 Barrington Irving's Dream to Fly</p> <p>WRITING 1 SKILLS Unity / Irrelevant Sentences PRACTICE Writing about the qualities of a person or a pet</p> <p>第13回 UNIT 4 Amazing People</p> <p>READING 1 Barrington Irving's Dream to Fly</p> <p>WRITING 1 SKILLS Unity / Irrelevant Sentences PRACTICE Writing about the qualities of a person or a pet</p> <p>第14回 UNIT 4 Amazing People</p> <p>READING 2 The Fearless Fiennes</p> <p>WRITING 2 SKILLS Introducing Examples PRACTICE Writing about a person</p> <p>第15回 PREVIEW (Paragraph Writing II)</p> <p>UNIT 5 Nature Attacks! UNIT 6 Inventions UNIT 7 Customs and Traditions UNIT 8 Readings from Literature</p>
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナショナルジオグラフィックのリーディングコンテンツを通してユニットのテーマについて学ぶ。 ・ ディスカッションとクリティカル・シンキングを通して、内容の分析と理解を深めライティングへつなげる。 ・ リーディングの後にライティングの規則や演習を提示し、段階的にライティングスキルを学習する。 ・ タイムドライティングやクリティカル・シンキングなど、ユニットテーマに即したリーディングとライティングの演習を行う。
予習	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーディングコンテンツを読んで、ユニットのテーマの理解に努める。必要であれば、図書館やインターネットを利用してライティングの資料、素材、コンテンツの集収を行う。 ・ 毎回、約2時間の事前学習を要する。
復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーディング、ディスカッション、クリティカル・シンキングなど、クラス内のアクティビティを振り返りつつ、自分で英文のライティング（課題）に取り組む。 ・ 毎回、約2時間の事後学習を要する。
テキスト	Broukal, Milada. Weaving It Together 2. Fourth Edition. National Geographic Learning, 2016.
参考書	とくになし
評価方法・評価基準	<p>ライティング課題① (20%) ライティング課題② (20%) ライティング課題③ (30%) アクティビティへの貢献度 (30%)</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライティング課題の提出期限を守ること
オフィスアワー	毎週月曜日（13：00～14：30）研究室 できれば、事前にメール予約をお取りください。 メールアドレス：hamagawah@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	グーグルドライブなどを通して、リアルタイムの指導を行う。

講義科目名称 : Paragraph Writing II

授業コード :

英文科目名称 : Paragraph Writing II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択必修B
担当教員			
浜川仁・スミス陽子			

授業のテーマ及び到達目標	ワン・パラグラフ・エッセイ (one-paragraph essay) の書き方を振り返ることから始め、いくつかのパラグラフからなる文章全体を作成できるようになる。
授業計画	<p>第1回 INTRODUCTION / REVIEW (Paragraph Writing I) UNIT 1 Your Personality UNIT 2 Food UNIT 3 Celebrations and Special Days UNIT 4 Amazing People</p> <p>第2回 UNIT 5 Nature Attacks! READING 1 Lightning WRITING 1 SKILLS Writing a Narrative Paragraph with Time Words / The Comma (,) with Time and Place Expressions PRACTICE Writing about a frightening experience</p> <p>第3回 UNIT 5 Nature Attacks! READING 1 Lightning WRITING 1 SKILLS Writing a Narrative Paragraph with Time Words / The Comma (,) with Time and Place Expressions PRACTICE Writing about a frightening experience</p> <p>第4回 UNIT 5 Nature Attacks! READING 2 Chasing Storms WRITING 2 SKILLS Introducing Reasons with because PRACTICE Writing about dangerous weather</p> <p>第5回 UNIT 5 Nature Attacks! READING 2 Chasing Storms WRITING 2 SKILLS Introducing Reasons with because PRACTICE Writing about dangerous weather</p> <p>第6回 UNIT 6 Inventions READING 1 The GoPro Camera WRITING 1 SKILLS Introducing Effects with so and therefore PRACTICE Writing about an invention</p> <p>第7回 UNIT 6 Inventions READING 1 The GoPro Camera WRITING 1 SKILLS Introducing Effects with so and therefore PRACTICE Writing about an invention</p> <p>第8回 UNIT 6 Inventions READING 2 Changing Living Things? WRITING 2 SKILLS Giving an Opinion / Transitions Showing Addition PRACTICE Writing about biotechnology</p> <p>第9回 UNIT 6 Inventions READING 2 Changing Living Things? WRITING 2 SKILLS Giving an Opinion / Transitions Showing Addition PRACTICE Writing about biotechnology</p> <p>第10回 UNIT 7 Customs and Traditions</p>

	<p>READING 1 Flowers, Dishes, and Dresses</p> <p>WRITING 1 SKILLS Comparing and Contrasting / Showing Contrast with however / Showing Similarity with similarly and likewise PRACTICE Writing about wedding customs</p> <p>第11回 UNIT 7 Customs and Traditions</p> <p>READING 1 Flowers, Dishes, and Dresses</p> <p>WRITING 1 SKILLS Comparing and Contrasting / Showing Contrast with however / Showing Similarity with similarly and likewise PRACTICE Writing about wedding customs</p> <p>第12回 UNIT 7 Customs and Traditions</p> <p>READING 2 What's in a Name?</p> <p>WRITING 2 SKILLS Writing Business Letters PRACTICE Writing a business letter</p> <p>第13回 UNIT 8 Readings from Literature</p> <p>READING 1 Months</p> <p>WRITING 1 SKILLS Using Adjectives in Poems PRACTICE Writing a poem</p> <p>第14回 UNIT 8 Readings from Literature</p> <p>READING 1 Months</p> <p>WRITING 1 SKILLS Using Adjectives in Poems PRACTICE Writing a poem</p> <p>第15回 UNIT 8 Readings from Literature</p> <p>READING 2 Fate</p> <p>WRITING 2 SKILLS Using Adjectives and Adverbs in Stories PRACTICE Writing a folktale</p> <p>第16回</p>
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナショナルジオグラフィックのリーディングコンテンツを通してユニットのテーマについて学ぶ。 ・ ディスカッションとクリティカル・シンキングを通して、内容の分析と理解を深めライティングへつなげる。 ・ リーディングの後にライティングの規則や演習を提示し、段階的にライティングスキルを学習する。 ・ タイムドライティング、クリティカルシンキングなど、ユニットテーマに即したリーディングとライティングの演習を行う。
予習	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーディングコンテンツを読んで、ユニットのテーマの理解に努める。必要であれば、図書館やインターネットを利用してライティングの資料、素材、コンテンツの集収を行う。 ・ 毎回、約2時間の事前学習を要する。
復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーディング、ディスカッション、クリティカル・シンキングなど、クラス内のアクティビティを振り返りつつ、自分で英文のライティング（課題）に取り組む。 ・ 毎回、約2時間の事後学習を要する。
テキスト	Broukal, Milada. Weaving It Together 2. Fourth Edition. National Geographic Learning, 2016.
参考書	とくになし
評価方法・評価基準	<p>ライティング課題① (20%) ライティング課題② (20%) ライティング課題③ (30%) アクティビティへの貢献度 (30%)</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	ライティングの提出期限を守ること
オフィスアワー	<p>浜 川： 毎週月曜日（13：00～14：30）研究室 できれば、事前にメール予約をお取りください。 メールアドレス：hamagawah@oc.jc.ac.jp</p> <p>スミス：（仮）授業終了後、教室で質問を受付けます。</p>

課題に対する フィードバック方 法	グーグルドライブなどを活用して、リアルタイムの指導を行う。
-------------------------	-------------------------------

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-4)	選択必修C
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 パラグラフごとに大意をつかみ、長文であっても内容を把握できる。読解を通して語彙力、文法力も増強する。</p> <p>【到達目標】 中級レベルの英語で書かれた英文の内容を理解できる。</p>
授業計画	<p>第1回 イントロダクション A Piece of History in Your Closet 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第2回 A Piece of History in Your Closet 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第3回 Birth Order among Siblings 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第4回 Birth Order among Siblings 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第5回 The Origin of Basketball 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第6回 The Origin of Basketball 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第7回 Table Manners 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第8回 Table Manners 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第9回 From Anime to Zen 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第10回 Music Beats 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第11回 Music Beats 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第12回 Amazing Koalas 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第13回 Amazing Koalas 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第14回 Coffee and Healthy Life 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第15回 Coffee and Healthy Life 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第16回 Pyramids of Egypt 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第17回 Pyramids of Egypt 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第18回 Days of Showing Your Love 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第19回 Days of Showing Your Love 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p>

	<p>第20回 Unique Careers 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第21回 Unique Careers 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第22回 Story of Medusa 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第23回 Story of Medusa 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第24回 Genetic Modification 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第25回 Genetic Modification 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第26回 Earth Day 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第27回 Earth Day 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第28回 Technology and Life 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第29回 Technology and Life 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第30回 Technology and Life 使用されている単熟語の意味や発音を解説をきいた後、英文を音読したり、意味をつかむ練習をする。内容についての質問に答えたり、有用な単熟語を用いて短文を作る。</p> <p>第31回 Exam</p>
授業の概要	中級レベルの英語で書かれたテキストを使用する。読む(Reading)ことに主眼をおいた授業であるが、内容に関するDiscussion やWriting の練習も加味し、話す力・書く力の向上にも努める。
予習	次回進む箇所の語彙を調べて、自分で訳してみる。 各回、約1時間の事前学習を要する。
復習	進んだ箇所の語彙を覚える。関連する文法項目を文法書でもう一度読む。 各回、約1時間の事後学習を要する。
テキスト	佐野 明彦 他 (著) Reading Success 2 (『リーディング サクセス 2』 成美堂 2017年)
参考書	総合英語フォレスト (第7版)
評価方法・評価基準	定期試験60%、課題40% 【DP 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	テキスト、練習問題を予習して授業に臨むこと。
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 作田研究室
課題に対するフィードバック方法	課題などの提出物はチェック後、毎回の授業内で返却する。定期テストは各自のメールボックスへ返却する。

講義科目名称：英語講読Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：English Reading Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1年	2単位(0-4)	選択必修C
担当教員			
浜川仁・呉屋英樹			

授業のテーマ及び到達目標	テキストの精読を通し、論説文の内容を的確・詳細に理解する能力を養う。		
授業計画	第1回	INTRODUCTION / UNIT 1 Food and Health Reading A: Sweet Love Reading Skill A: Skimming for the Main Idea of Paragraphs Vocabulary Building A: Word Partnership: cut down on	
	第2回	UNIT 1 Food and Health Reading A: Sweet Love B: Food for the Future Reading Skill A: Skimming for the Main Idea of Paragraphs B: Identifying the Purpose of Paragraphs Vocabulary Building A: Word Partnership: cut down on	
	第3回	B: Word Link: -ance UNIT 1 Food and Health Reading B: Food for the Future Reading Skill B: Identifying the Purpose of Paragraphs Vocabulary Building B: Word Link: -ance	
	第4回	UNIT 2 Our Bond with Animals Reading A: Song of the Humpback Reading Skill A: Understanding Pronoun Reference Vocabulary Building A: Thesaurus: leap	
	第5回	UNIT 2 Our Bond with Animals Reading A: Song of the Humpback B: Dogs in a Human World Reading Skill A: Understanding Pronoun Reference B: Scanning for Details Vocabulary Building A: Thesaurus: leap B: Thesaurus: talent	
	第6回	UNIT 2 Our Bond with Animals Reading B: Dogs in a Human World Reading Skill B: Scanning for Details Vocabulary Building B: Thesaurus: talent	
	第7回	UNIT 3 History Detectives Reading A: Was King Tut Murdered? Reading Skill A: Creating a Timeline of Events	

第8回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: teen UNIT 3 History Detectives Reading A: Was King Tut Murdered? B: Who Killed the Iceman?</p> <p>Reading Skill A: Creating a Timeline of Events B: Distinguishing Facts from Theories</p>
第9回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: teen B: Word Partnership: debate UNIT 3 History Detectives Reading B: Who Killed the Iceman?</p> <p>Reading Skill B: Distinguishing Facts from Theories</p>
第10回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: debate UNIT 4 Traditions and Rituals Reading A: Bride of the Sahara</p> <p>Reading Skill A: Dealing with Unfamiliar Vocabulary</p>
第11回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: re- UNIT 4 Traditions and Rituals Reading A: Bride of the Sahara B: The Changing Face of Kung Fu</p> <p>Reading Skill A: Dealing with Unfamiliar Vocabulary B: Differentiating between Main Ideas and Supporting Details</p>
第12回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: re- B: Word Link: en- UNIT 4 Traditions and Rituals Reading B: The Changing Face of Kung Fu</p> <p>Reading Skill B: Differentiating between Main Ideas and Supporting Details</p>
第13回	<p>Vocabulary Building B: Word Link: en- まとめと小テスト</p>
第14回	<p>UNIT 5 Urban Underworlds Reading A: Under Paris</p> <p>Reading Skill A: Understanding the Functions of Prepositional Phrases</p>
第15回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: trend UNIT 5 Urban Underworlds Reading B: New York's Underside</p> <p>Reading Skill B: Breaking Down Long Sentences</p>
第16回	<p>Vocabulary Building B: Thesaurus: awful UNIT 6 Reef Encounters Reading A: Cities Beneath the Sea</p> <p>Reading Skill A: Understanding Cause and Effect Relationships</p>

第17回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: negative UNIT 6 Reef Encounters Reading B: The Truth about Great Whites</p> <p>Reading Skill B: Recognizing Contrastive Relationships</p>
第18回	<p>Vocabulary Building B: Word Link: in- UNIT 7 Sweet Scents Reading A: The Flower Trade</p> <p>Reading Skill A: Determining Similarities and Differences</p>
第19回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: handle UNIT 7 Sweet Scents Reading B: The Power of Perfume</p> <p>Reading Skill B: Understanding Synonyms</p>
第20回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: obtain UNIT 8 Great Explorers Reading A: Marco Polo in China</p> <p>Reading Skill A: Understanding Time Clauses/Time Relationships</p>
第21回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: undertake UNIT 8 Great Explorers Reading B: The Travels of Ibn Battuta</p> <p>Reading Skill B: Recognizing Participle Clauses</p>
第22回	<p>Vocabulary Building B: Thesaurus: remote まとめと小テスト</p>
第23回	<p>UNIT 9 Who We Are Reading A: The Teenage Brain</p> <p>Reading Skill A: Evaluating Claims</p>
第24回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: reward UNIT 9 Who We Are Reading B: Seeing Double</p> <p>Reading Skill B: Understanding Inference</p>
第25回	<p>Vocabulary Building B: Thesaurus: severe UNIT 10 Global Warming Reading A: The Big Thaw</p> <p>Reading Skill A: Identifying Types of Supporting Details</p>
第26回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: host UNIT 10 Global Warming Reading B: Last Days of the Ice Hunters</p>

	<p>Reading Skill B: Identifying an Author' s Tone or Point of View</p> <p>Vocabulary Building B: Usage: I' m starving! UNIT 11 Incredible Insects Reading A: Army Ants</p> <p>Reading Skill A: Understanding Prefixes and Suffixes</p> <p>Vocabulary Building A: Word Link: co- UNIT 11 Incredible Insects Reading B: Unexpected Beauty</p> <p>Reading Skill B: Summarizing a Text</p> <p>Vocabulary Building B: Word Partnership: reaction UNIT 12 Going to Extremes Reading A: The Dream of Flight</p> <p>Reading Skill A: Recognizing Similes</p> <p>Vocabulary Building A: Word Partnership: thrill UNIT 12 Going to Extremes Reading B: Dark Descent</p> <p>Reading Skill B: Synthesizing Information from Multiple Sources</p> <p>Vocabulary Building B: Word Partnership: necessity まとめと小テスト</p>
授業の概要	<p>使用する教材は National Geographic チャンネルの番組をもとに作成されており、ネイティブ・スピーカー特有の感性とヴィジョンが伝わってくる。世界の歴史、遺産、医学、科学技術の先端、環境問題など、幅広い分野における英文の読解能力と理解力が高まるだろう。テキスト、音声教材、資格教材を駆使して実力UPを図る。</p> <p>英語検定試験 (STEP) 準2級~2級、TOEIC380~460</p>
予習	<p>学習予定 Unit のリーディングに一通り目を通し、重要単語の意味を調べておく。</p> <p>各回、約1時間の事前学習を要する。</p>
復習	<p>MyELTなどを利用し、履修済箇所の単語及び文章を見直す。</p> <p>各回、約1時間の事後学習を要する。</p>
テキスト	<p>Paul MacIntyre, Reading Explorer 2, Second Edition. National Geographic Learning, 2014.</p>
参考書	<p>特になし</p>
評価方法・評価基準	<p>小テスト (60%) 課題 (40%)</p> <p>【D P 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士 (英語) の単位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>履修上の注意： 辞書と英文法参考書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	<p>浜川：毎週月曜日 (13:00~14:30) 研究室 できれば、事前にメール予約をお取りください。 メールアドレス：hamagawah@ocjc.ac.jp 呉屋： (仮) 授業終了後、教室で質問を受付けます。</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>MyELTを運営と管理を通して、進捗状況と弱点の把握につとめる。</p>

講義科目名称 : Current Affairs in English

授業コード :

英文科目名称 : Current Affairs in English

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(2-0)	選択必修C
担当教員			
Michael Bradley			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: Students will broaden their knowledge of current affairs and also learn a great deal about how news is put together ? the strengths and weaknesses of our media. They will come across examples of great campaigning journalism as well as examples of sensationalist tabloid writing.</p> <p>Goal: Ultimately, they will learn that they always need to employ their critical faculties when looking at news stories.</p>		
授業計画	第1回	<p>Introduction. Tales of hope from the Tsunami.</p> <p>In this class we look at a story the students are all familiar with ? the great Northern Japan Tsunami of 2011. The objective of the class is twofold ? 1) to introduce students to the approach used in class, i.e. information gap activities using realia. 2) to ensure that all students have a sufficiently advanced level of English to continue the course. The English used in this first class is by far the simplest of the course, so if students are unable to complete today' s lesson they will be advised to discontinue the course.</p>	
	第2回	<p>Bases in Okinawa.</p> <p>This is the first of a number of classes examining the ongoing American military presence in Okinawa and how it is reported. Usually I choose a story which is currently in the media. One year we examined the arrest of a former US Marine charged with murder and rape, and on another occasion we looked at the arrest of anti-Henoko protesters.</p>	
	第3回	<p>The Hague Convention.</p> <p>Ostensibly, this class looks at the abduction of children by the Japanese wives of American husbands , along with Japan' s reluctance to sign up to the Hague Convention. However, it is also an examination of how even respectable news networks, in this case the US ABC channel, manipulate their audiences' emotions and present stories from a partial point of view.</p>	
	第4回	<p>The Migrant Crisis in Europe.</p> <p>This is one of the biggest stories of the last decade ? the movement of millions of people fleeing war, poverty and economic uncertainty in Asia and Africa. This is a story which has been under reported in Japan. Students are always surprised to learn just how few asylum seekers the Japanese government has accepted.</p>	
	第5回	<p>Agent Orange in Okinawa.</p> <p>This story showcases the power of an individual journalist to expose dishonesty at the highest level. Jon Mitchell has pioneered an investigation into the issue of Agent Orange in Okinawa. He has interviewed many US veterans and essentially exposed the US governments' official line (that Agent Orange was never stored in Okinawa,) as a lie.</p>	
	第6回	<p>Islamist violence.</p> <p>Another of the big issues of our age, students are always surprised to learn that by far the biggest casualties of Islamist violence are other Muslims living in countries like Afghanistan and Iraq. We also look at the horror of those caught up in the latest instances of terror in the West, as well as the profiles and motivations of those responsible.</p>	
	第7回	<p>Tabloids and Broadsheets.</p> <p>We examine the characteristics of tabloid and broadsheet newspapers and the increasing blurring of the line between the two. As an example we look at how the Duchess of Kent' s sudden hospitalisation led to a media storm with disastrous consequences for one nurse and her family.</p>	
	第8回	<p>Henoko.</p> <p>Students are bused to Henoko where they have the chance to interview protesters outside Camp Schwab. In the past some students have expressed surprise that contrary to media reports virtually all of the activists they met, were living in Okinawa and not from mainland Japan. (In fact most of the protesters were retired people, many of them former teachers.) The students then have to write up the interview as a newspaper report.</p>	
	第9回	<p>Students write a script for a video report.</p> <p>This is always a popular class. Students are assigned an English language video news clip which has the volume muted. They have to watch the silent video (which is approximately 60 seconds long) and write an appropriate script to accompany it. At the end of the class, each student presents his or her video and report to the class. If there is time, students watch the original reports.</p>	
	第10回	<p>Mid-term test / Students introduce a Japanese news story.</p> <p>Following on from the previous class, students have to prepare a script to accompany a short news Week 3: choose a different story. They present their stories to the entire class</p>	
	第11回	<p>Environmental news.</p> <p>This is a look at what remains the biggest story in the UK and Ireland. However, it is</p>	

	<p>also an examination of how certain media outlets fostered anti-European sentiment over a number of years, thus paving the way for a pro-Brexit vote in the referendum of 2016. A foreigner's view of Okinawa. (A BBC radio report.)</p> <p>Linguistically, this is the most challenging class of the course. Students listen to a BBC radio report from a few years ago. The reporter gives her assessment of Okinawa and its problems. Because of the complexity of the language used, almost half the class consists of pre-teaching new vocabulary. However, as students are familiar with the subject matter, they are able to understand the gist of the commentary even without fully understanding every word. It is interesting for them to hear an outsider's assessment of the situation on their island.</p> <p>第12回 Julian Assange</p> <p>Students are amazed at the twists and turns in this Hollywood like story of intrigue and suspense. More importantly they learn that things are seldom black and white and that one must always try to look at what lies behind any news story. They will see that nations, as well as individuals, often have their own agenda when it comes to news stories.</p> <p>第13回 Lance Armstrong a cautionary tale</p> <p>This is another massive news story from the past few years that students are usually not familiar with. It is the tale of an unbridled ego, a desire to win at all costs and the tenacity of a few journalists to get at the truth.</p> <p>第14回 Lighter stories from Japan and abroad</p> <p>In the final class, students will retell a news story which has caught their attention over the previous few months. This time they cannot use video, but they are free to use photographs and other visual aids. They should not read from a script but rather speak directly to the class.</p> <p>第15回 Final Test students introduce a Japanese news story.</p> <p>第16回 Final Test</p>
授業の概要	The purpose of this course is to introduce students to English as it is used in the media. It aims to: build students' vocabulary; develop a greater awareness of local, national, and international issues; and increase their ability to express themselves.
予習	Students should familiarize themselves with the topic before every class, to enable them to better understand the lesson.
復習	Students will usually be asked to write a short report after every class giving their reaction to that week's topic.
テキスト	No textbook, All the materials are provided by the instructor
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>Assignments/Classwork: 40%. Two Presentations: 30% each</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	特になし
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to the class lesson will be answered by teacher in the classroom. They are also able to send their questions regards to class lesson to teacher's email address: mbradley@oc.jc.ac.jp

講義科目名称：経営概論

授業コード：

英文科目名称：Introduction to Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
上地 恵龍			

授業のテーマ及び到達目標	経営学全般にわたる基礎知識を習得し、企業活動に対する理解が深まる。
授業計画	<p>第1回 生活を支える企業</p> <p>第2回 経営学を学ぶ意義</p> <p>第3回 自分達で企業を起こしてみよう（グループ作業）Ⅰ</p> <p>第4回 自分達で企業を起こしてみよう（グループ作業）Ⅱ</p> <p>第5回 企業は誰が動かしているのか</p> <p>第6回 企業は何を目指して活動しているのか</p> <p>第7回 経営資源（ヒト、モノ、カネ等）の特徴Ⅰ</p> <p>第8回 経営資源（ヒト、モノ、カネ等）の特徴Ⅱ</p> <p>第9回 経営資源の獲得、利用、配分と経営戦略</p> <p>第10回 企業はどのようにして製品やサービスを開発し、生産しているか</p> <p>第11回 NGO/NPOケーススタディ 国際協力活動</p> <p>第12回 企業はどのようにして製品やサービスを販売しているか（マーケティングという考え方について）</p> <p>第13回 企業はどのようにして人材を活用しているか</p> <p>第14回 企業はどのようにして資金を調達し、運用しているか</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>第16回 定期試験</p>
授業の概要	<p>現代社会において、我々は企業との関わりなしに生活することはできない。我々の多くは、企業を通じて生計を立てている。企業の打ち出す方針によって生活が左右されることもある。</p> <p>本講義は、我々と切っても切れない存在である企業について論じる。具体的には、企業活動は誰によって決定され、実行されているのか、企業の組織はどのようにして組み立てられているのか、組織の各構成部分はどんな機能を果しているのか等、経営学全般にわたって総論し、企業に対する理解度を強めていく。講義は、36年間にわたって国内外の企業に勤務した実務体験と事例を織り込みながら、わかりやすく解説する。</p>
予習	次回のテーマを予習し、専門用語の意味を理解しておくこと
復習	学んだテーマの理解を深め、講義ノートを作成すること
テキスト	片岡信之他 『初めて学ぶ人のための経営学 (Ver.2)』 文真堂
参考書	<p>坂下昭宣 『経営学への招待』 白桃書房</p> <p>斉藤毅憲 『経営学を楽しく学ぶ』 中央経済社</p> <p>加護忠男・吉村典久 『1からの経営学』 碩学社</p>
評価方法・評価基準	<p>レポート等の課題の提出3割、期末試験7割で評価します。</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>.. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 .. 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	<p>本講義に対して、関心と意欲のある皆さんの受講を希望します。 配付資料は必ずファイルしておくこと</p>
オフィスアワー	<p>(仮) 毎週**曜日 **限目 上地研究室</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>.</p>

講義科目名称：キャリアガイダンス

授業コード：

英文科目名称：Career Guidance

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
松堂 美和子			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴や能力を知り、それらを文章や言葉で表現することができる。 ・将来に向けて具体的な目標を立てる等、自らのキャリアをデザインすることができる。 ・職業観の形成に向けて、必要な情報を収集する力、情報を吟味する力が身につく。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション(講義の目的) 大学2年間のステージとサイクル 「働く」という意味や「自己実現」という意味について理解を深める。また、将来の職業生活設計に向けて、今後の学生生活をどのように過ごすべきかを考える機会とする。</p> <p>第2回 キャリアデザインって何だろう？ 戦後から現在までの社会の流れを大まかに理解する。特に産業構造の変化に伴い、今後どのような働き方が求められるのかについて理解するとともに、新規学卒者として望ましい姿を描く。</p> <p>第3回 自分を発見しよう① ”自己の理解”や“自己を分かりやすく伝える”手法・技法を学ぶ。ここでは、これまでの自らの経験の棚卸しを行い、自身の特性を把握し、言語化できるようにする。</p> <p>第4回 自分を発見しよう② 自分の「強み」を限られた時間と文字数で表現する。また、整理した自分の強みを発表し全体で共有することで他者から見た自分の強み、弱みを発見する。</p> <p>第5回 働くとは① 身近な人をインタビュー 身近な社会人の仕事のしかた、生き方を知り、そこから自分自身のキャリアについて考える。また、インタビューに向けて事前準備を行う。</p> <p>第6回 働くとは② 身近な人のキャリアを分析 身近な社会人の仕事のしかた、生き方を知り、そこから自分自身のキャリアについて考える。インタビューした内容を発表し全体で共有することで、多様な働き方が存在することをキャリアの理論等を用いて理解する。</p> <p>第7回 働くとは③ 身近な人のキャリアを分析 前週と同様。</p> <p>第8回 未来予想図を作ろう 社会人インタビューを通して学んだことを振り返る。また、Work Valueカードを用いて自身が働く上で大切にしていることを再考する。</p> <p>第9回 職業と自分① アセスメントシートを用いて、自分の職業の興味や志向性、適性等について理解する。本シートで自分の職業適性等をより深く理解し、今後の進路選択や職業選択に役立てる。</p> <p>第10回 職業と自分② 就職試験に出題される一般常識問題に対応する常識力の養成を目的に模擬試験を実施。解説を踏まえて、現時点での筆記試験における弱.点を確認し、就職活動に備える。</p> <p>第11回 職業と自分③ ビジネス場面におけるケーススタディーを通じて、日本における社会的常識を理解する。</p> <p>第12回 表現力を高める 短期大学の目的の1つにある「深く専門の学芸を教授研究し、職業または实际生活に必要な能力育成する」にあるように、”英語”を学ぶ意味や意義について今一度考え、自らの意見を確立する。</p> <p>第13回 ロジカルライティング① 論理的文章の書き方について基本的な知識を学ぶ。</p> <p>第14回 ロジカルライティング② 前週を踏まえ、実社会で起きている事象について、論理的に自らの考えを組み立てる。</p> <p>第15回 まとめ これまでの講義の総振り返り。今後の学生生活における目標設定及びその目標の達成に向けた行動計画を具体的に立てる。</p> <p>第16回 定期試験 講義で学んだことをもとに期末テストとして論作文を書いてもらう。</p>
授業の概要	<p>「自分らしい生き方」を発見するために、①自分を知る、②他人を知る、③社会を知る、の3つをキーワードに授業を展開します。特に、自分を知るために様々なワーク等を用いることで、自分の将来について内外から考える契機とします。</p> <p>本講義を受講することで、未来を構想する力、計画・実行に移す力、社会人に求められる基礎力、就活に必要なテクニック等を習得することができます。</p>
予習	与えられた課題に取り組んだうえで、授業に臨む
復習	授業での学びを深めるために、日頃から関連する記事や書物に触れることを習慣化する
テキスト	「オリジナル資料」
参考書	講義にて紹介

<p>評価方法・評価基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 40% ・レポート 10% ・授業態度 20% ・発表 20% ・演習 10% <p>D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
<p>履修上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでは積極的に発言したり活発な議論を交わしたりする等、互いの気づき、成長に向けて協調姿勢で取り組むこと ・授業のテーマによってキャリア支援課の利活用を求める
<p>オフィスアワー</p>	<p>授業終了後、教室で質問を受け付ける</p>
<p>課題に対するフィードバック方法</p>	<p>課題やプリント等は、評価して授業内で返却する</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	選択科目
担当教員			
金城 豪			

授業のテーマ及び到達目標	コンピュータ、及び付属するソフトウェアの一步上を行く使用法や知識を獲得する。また、世界に向けて情報を発信するための技術を身に付ける。		
授業計画	第1回	情報社会への歩み 情報で溢れかえる現在の世の中で、いかに有益な情報を獲得しそれを利用することが大切であるかを問題提議する。また日々進化を遂げるコンピュータ等の情報機器を使用し、自ら世界に情報を発信していくために必要な知識や方法について考えていく。	
	第2回	生活環境におけるコンピュータの位置づけ 情報社会のみならず、我々の日常生活の中にも深く入り込んでいるコンピュータ (IoT) について紹介する。またコンピュータの仕組みや操作方法などを復習しながら今後のコンピュータとの関わり方について、各自考えをまとめる。	
	第3回	情報セキュリティ 情報社会においてはネットワークシステムの破壊行為や個人情報の流出といった様々な危険が身近に潜んでいる。これらの危険から身を守るための安全対策や理論について学ぶ。また情報モラルや著作権、プライバシーの保護などについても理解を深める。	
	第4回	情報とコミュニケーション 情報技術が発達し、人々のコミュニケーションは世代や国境を超えいつでも可能となり、その重要性はますます高まっている。一方的な受信や発信ではなく相互にストレスなくお互いの意思を伝達するための様々なメディアや技法を解説する。	
	第5回	現代のインターネット事情 インターネットで情報が簡単に得られ便利になる一方、ネットを通じた犯罪や事件は後を絶たない。情報収集やメールからSNSへと比重が移りつつある現代のインターネット事情を観察し、現在の社会が抱える問題を考える。	
	第6回	情報活用とメディア 世の中には様々なマルチメディアデバイスが存在しており、その用途も多岐にわたる。今回は特に講義内で扱う音声や映像といったメディアの種類と特性について解説を行い、それらを使用した表現及び、伝達(発信)の技法を紹介する。	
	第7回	マルチメディアファイルを扱う(1) 画像による表現を演習形式で学ぶ。各自用意した写真や画像を用い、コンピュータへの取り込みからソフトを使用しての編集までを行う。画像加工の基礎とともに、画像ファイルの特性やコンピュータで扱われる色の知識、そして著作権について考える。	
	第8回	マルチメディアファイルを扱う(2) 簡単なアニメーションの作成を行う。本校コンピュータ付属のソフトを使用し、各自イラストを描き上げ、それを元に実際に動きのある作品を制作する。過去の学生の作品や手法を参考にしながらダイナミックな作品の完成を目指す。	
	第9回	マルチメディアファイルを扱う(3) 動画像による表現の基礎を修得する。各自用意した動画又は音声データを用い、動画編集ソフトを使用して様々な効果の設定を実際に操作を行いデータの出力や圧縮の方法を学ぶ。この回では各自短編オリジナル動画を作成し実際にYouTubeへ投稿を行う。	
	第10回	ネットワークからの情報発信 ネットワークを利用しての双方向的なコミュニケーションを円滑に、そしてより積極的に情報を発信するための手段(媒体)と方法を紹介する。インターネット上には全世界を同時に結ぶ様々なデバイスがありそれらの活用法や注意事項を実例とともに見ていく。	
	第11回	HTML演習 Webページ作成に必要なマークアップ言語であるHTMLを実際に使用して、簡単なページを作成する。徐々にページが完成していく様子を確認しながらWeb作成の疑似体験をすることにより、今後自ら情報発信を行うための意識を高める。	
	第12回	Webページ作成(1) Webページの作成に取り掛かる。各自事前に決めたテーマに沿ってページの構成や内容を書きだし、実際にコンピュータを使用して作業を行う前の下準備を行う。閲覧者の視点に立ったレイアウトやコンテンツを学生と相談しながら全体像を作り上げていく。	
	第13回	Webページ作成(2) 前々回の講義で実践したHTMLの基礎を元に、各自のテーマに沿ってコンピュータを使用してのWebページ作成に取り掛かる。ページ作成に必要なHTMLの知識は演習中適宜解説するが、各々で調べるのが望ましい。また講義時間外での作業は必須となる。	
	第14回	Webページ作成(3) Webページの完成を目指す。ある程度仕上がっていることを前提に、講義前半は細かいチェック作業を行う。講義後半に作成したファイルを提出し公開待ちとする。翌日以降各自実際に公開されたページを確認し不具合があれば、ただちに修正しメールで提出する。	
	第15回	Webページ作成(4) Webページを完成する。また掲示板やSNS等の外部連携を行い、実際に自分が作成したページを双方向対応とし客観的な意見を取り入れる態勢を整える。翌日以降各自実際に公開されたページを確認し、不具合があればただちにメールで修正ファイルを提出する。	
	第16回	課題発表会及びレポート 講義前半では他の学生が作成した作品やWebページを閲覧し、率直な意見を作成者の掲示板に記入	

	することにより、良かった点や改善すべき点などを指摘し合う。また後半は講義全体を通しての理解度を測るための簡単なレポートを作成する。
授業の概要	コンピュータの基本的操作法を習得したことを前提に、次の段階としてネットワーク社会におけるコンピュータを考えます。Webページ作成を通して、マルチメディア ファイルの取り扱い方、種々のソフトウェア利用技術を学習します。また演習と並行して、実社会の事例を紹介しながら情報技術の発達と高度情報化社会の諸問題についても理解を深めます。
予習	毎回次の講義内容を指示するので、各自資料等を使用して事前に講義を受ける準備をしておくこと。
復習	講義内容を再確認し、与えられた課題を指示通りに実行し確実に提出できるように努めること。
テキスト	講義内で適宜資料を配布しテキストに代える。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	小テスト・授業内レポート40% 演習40% 授業態度10% その他10% D P 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 .. 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	各自USBメモリを準備すること。 講義時間以外でもしっかり課題に取り組み提出期限を守ること。
オフィスアワー	授業終了後10分程度 メールでも質問を受け付けています。メールアドレス：media_ocjc@yahoo.co.jp
課題に対するフィードバック方法	課題は評価後に、授業内又はメールにて内容を通知します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	2単位(0-2)	選択科目
担当教員			
上原 明子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 プレゼンテーションについてのスキル習得と実践を通して「相手に届けるパフォーマンス」を磨く。</p> <p>【到達目標】 プレゼンテーションについての基礎的な知識と効果的なプレゼンテーションの技法を習得する。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション プレゼンと自己分析 プレゼンテーションの概略と現時点でのプレゼンについての自己分析を行う。 提供された「お題」についてマッピングと起承転結メモに基づき、プレゼンを行う。そのプレゼンに基づき、聴衆意識の視点と内容魅力の視点からの自己分析を行い、改善案を作成する。 課題：自己分析と改善案レポート作成。</p> <p>第2回 インプロビゼーション（即興） 高度なパフォーマンスとしてのインプロビゼーションについて学ぶ。 その場につながり、共に何かを紡ぐ上げていくインプロ力を鍛えるための5つの修練を行う。 課題：講義内容のまとめと気づきについてのフィードバックレポート作成。</p> <p>第3回 ショート・リポート ショート・リポートを通して、取材対象の切り口と、伝える相手と「驚き」を共有する、印象に残るリポートについて学ぶ。 グループになり、企業のロゴマークについてのショート・リポートを行う。 課題：ショート・リポートの自己分析と改善案作成。</p> <p>第4回 ノンバーバルコミュニケーション（1） ボディランゲージ 非言語コミュニケーションの理論と実践について学ぶ。 ボディランゲージとポジショニングを通じた効果的なプレゼンテーションを行う。 課題：指定されたテキストの1場面について、3つのボディランゲージを駆使したパフォーマンスを作成。</p> <p>第5回 ノンバーバルコミュニケーション（2） パラランゲージ 非言語コミュニケーションの理論と実践について学ぶ。 パラランゲージの分析を通して、効果的なプレゼンテーションを行う。 課題：パラランゲージの語彙リスト作成。</p> <p>第6回 演じる（1） 対話劇 課題テキストの登場人物についての役柄分析を行い、対話劇を演じる。 課題：役柄分析レポート作成。</p> <p>第7回 演じる（2） 朗読劇 朗読の基本要素として、発音・発声、間の取り方を学び、朗読劇を演じる。 課題：課題テキストの鑑賞レポート作成。</p> <p>第8回 取材とプレゼンの基礎（1） 取材 プレゼンのための3つのステップ「取材」「切り口のひらめき」「説得・納得へ導く工夫」について学ぶ。 課題：プレゼンのための3つのステップシート作成。</p> <p>第9回 取材とプレゼン（2） 構成 オリジナルな視点からのプレゼンのための3つのステップシートに基づいたプレゼン構成について学ぶ。 課題：オリジナルプレゼン構成作成。</p> <p>第10回 「私達の大学らしさ」レポートとプレゼン 「私達の大学らしさ」について、写真とキャッチコピーを作成し、説得力のあるプレゼンを行う。 課題：プレゼン原稿と分析、改善案作成。</p> <p>第11回 「Happy Campus Guide」プロジェクト（1） 担当分担と取材計画 パワーポイントを使用した「Happy Campus Guide」を段階的に作成する。 効果的なプレゼンについて、キャッチコピー作成の視点から学ぶ。 課題：取材計画と役割分担、キャッチコピー、コンセプトを作成する。</p> <p>第12回 「Happy Campus Guide」プロジェクト（2） 取材 パワーポイントを使用した「Happy Campus Guide」を段階的に作成する。 「キャンパス風景」「授業」「紹介したい大学関係者」についての取材を行う。 課題：取材内容のまとめレポート作成。</p> <p>第13回 「Happy Campus Guide」プロジェクト（3） 構成 パワーポイントを使用した「Happy Campus Guide」を段階的に作成する。 プレゼン企画書を作成し、中間報告プレゼンを行い、アドバイスを受ける。 課題：アドバイスに基づいたプレゼン企画書の改善案作成。</p> <p>第14回 「Happy Campus Guide」プロジェクト（4） プレゼン パワーポイントを使用した「Happy Campus Guide」のプレゼンを行う。 課題：プレゼンの分析についてのフィードバックレポート作成。</p> <p>第15回 「Happy Campus Guide」プロジェクト（5） 個人報告・レポート提出 プロジェクトを通しての学びについて、プレゼンテーションを行う。 課題：個人報告書とレポート作成。</p>

授業の概要	自己認識と他者理解という、対話的思考を基軸としたプレゼンテーションについて学ぶ。即興やボディランゲージ、朗読劇の理論とスキルを活用したプレゼン力の向上を目指す。最終課題として、Happy Campus Guideプロジェクトを通して、情報の選定方法、キャッチコピー作成、パワーポイントを使ったプレゼンを行う。
予習	授業指定のタスクへの取り組み（約2時間要す）
復習	授業内容の整理とフィードバックレポート作成（約2時間要す）
テキスト	講義担当者作成資料配付
参考書	講義にて適宜紹介
評価方法・評価基準	<p>フィードバックレポート（分析と改善点） 30% パフォーマンスへの取り組み 20% Happy Campus Guideプロジェクトへの取り組み 30% 最終レポートとプロジェクト報告書 20%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	プレゼンテーションの実践へ積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	毎週水曜日（11：00～12：30）研究室
課題に対するフィードバック方法	授業にて返還。最終レポートは個人メールボックスへ返還。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	選択科目
担当教員			
武村 朝吉			

授業のテーマ及び到達目標	情報機器を活用して効果的なプレゼンテーションができるようになる。
授業計画	<p>第1回 授業の概要説明。効果的なプレゼンテーション（1）。授業の進め方、評価の基準についての説明。効果的なプレゼンの事例研究。</p> <p>第2回 効果的なプレゼン（2）。Microsoft Worldの基礎演習（1）。効果的なプレゼンの事例研究。入力、ブラインドタッチ他。</p> <p>第3回 Microsoft Worldの基礎演習（2） ワードの上手な使い方。</p> <p>第4回 PowerPointの基礎演習（1）。 入力、フォント調整。</p> <p>第5回 PowerPointの基礎演習（2）。 様々なレイアウトなど。</p> <p>第6回 PowerPointの基礎演習（3）。 効果的な見せ方など。</p> <p>第7回 自己アピール資料の作成。 既習得の技能を用いて自己アピール資料を作成する。</p> <p>第8回 Microsoft Exelの基礎演習（1）。 表の作成、表計算。</p> <p>第9回 Microsoft Exelの基礎演習（2）。 関数の入力など。</p> <p>第10回 PowerPointの応用（1）。 図形の挿入、図形の変形、グループ化など。</p> <p>第11回 PowerPointの応用（2）。 画像・動画の挿入など。</p> <p>第12回 PowerPointの応用（3）。 表の挿入など。</p> <p>第13回 プレゼンテーションレジメの作成。 プレゼンテーション資料（課題）のレジメを設計する。</p> <p>第14回 プレゼンテーション資料の作成（1）。 既習得の技能を用いて、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>第15回 プレゼンテーション資料の作成（2）。 既習得の技能を用いて、プレゼンテーション資料を作成する。</p>
授業の概要	<p>まず、効果的なプレゼンテーションには何が必要であるかを理解するため事例研究を行う。次に、効果的なプレゼンテーションを実現するために活用できる情報機器やアプリケーションの操作技能を習得し、上手なプレゼンテーションができるようになる。</p>
予習	<p>しっかりテキストを読みこんでおくこと。</p>
復習	<p>授業で学んだことを逐次実践に活かすこと。</p>
テキスト	<p>『はじめてのPowerPoint2016』高橋慈子/富永敦子著、秀和システム。</p>
参考書	<p>マイクロソフト社ワード・エクセルの使用マニュアルなど。</p>
評価方法・評価基準	<p>課題の提出80%、授業参加度・発表*20%。</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	<p>効果的なプレゼンテーションのための情報機器の活用方法を習得するプロセスは、毎回の実技演習の蓄積である。欠席しないよう努めること。</p>
オフィスアワー	<p>分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 （仮）毎週**曜日 **限目 武村研究室</p>

課題に対する フィードバック方 法	授業中、逐次フィードバックいたします。
-------------------------	---------------------

講義科目名称：マーケティング入門

授業コード：

英文科目名称：Introduction to Marketing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
未定			

授業のテーマ及び到達目標	基本的な目標：マーケティングを学問として捉え、用語や理論を理解する。 高度な目標：マーケティング思考力を身につけ、生活の中の様々な事柄に応用できるようになる。
授業計画	<p>第1回 インTRODクション、マーケティングって何だろう</p> <p>第2回 売れる商品・サービスとはどんなものなのか？「ニーズとウォンツ」</p> <p>第3回 なぜその商品・サービスが選ばれるのか？「ライフスタイル」</p> <p>第4回 ・いつ、どこでモノは買われているのか？「購買行動」・買う・買わないはどうやって決めているのか？「購買意思決定プロセス」</p> <p>第5回 どんな広告戦略を立て、誰に売ればいいのか？「イノベータ理論」</p> <p>第6回 ・優良顧客を見極め、手放さないためには？「ライフタイムバリュー」・売れ筋・死に筋の境界線とは？「20-80の法則」</p> <p>第7回 ・収益性を上げるにはどうしたらいいのか？「ファイブ・フォース・モデル」・変化・チャンス・ピンチを見逃さない方法はあるか？「SWOT分析」</p> <p>第8回 ・自社の製品はどんな人にも買ってもらうべきか？「セグメンテーション」・どんなグループを自社の顧客にすればいいのか？「ターゲティング」</p> <p>第9回 生活者と企業をつなぐ基本要素とは？ 「マーケティング・ミックス」</p> <p>第10回 ・見ただけで伝えなければならないことは何か？ 「ロゴ・マーク」・もっと価値ある商品にするにはどうしたらいいのか？ 「ブランド」・売れる名前をつけるにはどうしたらいいのか？ 「ネーミング」 まとめ、レポート提出</p> <p>第11回 ・市場の変化に対応できる新商品開発タイミングとは？ 「プロダクト・ライフサイクル」・問題児？花形？金のなる木？負け犬？ 「プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント」</p> <p>第12回 ・価格ってどうやって決める？ 「価格設定戦略」・どっちの価格戦略で行こうか？ 「スキミングとペネトレーション」</p> <p>第13回 ・最終販売経路はどこにあるのか？ 「チャンネル戦略」・効率のいい販売促進とは？ 「プロモーション戦略」</p> <p>第14回 どうすれば再購入につながるのか？ 「CS（顧客満足）」</p> <p>第15回 まとめ</p>
授業の概要	まずはじめにマーケティングの全体像を把握し、続いて企業を取り巻く環境・市場のとらえ方を把握し、商品づくりから顧客に届くまでのチャンネルや販売促進方法について学ぶ。こうした流れが身近に理解できるよう企業の実例の事例を紹介し、ディスカッションする。
予習	シラバスを確認し、ニュース等と関連づけて意識しておくこと。
復習	学んだテーマの理解を深め、修得した内容を日常生活で意識すること。
テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加度、貢献度、受講態度 30% ・課題等の提出 70% <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 .. 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	身の回りにあるほとんどのものがマーケティングを考える良い材料になります。日頃からマーケティングというものを意識するようにつとめましょう。
オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	.

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
新垣 誠			

授業のテーマ及び到達目標	<p>知識理解：文化的他者の概念を説明できる。 関心意欲：他者の歴史に興味を持てる。 思考判断：文化から社会的・歴史的背景を指摘できる。 態度：他者の声を聴く態度を持つ。 到達目標：他者や異文化に対する正しい理解ができるようになる</p>
授業計画	<p>第1回 「文化」とは？「異文化理解」とは？ 「文化」の概念について考える。「異文化」を「理解」という行為について議論し、理解を深める。「理解」と「共感」など、他者との共生において重要となる概念について学ぶ。</p> <p>第2回 大航海時代と異民族・異文化接触 人類にとっての「異文化接触」の歴史は暴力に満ちており、現在私たちが国際交流などで描くポジティブなイメージからは程遠かった。ヨーロッパにおける大航海時代を例に、植民地支配など民族間接触と暴力的支配の歴史を学ぶ。</p> <p>第3回 アメリカ合衆国の歴史と奴隷制度 北米を例に取り上げ「奴隷制度」の歴史を学ぶ。北アメリカにおけるプランテーションの成り立ちや奴隷としての「黒人」の扱いについて理解を深める。現在のアメリカにおける人種間の対立や差別の歴史的背景について学ぶ。</p> <p>第4回 奴隷解放とブルースの誕生 「奴隷制度」という過酷な社会環境の中で、黒人たちがどのような文化を生み出していったのか、音楽に焦点を当て探る。労働歌からブルースが誕生した社会背景について学ぶ。ミシシッピ・デルタスタイル（カントリーブルース）を例に取り上げ、エスノミュージコロジーの視点からその音楽に込められた精神世界を探る。ブルースを「理解」することについて議論し考える。</p> <p>第5回 黒人社会とキリスト教～ゴスペルと黒人の精神世界～ 宗教音楽ゴスペルの世界について学ぶ。黒人社会にとってのキリスト教の存在意義と、アイデンティティに与えた影響について考える。ジムクロー法やアメリカ南部に存在した様々な人種差別の現実について理解する。KKKなど白人至上主義と人種差別についての理解を深める。ゴスペルの世界に触れることで、当時の黒人の状況をどのようにして「理解」できるのか、議論する。</p> <p>第6回 北部都市シカゴとリズムアンドブルース～カントリーブルースからシティブルースへ～ アメリカの工業化に伴い、南部から北部へと人口移動が始まった歴史を学ぶ。シカゴにおいて新たな展開をみせたブルースについて理解する。北部の都市で、新たな社会環境に置かれた黒人たちの生活と文化について学ぶ。シカゴブルースとして新たなジャンルとなった音楽から、当時の黒人たちの精神文化を「理解」する。</p> <p>第7回 ゴスペルからソウルへ～アメリカ主流社会への同化主義と黒人音楽～ それまで黒人教会のものであったゴスペルが、ソウルという商業的音楽へと新たな展開をみせた社会状況について学ぶ。キング牧師の登場と公民権運動を迎えた1960年代、黒人たちの中にあった「いつかは白人のようになれる」と信じたオプティミズムとその挫折を、ソウルという音楽の中から読み取っていく。モータウンレコードに代表される同化主義的運動の背景にあったものや、人種差別によって形成された低い自己肯定感やアイデンティティについて理解を深める。</p> <p>第8回 ソウルからファンクへ～「ブラック・イズ・ビューティフル」と黒人アイデンティティの変化 同化主義を体現したモータウン・ソウルからファンクという新たな音楽の誕生について学ぶ。キング牧師やマルコムXの暗殺を通して、これまで抱かれていた人種平等の理想が崩れると共に、アメリカ黒人社会をリアルに反映した音楽の必要性の出現について考える。アフロヘアーや黒人特有のファッションに代表されるアイデンティティの変遷について理解する。</p> <p>第9回 キング牧師と公民権運動 キング牧師の足跡に焦点を当て、激動の60年代を理解する。人種差別の歴史のみならず抵抗を続けた人々の歴史、音楽やアートを通してアメリカ社会の人種差別を変えようとした活動について学ぶ。</p> <p>第10回 抵抗の音楽～レゲエ カリブ海に目を移し、ジャマイカの歴史に焦点を当てる。アメリカと同じような奴隷制の歴史やマルーンの抵抗、宗教運動ラスタファリについて学ぶ。レゲエという音楽の歌詞に込められた政治的意味について、ボブ・マーリーの作品をひもときながら考える。東西冷戦の中にあって、資本主義と社会主義の代理戦争のような暴力が存在したジャマイカで、レゲエの果たした政治的役割や民衆の心情について理解を深める。</p> <p>第11回 文化は再びストリートへ～ヒップホップとR&B 急速に商業化していった音楽にリアリティーを感じきれず、新たな黒人文化としてストリートから誕生したヒップホップに注目する。今日にいたってもまだ続くアメリカ社会の黒人差別をヒップホップ文化の中に学ぶ。黒人社会が抱える様々な課題（ギャングバイオレンス、ドラッグ、ティーンエイジ妊娠・出産、DV、貧困など）について学び、ヒップホップ文化がアメリカ社会で告発する問題意識と向き合う。</p> <p>第12回 ヒップホップの世界的展開 ネパールやフィリピン、台湾などアジアで展開するヒップホップ文化に注目する。フィリピンのスラム街でブレイクダンスが踊られたり、ネパール語のラップが作られたりする背景に、アメリカ黒人が経験した社会的抑圧と差別の構造があることを理解する。似通った社会経験が共感を生み出し、人々をつなぐ現象について考え議論する。</p> <p>第13回 共感がつなぐもの～沖縄とハワイ～</p>

	<p>島嶼社会としての沖縄とハワイの共通点に着目し、2つの島で行われる文化的交流について学ぶ。開発や観光、自然破壊や共同体の崩壊など、共通した歴史的体験が、音楽の中にどのように反映されるのか理解する。言語や文化の違いを超えて共感が生み出すつながりについて考える。</p> <p>第14回 現代アメリカ社会における白人至上主義と人種差別 「オルタナ・ライト」など、トランプ政権誕生とともに台頭した新たな保守系白人至上主義とマイノリティーや移民をターゲットにした人種差別について学ぶ。白人警察官による黒人への暴力や、それらの事件にまつわる世論や抵抗運動などについて理解を深める。「異文化理解」よりも分断へと向かうアメリカ社会から、新たな共生の可能性について考える。</p> <p>第15回 「異文化理解」の概念再考 文化的他者を「理解」することの限界と、その問題点について改めて考える。認識論的立場から「理解」を捉え直し、代替可能な概念についても考える。「共感」や「つながる」など、音楽という文化形態の持つ可能性について議論し、これからの文化共生社会へ向けて、どのような「異文化理解」が望ましいのか、考える。</p>
授業の概要	<p>新たな世紀が明けると同時に私たちが目にしたものは、異民族・異文化の衝突であり、耐えることのない紛争である。グローバル化の進展は、更なる人々の出会いを生み、異文化の出会いを生んでいく。様々な文化や価値観との出会いのなかで、文化的他者を理解し、共に生きるとはいかなることなのか。様々な文化が生成していくプロセスのなかに込められた人々の声を聞き、その思いを探る。</p> <p>「文化」を理解するカギとして、この講義では特にアメリカ黒人音楽の歴史を例に、文化にまつわる諸テーマを考える。ディスカッションの機会を出来るだけ増やし、学生の批判的能力・口頭表現能力の育成にも留意する。</p>
予習	<p>次回の内容予告を受け、基礎的な用語や歴史、事実関連を調べる。</p>
復習	<p>次回の内容との関連性を考え、概念などの再確認をおこなう。</p>
テキスト	<p>講義に必要な教材ならびに資料は担当者が毎回準備する。</p>
参考書	<p>その他のマルチメディア資料については、講義の進捗状況に応じて授業内で随時紹介します。</p>
評価方法・評価基準	<p>期末レポート50%、学期内不定期課題（2回程度）20%、授業への参加度（受講態度を含む）30%：期末レポートでは講義内容の理解度とそれを受けて受講者独自の考えがアウトプットされているかを特に評価します。学期内にディスカッションやドキュメンタリーの内容に基づいたエッセイを課します。授業への前向きな参加としてグループディスカッションでの発言や発表などを評価します。私語などの妨害行為・迷惑行為ならびに寝ない・スマートフォンをいじらないなど基本的な受講態度ができていないか評価します。</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 .. 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	<p>「履修の心構え」：授業への参加が重視されます（遅刻や欠席は大きな減点対象です）。15分以上の遅刻や早退は欠席として扱います。授業態度は厳しく評価されます。「異文化理解」の前提は全ての人の配慮です。私語などの授業妨害行為はそもそも異文化理解の考えと相反するものです。人として基本的ルールを守る人、学びの意欲がある学生のみが履修することを強く希望します。「学びを深めるために」：参考文献・資料は古いものが多いので、メディア情報などを活用し最新の国際情勢や地域の状況を把握するように努力してください。ドキュメンタリー映画やニュース番組の特集などから更に状況の深い理解や分析を試みて下さい。同じ受講生とも対話を持ち、意見交換をおこなってみて下さい。</p>
オフィスアワー	<p>毎週**曜日 **限目 事前にメールで予約してください。 メールアドレス：makoto@ocjc.ac.jp</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>課題やレポートは採点后に希望に応じて返却します。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
上原 明子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 「伝わる言葉」の使い手を目指し、日本語力を高める。</p> <p>【到達目標】 コミュニケーションについての認識を深め、相手を尊重すること、自分を省みることができる。相互交流での学び合いによるセルフ・ラーニングの意識を培う。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション／呼吸と姿勢について 「伝わる言葉」とは何かについてのレクチャーにより、日本語の音声表現を学ぶ意味を認識する。 深い呼吸を支える身体ほぐしと発音・発声の理論と実践（※すべての授業のはじめに行う） 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第2回 ヒーローインタビューとポジショニング インタビューという言語活動を通して、コミュニケーションについて学ぶ。 ポジショニング理論の基礎を学ぶ。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第3回 聞く・聴く・訊く 「きく」ことの3つのスイッチについて学ぶことで、「良い話し手」への基本姿勢の認識を深める。 メモの5つの効用について学び、集中力を高める技法を習得する。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第4回 声のパワー / 自己紹介スピーチ 「伝わる言葉」の一番大切な要素である「声の力」についての実践と理論を学ぶ。 話し言葉と書き言葉のルールの違いについての認識を深める。 「1分自己紹介」の実践と改訂版作成。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第5回 敬語意識（1） 他者尊重の視点からの言葉 他者尊重という視点からの「敬語意識」について学ぶ。 標準語と方言、個人レベルの言葉使いについてのディスカッションを行う。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第6回 敬語意識（2） 敬語使用の実践 「敬語」についての基礎的知識を学ぶ。 間違い敬語、うっかり敬語の点検を行い、自分の敬語使用状況について客観的に把握する。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第7回 朗読表現 「朗読表現」を実践的に学ぶことで、スピーチやプレゼンテーションにおける表現力を高める。 朗読鑑賞と、群読実践。 課題：授業で取り上げた作品についての鑑賞レポート作成。</p> <p>第8回 パブリックスピーキング（1） 伝達・情報化 パブリックスピーキングの基礎を学ぶ。 情報を的確に伝達するための情報化のメカニズムについて学ぶ。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第9回 パブリックスピーキング（2） 結婚披露宴友人代表スピーチ パブリックスピーキングの実践として、「自分の結婚披露宴友人代表スピーチ」。 自分の長所を的確にPRするスピーチを組み立て、友人代表という役割意識をもったスピーチを行う。 課題：アドバイスに基づいて、スピーチ原稿改訂版作成。</p> <p>第10回 聴衆分析／即興スピーチ 「伝わる言葉」のための、もうひとつの要素として、聴衆についての分析方法を学ぶ。 4つの類型への分類と、それぞれに対するスピーチやプレゼンの心構えについての認識を深める。 即興スピーチ（3つのタイプ）の実践スタート。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第11回 教室プレゼンテーション・20の技法 効果的なプレゼンテーション（スピーチ含む）を、5系列、20技法の視点で整理する。 第1～10回の授業のまとめ。 課題：授業メモからの授業ノート作成</p> <p>第12回 プレゼン実践（1） 取材と報告 プレゼン実践として、テーマに対する取材を行う。 取材内容についての報告書を作成する。 課題：授業で指示するタスクに取り組む</p> <p>第13回 プレゼン実践（2） 写真リポート プレゼン実践として、2葉の写真についてのリポート。 タイトル、コンセプト、1分スピーチ、をそれぞれ作成する。 課題：写真リポートの完成。</p> <p>第14回 プレゼン実践（3） プレゼンと評価 プレゼン実践として、第13回の授業で作成した写真リポートについてのプレゼンを行う。</p>

	<p>良い聞き手への訓練として、スピーチ評価票に基づき、的確な評価とコメント方法について学ぶ。</p> <p>課題：アドバイスに基づき、プレゼン原稿改訂版作成。 まとめ（プレゼン、即興スピーチ、最終レポート） 全体のまとめ。</p> <p>第14回の授業で作成した写真リポート改訂版を、プレゼンする。 1分感覚の達成度を測るための即興スピーチを行う。 授業メモからの授業ノートに基づき、1分スピーチ原稿（3つ）作成する。</p>
授業の概要	<p>日本語の音声表現についての講義と実践を通し、的確なコミュニケーションのための土台作りをする。</p> <p>以下の5つの観点からの学びを行う。</p> <p>① 自分の考えや意見を音声言語で表現する方法を訓練する。 ② 他人の話聞く訓練をする。 ③ コミュニケーションのしくみを学ぶ。 ④ 1分スピーチ力を養成する。 ⑤ 効果的なプレゼンテーションの技法を学ぶ。</p>
予習	授業で指示したタスクに取り組むこと（約2時間要す）
復習	講義内で学んだ内容メモを授業ノートに整理する（約2時間要す）
テキスト	講師作成資料を配布。
参考書	テーマ毎に指示する。
評価方法・評価基準	<p>①授業のタスクへの取り組み 20% ②プレゼンテーションへの取り組み 30% ③即興スピーチ 20% ④授業ノートをベースにした最終レポート 30%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>講師による配布資料をきちんとファイルしておくこと。</p> <p>授業内容メモを授業ノートに整えておくこと。</p>
オフィスアワー	毎週水曜日（11：00～12：30）研究室
課題に対するフィードバック方法	授業内で返還。最終レポートについては、各自のメールボックスに返還。

講義科目名称 : Tourism English I

授業コード :

英文科目名称 : Tourism English I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-4)	選択必修A
担当教員			
Michelle Higaonna			
higaonna@okinawa-u.ac.jp			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: This course is designed to build confidence in professional skills such as dealing with enquiries, marketing destinations, offering advice, negotiating, writing business correspondence, and speaking to a group.</p> <p>Goal: Language skills will be practiced using realistic case studies. Presentations in English are required.</p>		
授業計画	第1回	Class Orientation and lecture on Tourism in Okinawa Talk about class rules and assignments. Grading system will be also introduced.	
	第2回	Unit1 Talk and discuss types of tourism in the world	
	第3回	Unit1 Discuss and get to know more about tourism in the world	
	第4回	Unit1 More world tourism	
	第5回	Unit1 More about Tourism in the world	
	第6回	Prepare for Presentation 1 Students will be assigned to present their 1st presentation: my hometown	
	第7回	Prepare for Presentation 1 Students will required to prepare their 1st presentation: my town	
	第8回	Presentation 1 Each student makes their 1st presentation. This will be graded by teacher and peers.	
	第9回	Presentation 1 & Feedback All the students will be finished presenting their 1st presentation. Feedback from teacher and students will be given to each presenter.	
	第10回	Unit 2 Jobs in Tourism: various jobs related to tourism industry will be introduced.	
	第11回	Unit 2 Jobs in Tourism: various jobs related to tourism industry will be introduced.	
	第12回	Unit 2 Jobs in Tourism: various jobs related to tourism industry will be introduced.	
	第13回	Unit 3 Visitor Centers: study the objectives of having visitor centers	
	第14回	Unit 3 Visitor Centers: Study the function of the visitor centers	
	第15回	Unit 3 Visitor Centers: study the problems and expectation of the visitor centers	
	第16回	Prepare for Presentation 2 Students are required to present 2nd presentation.	
	第17回	Prepare for Presentation 2 Students will spend their time at computer LL to prepare for their 2nd presentation	
	第18回	Presentation 2 Students present their 2nd presentation. This presentation will be graded by teacher and peers.	
	第19回	Presentation 2 & Feedback All the students will be finished presenting their 2nd presentation. After that, feedback will be given from teacher and peers to each individual speaker.	
	第20回	Unit 4 Many different types of Package Tours will be introduced in this lesson.	
	第21回	Unit 4 Package Tours: how this package tour functions	
	第22回	Unit 4 Package Tours Advantages and Disadvantages of having Package Tours	

	<p>第23回 Unit 5 Introduce various types of hotels</p> <p>第24回 Unit 5 Introduce jobs in the hotel</p> <p>第25回 Unit 5 Study how hotel is managed. Study hospitality and services.</p> <p>第26回 Review and Consolidation Review all the lessons and choose the last presentation topic</p> <p>第27回 Prepare for Final Presentations Students spend time at computer LL room to prepare for their final presentation</p> <p>第28回 Prepare for Final Presentations Students prepare for their final presentation</p> <p>第29回 Final Presentations Presenting their last presentation. This presentation will be evaluated by teacher and peers.</p> <p>第30回 Final Presentations & Feedback All the students will be finished presenting their presentation. Feedback will be given to each speaker.</p>
授業の概要	To enable students to develop their listening and speaking skills for the Tourism field. To improve the ability of students to communicate in English in situations specific to the tourism industry: in airports, hotels and restaurants, at Visitor centers, making and taking reservations, and describing a variety of travel services. To prepare students for more advanced levels of speaking and listening in English for employment in the Tourism industry.
予習	Students should preview each lessons' s material before the next class.
復習	Students should review each lessons' s material before the next class.
テキスト	English for International Tourism - Pre-Intermediate Coursebook New Edition
参考書	It is good to keep a special notebook for this class.
評価方法・評価基準	<p>Classroom participation, Oral presentations, Listening tests, Short tests (quizzes), End-of-Semester Presentation, Other methods as determined by the instructors. Participation: 30%, 2 presentations: 20% each (40%), Final Presentation: 30%. 授業参加度: 30%、2プレゼンテーション: 各20%= (40%) , 最終プレゼンテーション: 30%.</p> <p>Grades: 成績評価基準 (A)= 90-100 (B)= 80-89 (C)= 70-79 (D) 60-69 (F)=0-59 *If you are absent on your assigned presentation day 10% per class will be subtracted from your presentation score.</p> <p>【D P 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom. All presentations are to be 100% in English and the instructor will speak only English in class. Students should expect to prepare and practice presentations outside of class time.
オフィスアワー	Available 3rd period Monday and Thursday. Please contact for an appointment.
課題に対するフィードバック方法	Feedback is given after each major assignment and continuously throughout the class.

講義科目名称 : Tourism English II

授業コード :

英文科目名称 : Tourism English II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-4)	選択必修A
担当教員			
Michelle Higaonna			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: This course is designed to build confidence in professional skills such as dealing with enquiries, marketing destinations, offering advice, negotiating, writing business correspondence, and speaking to a group.</p> <p>Goal: Language skills will be practiced using realistic case studies. Presentations in English are required.</p>		
授業計画	<p>第1回 Class Orientation and lecture on Tourism in Okinawa Introduce class rules and grading system</p> <p>第2回 Unit 6 Study types of food and beverage</p> <p>第3回 Unit 6 Food & Beverage Study types of food and beverage</p> <p>第4回 Unit 6 Study the problems and expectation for food and beverage</p> <p>第5回 Prepare for Presentation 1 Students are required to present their 1st presentation</p> <p>第6回 Prepare for Presentation 1 Students spend time at computer LL to prepare their 1st presentation.</p> <p>第7回 Presentation 1 All the students have to present their 1st presentation. This presentation will be graded by teacher and peers.</p> <p>第8回 Presentation 1 & Feedback All the students will present their 1st presentation. Feedback will be given to each speaker from teacher and peers.</p> <p>第9回 Unit 7 Introduce various nature tourism in the world.</p> <p>第10回 Unit 7 Pros and Cons about Nature Tourism</p> <p>第11回 Unit 7 Problems and expectation for Nature Tourism</p> <p>第12回 Unit 8 Study types of Air Travel in the world</p> <p>第13回 Unit 8 Study types of Air Travel in the World</p> <p>第14回 Unit 8 Problems and solution for Air Travel</p> <p>第15回 Prepare for Presentation 2 Students are required to present their 2nd presentation</p> <p>第16回 Prepare for Presentation 2 Students spend their time at computer LL room to prepare for their 2nd presentation</p> <p>第17回 Presentation 2 All the students required to present their 2nd presentation. This presentation will be evaluated by teacher and peers.</p> <p>第18回 Presentation 2 & Feedback All the students have to present their 2nd presentation. Feedback will be given to each speaker from teacher and peers.</p> <p>第19回 Unit 9 Study Hotel is operated. Several foreign Hotel Operation will be introduced.</p> <p>第20回 Unit 9 How hotels in Japan are operated. Compare with foreign ones</p> <p>第21回 Unit 9 Different types of jobs in the hotel will be introduced in this lesson</p> <p>第22回 Unit 9 Problems and expectation of Hotel Operation</p>		

	<p>第23回 Unit 10 Study various types of Marketing</p> <p>第24回 Unit 10 Study various types of Marketing</p> <p>第25回 Unit 10 Introduce Marketing in Okinawa</p> <p>第26回 Unit 10 Problems and expectation of Marketing</p> <p>第27回 Prepare for Final Presentations All the students required to prepare for their final presentation</p> <p>第28回 Prepare for Final Presentations All the students spend their time at computer LL room to prepare for their final presentation</p> <p>第29回 Final Presentations All the students have to present their final presentation. This presentation will be evaluated by teacher and peers.</p> <p>第30回 Final Presentations & Feedback All the students have to present their final presentation. Feedback will be given to each speaker form teacher and peers.</p>
授業の概要	<p>To enable students to develop their listening and speaking skills for the Tourism field. To improve the ability of students to communicate in English in situations specific to the tourism industry: in airports, hotels and restaurants, Visitor Centers, making and taking reservations and describing a variety of travel services. To prepare students for more advanced levels of speaking and listening in English for employment in the Tourism Industry.</p>
予習	Students should preview each lessons' s material before the next class.
復習	Students should review each lessons' s material before the next class.
テキスト	English for International Tourism - Pre-Intermediate Coursebook New Wdition.
参考書	Please keep a notebook for this course.
評価方法・評価基準	<p>Classroom participation, Oral presentations, Listening tests, Short tests (quizzes), End-of-Semester Presentation, Other methods as determined by the instructors. Participation: 30%, 2 presentations: 20% each (40%), Final Presentation: 30%. 授業参加度：30%、2プレゼンテーション：各20%= (40%) , 最終プレゼンテーション：30%。 Grades: 成績評価基準 (A)= 90-100 (B)= 80-89 (C)= 70-79 (D) 60-69 (F)=0-59 *If you are absent on your assigned presentation day 10% per class will be subtracted from your presentation score.</p> <p>【D P 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom. All presentations are to be 100% in English and the instructor will speak only English in the classroom. Students should expect to prepare and practice presentations outside of class time.
オフィスアワー	Available 3rd period Monday and Thursday. Please contact for an appointment.
課題に対するフィードバック方法	Feedback is given after each major assignment and continuously throughout the class.

講義科目名称：英語講読Ⅲ

授業コード：

英文科目名称：English Reading Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-4)	選択必修C
担当教員			
作田真由子・浜川仁			

授業のテーマ及び到達目標	テキストの精読を通し、論説文の内容を的確・詳細に理解する能力を養う。		
授業計画	第1回	<p>INTRODUCTION / UNIT 1 Sport and Fitness</p> <p>Reading A: The World' s Game</p> <p>Reading Skill A: Scanning for Specific Information</p> <p>Vocabulary Building A: Word Link: uni-</p>	
	第2回	<p>UNIT 1 Sport and Fitness</p> <p>Reading A: The World' s Game B: What Makes an Olympic Champion?</p> <p>Reading Skill A: Scanning for Specific Information B: Classifying Information</p> <p>Vocabulary Building A: Word Link: uni- B: Word Link: -ic / -atic</p>	
	第3回	<p>UNIT 1 Sport and Fitness</p> <p>Reading B: What Makes an Olympic Champion?</p> <p>Reading Skill B: Classifying Information</p> <p>Vocabulary Building B: Word Link: -ic / -atic</p>	
	第4回	<p>UNIT 2 Skin Deep</p> <p>Reading A: What Is Beauty?</p> <p>Reading Skill Using Examples to Support Claims</p> <p>Vocabulary Building A: Usage: uniform</p>	
	第5回	<p>UNIT 2 Skin Deep</p> <p>Reading A: What Is Beauty? B: Skin: The Body' s Canvas</p> <p>Reading Skill A: Using Examples to Support Claims B: Determining the Main Idea of Paragraphs</p> <p>Vocabulary Building A: Usage: uniform B: Word Link: -al</p>	
	第6回	<p>UNIT 2 Skin Deep</p> <p>Reading B: Skin: The Body' s Canvas</p> <p>Reading Skill B: Determining the Main Idea of Paragraphs</p> <p>Vocabulary Building B: Word Link: -al</p>	
	第7回	<p>UNIT 3 Animals in Danger</p> <p>Reading A: Dangerous Journey</p> <p>Reading Skill A: Guessing the Meaning of Unfamiliar Words</p>	

第8回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: -ive UNIT 3 Animals in Danger Reading A: Dangerous Journey B: Tracking the Snow Leopard</p> <p>Reading Skill A: Guessing the Meaning of Unfamiliar Words B: Understanding Conditional Relationships</p>
第9回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: -ive B: Usage: conflict UNIT 3 Animals in Danger Reading B: Tracking the Snow Leopard</p> <p>Reading Skill B: Understanding Conditional Relationships</p>
第10回	<p>Vocabulary Building B: Usage: conflict UNIT 4 Violent Earth Reading A: Sacred Mountains</p> <p>Reading Skill A: Being an Active Reader</p>
第11回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: ex- UNIT 4 Violent Earth Reading A: Sacred Mountains B: Earthquake Zones</p> <p>Reading Skill A: Being an Active Reader B: Understanding Cause and Effect Relationships</p>
第12回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: ex- B: Word Partnership: schedule UNIT 4 Violent Earth Reading B: Earthquake Zones</p> <p>Reading Skill B: Understanding Cause and Effect Relationships</p>
第13回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: schedule まとめと小テスト</p>
第14回	<p>UNIT 5 Islands and Beaches Reading A: The Perfect Beach</p> <p>Reading Skill A: Summarizing a Writer's Point of View</p>
第15回	<p>Vocabulary Building A: Word Partnership: rank UNIT 5 Islands and Beaches Reading B: Land of Fire and Ice</p> <p>Reading Skill B: Labeling Details on a Map</p>
第16回	<p>Vocabulary Building B: Thesaurus: spectacular UNIT 6 Success and Failure Reading A: The Nature of Risk</p> <p>Reading Skill A: Recognizing Metaphors</p>

第17回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: min-</p> <p>UNIT 6 Success and Failure</p> <p>Reading B: The Rewards of Failure</p> <p>Reading Skill B: Understanding Transitions</p>
第18回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: reputation</p> <p>UNIT 7 Global Addictions</p> <p>Reading A: Caffeine: The World's Favorite Drug</p> <p>Reading Skill A: Understanding Pros and Cons</p>
第19回	<p>Vocabulary Building A: Thesaurus: furthermore</p> <p>UNIT 7 Global Addictions</p> <p>Reading B: Powering the Future</p> <p>Reading Skill B: Using a Venn Diagram to Classify Information</p>
第20回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: steep</p> <p>UNIT 8 Epic Engineering</p> <p>Reading A: China's Grand Canal</p> <p>Reading Skill A: Understanding Compound Words</p>
第21回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: nov</p> <p>UNIT 8 Epic Engineering</p> <p>Reading B: Peru's Highway of Dreams</p> <p>Reading Skill B: Organizing Notes in a T-chart</p>
第22回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: dense</p> <p>まとめと小テスト</p>
第23回	<p>UNIT 9 Far Out</p> <p>Reading A: Defying Gravity</p> <p>Reading Skill A: Recognizing Phrasal Verbs</p>
第24回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: -ize</p> <p>UNIT 9 Far Out</p> <p>Reading B: The Ultimate Trip</p> <p>Reading Skill B: Recognizing Appositives</p>
第25回	<p>Vocabulary Building B: Word Partnership: precious</p> <p>UNIT 10 All in the Mind</p> <p>Reading A: What's on Your Mind?</p> <p>Reading Skill A: Identifying Definitions</p>
第26回	<p>Vocabulary Building A: Word Link: -ible/-ibility</p> <p>UNIT 10 All in the Mind</p> <p>Reading B: Inside Animal Minds</p>

	<p>Reading Skill B: Identifying Lexical Cohesion</p> <p>Vocabulary Building B: Thesaurus: master UNIT 11 Art and Life Reading A: The Power of Color</p> <p>Reading Skill A: Creating a Word Web</p> <p>Vocabulary Building A: Usage: stress (noun/verb) UNIT 11 Art and Life Reading B: Van Gogh' s World</p> <p>Reading Skill B: Sequencing Information</p> <p>Vocabulary Building B: Word Link: sen(s) UNIT 12 Medical Challenges Reading A: A Cure for Cancer?</p> <p>Reading Skill A: Understanding an Author' s Use of Quotes</p> <p>Vocabulary Building A: Word Link: multi- UNIT 12 Medical Challenges Reading B: Deadly Contact</p> <p>Reading Skill B: Inferring Information</p> <p>Vocabulary Building B: Word Partnership: emergency まとめと小テスト</p>
授業の概要	<p>使用する教材は National Geographic チャンネルの番組をもとに作成されており、ネイティブ・スピーカー特有の感性とヴィジョンが伝わってくる。世界の歴史、遺産、医学、科学技術の先端、環境問題など、幅広い分野における英文の読解能力と理解力が高まるだろう。テキスト、音声教材、資格教材を駆使して実力UPを図る。 英語検定試験 (STEP) 2級～準級、TOEIC460～590</p>
予習	<p>学習予定 Unit のリーディングに一通り目を通し、重要単語の意味を調べておく。 各回、約1時間の事前学習を要する。</p>
復習	<p>MyELTなどを利用し、履修済箇所の単語及び文章を見直す。 各回、約1時間の事後学習を要する。</p>
テキスト	<p>Nancy Douglas. Reading Explorer 3, Second Edition. National Geographic Learning, 2014.</p>
参考書	<p>特になし</p>
評価方法・評価基準	<p>小テスト (60%) 課題 (40%)</p> <p>【D P 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士 (英語) の単位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>履修上の注意： 辞書と英文法参考書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること。</p>
オフィスアワー	<p>浜川：毎週月曜日 (13：00～14：30) 研究室 できれば、事前にメール予約をお取りください。 メールアドレス：hamagawah@oc.jc.ac.jp 作田：毎週**曜日 **限目 作田研究室</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>MyELTの運営と管理を通して、進捗状況と弱点の把握につとめる。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	2年	2単位(0-4)	選択必修C
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 パラグラフごとに大意をつかみ、長文であっても内容を把握できる。読解を通して語彙力、文法力も強化する。</p> <p>【到達目標】 上級レベルの英文の内容を理解できる。</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODダクション, Energy from Foot Traffic 前半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第2回 Energy from Foot Traffic 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第3回 Global Cooling 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第4回 Geoengineering to the Rescue 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第5回 The Satoyama Initiative 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第6回 Pandemic Alert 前半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第7回 Pandemic Alert 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第8回 Cosmetic Surgery 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第9回 Lack of Sleep Can Kill You 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第10回 Barefoot Jogging 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第11回 Space Tourism 前半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第12回 Space Tourism 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第13回 Destination Mars 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第14回 Wow! Signal 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第15回 Space Weather 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第16回 UAVs 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第17回 LEDs 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第18回 Kindle, iPad or Mobile Phone? 前半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第19回 Kindle, iPad or Mobile Phone? 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第20回 The Conscious Computer 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第21回 Nomura's Jellyfish 前半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第22回 Nomura's Jellyfish 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第23回 The World's First Cloned Mammoth? 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第24回 Biomimetics 前半</p>

	<p>本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第25回 Biomimetics 後半 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第26回 The Low-Emission Cow 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第27回 Global Seed Vault 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第28回 Hemp 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第29回 Vegetable Factories 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第30回 Rooftop Greening extends to Walls 本文の音読、読解、練習問題、英作文などを通じて英語力をのばす。</p> <p>第31回 定期試験</p>
授業の概要	英語講読Ⅲで培った読解力をさらに高めるため、さらに上級のレベルの英語で書かれたテキストを使用する。英文を十分に理解した上で、テキストに出てくる語句を使って作文を書いたりする。テキストの内容に関連した副教材を使用することもある。
予習	次回進む予定の箇所の語彙を調べて、訳してみる。 各回、約1時間の事前学習を要する。
復習	進んだ箇所の語彙を覚える。関連する文法項目を文法書でもう一度確認する。 各回、約1時間の事後学習を要する。
テキスト	Jonathan Lynch 他 (編著) Science Insight (『科学の今を探る』) 成美堂、2011年
参考書	総合英語フォレスト (第7版)
評価方法・評価基準	<p>定期試験60%、課題40%</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	辞書と英文法参考書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること。
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 作田研究室
課題に対するフィードバック方法	課題はチェック後、毎回の授業内で返却する。定期テストは各自のメールボックスへ返却する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
仲座 栄利子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 コミュニケーション能力：英語を聞き、話の要旨を理解することができる。また目的や意図を簡単な英語で伝えることができる。</p> <p>【到達目標】 英検準2級合格程度の英語運用能力を習得する</p>
授業計画	<p>第1回 TOEIC について/Pre-Check TOEICについての説明。日本全体の平均点数が550点を超えないことや、世界の平均点について説明する。毎週の単語テストやディクテーションの課題についての説明をする。</p> <p>第2回 Listening Comprehension Part 1 TOEICのリスニングパート1について学習する。リスニングを解くヒントや間違えない技術を学ぶ。</p> <p>第3回 Listening Comprehension Part 2 TOEICのリスニングパート2について学習する。パート2は問題や選択肢が印刷されていないことから、最もリスニングで集中するパートであることを教える。リスニングを解くヒントや間違えない技術を学ぶ。</p> <p>第4回 Listening Comprehension Part 3 TOEIC I ではTOEIC Bridgeテキストを利用しているので、リスニングパート3とパート4が合併している。ストーリーを頭のなかで作り上げながら、リスニングを聞く技術を身につける。</p> <p>第5回 Listening Comprehension Review Part 1 リスニングパート1の復習ユニットになる。パート1は最も簡単なテストなので、しっかり間違えをしないように、</p> <p>第6回 Listening Comprehension Review Part 2 リスニングパート2の復習を行う。問題や選択肢が他のユニットと違い、印刷されていないので、間違えないようにしっかりきくことが大切である。</p> <p>第7回 Listening Comprehension Review Part 3 リスニングパート3&4の復習を行う。しっかり頭の中でストーリーを作り上げながらリスニングの問題を聞く練習をする。</p> <p>第8回 Mid-Term Exam 中間試験。リスニングのパートのみの試験。</p> <p>第9回 Reading Comprehension Part 4 リーディングのパート4を解く。文法、語彙力が求められるパートである。今回は品詞を中心に学ぶ。</p> <p>第10回 Reading Comprehension Part 4 リーディングパート4の2回目の授業にあたる。今回は文法を中心に学ぶ。</p> <p>第11回 Reading Comprehension Part 4 リーディングパート4の復習を行う。文法・語彙力を確かめる。</p> <p>第12回 Reading Comprehension Part 5 リーディングのパート5を解く。長分読解がメインのパートであり、TOEICテストで一番難しいパートでもある。長分読解ではスキミングとスキヤニングが役立つ。今回はスキミングの技術を学び、実際に問題を解いてもらう。</p> <p>第13回 Reading Comprehension Part 5 リーディングパート5の2回目の授業にあたる。今回はスキヤニングのスキルを学ぶ。スキヤニングをしながら実際に難しい問題を解いてもらう。</p> <p>第14回 Reading Comprehension Part 5 リーディングパート5の復習を行う。1つの問題に長く時間をかけずに解くことを念頭におき、スキヤニングとスキミングを使って、長分読解に挑戦してもらう。</p> <p>第15回 Review Reading Comprehension Part 4 and 5 リーディングパートの総復習にあたる。パート4と5を通して解いてもらう。</p> <p>第16回 Final Exam 期末試験。全てのリーディングのパート4と5がテスト範囲となる。</p>
授業の概要	<p>英語はコミュニケーションの道具です。私たちはコミュニケーションによって色々な国々の文化や価値観を理解していくことができます。TOEICは”Test of English for International Communication “の略称で、英語コミュニケーション能力を測るテストです。現在、世界60カ国で実施されています。以前は主に海外企業・外資系企業で入社・昇格等の目的に利用されてきましたが、今では米国大学入試・国内大学入試等にも利用されています。ListeningとReadingの2部に分かれています。</p> <p>Introductory Courseでは、TOEIC Bridgeを使うTOEIC入門クラスです。入門コースなので自信のない方や苦手な方でも受講できます。分かりやすく各設問を説明し、対策法・傾向を学びます。なお、TOEICのスコアアップは本演習だけでは不十分なので、毎回英単語・熟語の小テストを行います。また毎回速読の課題をこなしてもらいます。</p>
予習	毎回の小テストの予習をすること

復習	各パートの復習をすること
テキスト	北尾泰幸他、Step-up Skills for the TOEIC Test いま始めようTOEICテスト 朝日出版社
参考書	辞書、英文法参考書、
評価方法・評価基準	小テスト10% 授業への参加度20% 学期末テスト40% 宿題30% 【DP 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	英検準2級を目指すものが望ましい。
オフィスアワー	（仮）毎週**曜日 **限目 仲座研究室
課題に対するフィードバック方法	課題及び授業内の小テストは授業内でその都度返却し解答する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
新城知子・作田真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 TOEICのテスト形式に慣れ、各パートの効果的な解答方法を習得すること。 また、実践的な演習を通じて速解力を高めてゆくこと。</p> <p>【到達目標】 TOEICスコア400から650点を取れるようになる。</p>
授業計画	<p>第1回 イントロダクション Pre-test Pre-testにより、自分の学力のレベルを知る。</p> <p>第2回 予定一動詞・5文型 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第3回 予定一動詞・5文型 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第4回 数量を尋ねる一名詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第5回 数量を尋ねる一名詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第6回 命令・依頼一形容詞・副詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第7回 広告・宣伝一フレーズリーディング 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第8回 時間を尋ねる一動名詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第9回 場所を尋ねる一to不定詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第10回 確認一分詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第11回 留守電一スキニング 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第12回 アドバイス一受動態 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第13回 誘い一比較 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第14回 申し出一関係詞 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第15回 講演者紹介一スキミング 問題集を解くことによって、リスニング力、文法力、読解力を身につける。</p> <p>第16回 期末試験 期末試験により、どれほど学力が伸びたかをはかる。</p>
授業の概要	英語はコミュニケーションの道具です。私たちはコミュニケーションによっていろいろな国々の文化や価値観を理解していくことができます。TOEICは"Test of English for International Communication"の略称で、英語コミュニケーション能力を測るテストです。現在、世界60カ国で実施されています。以前は主に海外企業・外資系企業で入社・昇格等の目的に利用されてきましたが、今では米国大学入試・国内大学入試等にも利用されています。ListeningとReadingの2部に分かれています。Intermediate Courseは、TOEICスコア400から650を対象としたクラスです。英検2級以上の単語力が求められ、リスニング理解力、速読読解力のアップを目指します。また予想問題もIntroductory Courseより多く取り込み、本番のテストで力を100%発揮できるよう、自信をつけていきます。
予習	テキストの問題を解く。その他、できるだけたくさん問題を解くよう心がける。
復習	授業で学習した箇所を見直し、単語、文法などの定着に努める。
テキスト	*THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470* CENGAGE Learning, 2015
参考書	英検PASS単熟語2級
評価方法・評価基準	<p>宿題30% 授業への参加度20% 学期末テスト40% 小テスト10%</p> <p>【DP 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	英検準2級を既に取得しているか、もしくは英検準2級同等の英語力を持つ者が望ましい。
オフィスアワー	(仮) 作田：毎週**曜日 **限目 作田研究室 (仮) 新城：授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	授業の中で返却します。

講義科目名称：TOEIC Ⅲ

授業コード：

英文科目名称：TOEIC Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	Objective: Students must have either TOEFL 450 or TOEIC 500 or STEP 2nd Grade or have equivalent English skills to one of these tests. Goal: Students will be able to comprehend STEP pre-1st Grade voc. words and phrases.
授業計画	<p>第1回 Introduction/ Mini Test Talk about how major Japanese companies use TOEIC tests.</p> <p>第2回 Listening Comprehension Part 1 Learn some strategies to answer listening comprehension part1 (photographs) *Present tense/ People and Background</p> <p>第3回 Listening Comprehension Part 2 Learn some strategies to answer listening comprehension part2 (question-response) *How to say "yes" without using "yes"</p> <p>第4回 Listening Comprehension Part 3 Learn some strategies to answer listening comprehension part3 (conversations)</p> <p>第5回 Listening Comprehension Part 4 Learn some strategies to answer listening comprehension part4 (talks)</p> <p>第6回 Listening Comprehension Review Part 1 & 2 Review some strategies to answer listening comprehension part1 and part2</p> <p>第7回 Listening Comprehension Review Part 3 & 4 Review some strategies to answer listening comprehension part3 and part4</p> <p>第8回 Mid-term Exam All the listening test sections will be covered</p> <p>第9回 Reading Comprehension Part 5 Learns some strategies to answer reading comprehension part5 (incomplete sentences) *tenses and voc. words and phrases</p> <p>第10回 Reading Comprehension Part 5 Review and learn some new strategies to answer reading comprehension part5 (incomplete sentences) *words order and English grammar</p> <p>第11回 Reading Comprehension Part 6 Learn some strategies to answer reading comprehension part6 (text completion) *conjunctions</p> <p>第12回 Reading Comprehension Part 6 Review and learn some new strategies to answer reading comprehension part6 (text completion) *writing business letter</p> <p>第13回 Reading Comprehension Part 7 Learn some strategies to answer reading comprehension part7 (single passages) *skimming and scanning</p> <p>第14回 Reading Comprehension Part 7 Learn some strategies to answer reading comprehension part7 (double passages) *skimming and scanning</p> <p>第15回 Review/ Introducing new Listening and Reading Strategies Introduce some other ways to boost English ability skills</p> <p>第16回 Final Exam</p>
授業の概要	Advanced TOEIC course aims for score 650 or above. You will be memorizing many high level English vocabulary words and expressions which are equivalent to STEP pre-1st level. Strategic listening and reading comprehension skills will be presented and you will be tested these skills by taking Mid-term and Final Exams.
予習	Students must get ready for their weely quizzes.
復習	Students are required to review the strategies that they leaned in the class.
テキスト	国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEICテスト 公式問題集 新形式問題対応編
参考書	英検PASS単熟語準1級

<p>評価方法・評価基準</p>	<p>小テスト10% 宿題30% 授業への参加度20% 学期末テスト40%</p> <p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
<p>履修上の注意</p>	<p>Students must have either STEP 2nd grade or have equivalent English skills to STEP 2nd grade.</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>(仮) 毎週**曜日 **限目 作田研究室</p>
<p>課題に対するフィードバック方法</p>	<p>Quizzes and assignments will be reviewed by teacher and returned to students on the following week.</p>

講義科目名称：海外研修

授業コード：

英文科目名称：Overseas Field Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
研修	1～2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
-			

授業のテーマ及び到達目標	<p>知識理解：研修先の歴史・社会を説明できる。 関心意欲：異文化に興味を持てる。 思考判断：社会構造の違いを指摘できる。 態度：他者に対して寛容な態度を持つ。</p>										
授業計画	<p>1. 海外研修（国際交流）※研修内容検討中 ミシガン州立大学（もしくはポートランド・コミュニティ・カレッジ）研修 （8月下旬～9月中旬 約3週間） 語学強化訓練のみならず、正規授業への参加を通して学術的な力をつける。また大学における諸行事に参加し、参与観察を通しての研究体験もおこなう。諸施設見学やホームステイ等を通し、地域に触れ異文化体験をより深める。</p> <p>2. 海外研修（国際交流） 台湾長栄大学研修 （8月中旬～下旬 約2週間） 博物館や文化施設の見学、大学の諸行事に参加することで、台湾文化に触れる。現地の大学生と、中国語の講義や、正規の講義（英語）に参加することで異文化交流を深める。また台湾訪問前に、長栄大学からの研修生と沖縄で交流をおこない、異文化に対するより深い理解を得る。</p> <p>3. 海外研修（国際協力） フィリピン（現地の状況により研修先の変更あり）研修 （8月下旬～9月上旬 約10日間） フィリピン大学やフィリピン女子大学の交流を通し、日本と関係の深いフィリピンの現状を知る。マニラ近郊の福祉施設やスラム街で活動するNGOの活動を視察、地域開発や国際協力の課題について理解を深める。また、発展途上国の様々な問題について直接調査し、考える機会とする。研修出発前に、沖縄県内での事前学習、ワークショップ、各種講習会に参加することが義務づけられている。</p> <p>4. 海外研修（多文化共生） ハワイ・コミュニティ・カレッジ研修 （2月中旬～3月上旬 約3週間） 最初の2週間はカウアイ島のカウアイ・コミュニティ・カレッジにおいて異文化学習を英語で行う。その後オアフ島に移動、最後の1週間は現地でのフィールドワークをとおり、ハワイの歴史・文化・社会について学習を行う。</p>										
授業の概要	<p>本学の協定締結校において2～3週間の研修を行う。異文化を直接体験し、異文化に対する寛容さを養い、国際社会で活躍できる人間の資質を身につける。受講生はレポートを提出することが要求される。国際的視野をもってものごとを認識、把握することで、意識を高め、地球市民としての自覚を養う。参加する学生は、事前に「異文化理解」の講義を通して海外研修に必要な基本的知識として沖縄・日本・米国の歴史、社会、文化について学ぶことが望ましい。 この講義とフィールドワークに参加することによって、学生たちは語学の学習のみならずグローバルなものの考え方、価値観、習慣、宗教等について体験的に学び、国際理解を深め、より寛容で広い視点を持つ人間に成長し、平和を志向して国際社会に貢献し得る人材となることが期待される。</p>										
予習	-										
復習	-										
テキスト	-										
参考書	-										
評価方法・評価基準	<p>DP 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>										
履修上の注意	<p>[海外研修・・・実施前・後の日程]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研修説明会</td> <td>6. 研修費振込</td> </tr> <tr> <td>2. 研修参加希望者申込み・誓約書等提出</td> <td>7. 保護者説明会</td> </tr> <tr> <td>3. 研修オリエンテーション</td> <td>8. 結団式（出発直前、空港にて）</td> </tr> <tr> <td>4. 海外研修奨励奨学金説明会</td> <td>9. レポート提出（帰国後）</td> </tr> <tr> <td>5. 海外研修事前学習発表会・決定</td> <td>10. 海外研修報告会（帰国後）</td> </tr> </table>	1. 研修説明会	6. 研修費振込	2. 研修参加希望者申込み・誓約書等提出	7. 保護者説明会	3. 研修オリエンテーション	8. 結団式（出発直前、空港にて）	4. 海外研修奨励奨学金説明会	9. レポート提出（帰国後）	5. 海外研修事前学習発表会・決定	10. 海外研修報告会（帰国後）
1. 研修説明会	6. 研修費振込										
2. 研修参加希望者申込み・誓約書等提出	7. 保護者説明会										
3. 研修オリエンテーション	8. 結団式（出発直前、空港にて）										
4. 海外研修奨励奨学金説明会	9. レポート提出（帰国後）										
5. 海外研修事前学習発表会・決定	10. 海外研修報告会（帰国後）										
オフィスアワー	.										
課題に対するフィードバック方法	.										

講義科目名称：通訳とプレゼンテーション

授業コード：

英文科目名称：Interpretation and Presentation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	2単位(0-2)	選択科目
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	逐次通訳とは何かを理解し、日本語⇄英語の逐次通訳に必要なプレゼンテーションの力を習得する。
授業計画	<p>第1回 通訳とは：通訳と翻訳の違い、同時通訳と逐次通訳との違い</p> <p>第2回 スピーチの実践・・・効果的なスピーチに必要なのは？</p> <p>第3回 スピーチの実践・・・効果的なスピーチに挑戦</p> <p>第4回 リテンション・・・短文を再生する練習</p> <p>第5回 リテンション・・・短文を再生する練習</p> <p>第6回 リプロダクション・・・全体の内容をまとめる練習</p> <p>第7回 リプロダクション・・・全体の内容をまとめる練習</p> <p>第8回 発音・イントネーションを磨く</p> <p>第9回 発音・イントネーションを磨く</p> <p>第10回 通訳のためのメモとは</p> <p>第11回 通訳のためのメモ取り実践1</p> <p>第12回 通訳のためのメモ取り実践2</p> <p>第13回 逐次通訳の総合実践1</p> <p>第14回 逐次通訳の総合実践2</p> <p>第15回 逐次通訳の総合実践3</p>
授業の概要	「通訳」には大きく分けて同時通訳と逐次通訳がありますが、この授業では逐次通訳に必要なプレゼンテーションの能力を向上させるために様々な演習をします。スピーチをする人のメッセージの内容はもちろんのこと、心に届く気持ちまでも失わずに聴衆に伝えるにはどうすればよいのか。スピーチの実践練習や種々の技能の訓練に加えて、「共感力」や「信頼」といった高度なコンセプトも学んでいただきます。人と人が通じ合う喜びをサポートする意義深さも感じてください。
予習	事前に配布する資料について、単語や表現などを調べて準備すること。（毎日15～20分程度）
復習	授業で学んだ内容の応用に努めること。（毎日15～20分程度）
テキスト	講師作成資料を配布します。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>クラス内での課題への取り組みとパフォーマンス 100%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	毎回持参するもの：英和辞書、和英辞書、ノート、筆記用具
オフィスアワー	メールアドレス：senko@oc.jc.ac.jp

課題に対する フィードバック方 法	課題のフィードバックは、授業ごとに行う。
-------------------------	----------------------

講義科目名称：同時通訳初級（夏期集中講座）

授業コード：

英文科目名称：Simultaneous Interpretation, Elementary

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
夏期集中	1～2年	2単位(1-2)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	英語ニュースのシャドウイングや、ショート・スピーチの同時通訳が出来ることを目標とする。
授業計画	<p>第1回 通訳学習をする上で大切なこと、コミュニケーション理論について</p> <p>第2回 シャドウイング</p> <p>第3回 語彙（単語・数字・固有名詞を含む）のクイック・レスポンス</p> <p>第4回 サイト・トランスレーション</p> <p>第5回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳</p> <p>第6回 日・英両語の新聞記事読解</p> <p>第7回 日・英両語のニュース同時通訳</p> <p>第8回 日・英両語の翻訳</p> <p>第9回 日・英両語のショートスピーチ</p> <p>第10回 メモ取り</p> <p>第11回 逐次通訳（1）</p> <p>第12回 逐次通訳（2）</p> <p>第13回 トータル・パフォーマンス（1）</p> <p>第14回 トータル・パフォーマンス（2）</p> <p>第15回 同時通訳専用ブースでの同時通訳実演（1）</p> <p>第16回 同時通訳専用ブースでの同時通訳実演（2）</p>
授業の概要	<p>目安として、英検2級程度の英語力を有する方を対象とする。初歩レベルの同時通訳が出来るよう、プロ通訳者兼教育者と共同し、徹底した訓練を集中的に行う。教材には、実際におこなわれた会議、講演等のゲストスピーチや基調報告等の原稿・録音素材を用いる。また、今、現在報道中のニュース（日・英）を用い、同時通訳現場の臨場感を味わいつつ、スキルの向上、特に、訳出の正確さと迅速さを養う。また、通訳者のマナー（特に逐次通訳）を含め、通訳者としてのトータル・パフォーマンスを学びます。コースの仕上げとして、受講者のスピーチや、コース修了式のすべての発話（司会者の言葉、学長挨拶、学科長挨拶、ゲスト挨拶等）を同時通訳機器を活用し、実際に同時通訳を体験する。また、本県で必要とされている法廷通訳の練習も行う。</p>
予習	配布された資料を研究しておくこと。
復習	修得した内容・技術の応用に努めること。
テキスト	各種メディアの音声素材、原稿などを活用した資料を配布します。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>ラボ内での個人的なパフォーマンス、トータル・パフォーマンスの出来具合を見る。同時通訳専用ブースでの同時通訳を見る。</p> <p>授業態度・受講者の発表・演習：100%</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	USBメモリを持参してください。
オフィスアワー	メールアドレス：senko@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称：同時通訳上級（夏期集中講座）

授業コード：

英文科目名称：Simultaneous Interpretation, Advanced

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
夏期集中	1～2年	2単位(1-2)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	英語ニュースのシャドウイングや、ショート・スピーチの同時通訳が出来ることを目標とする。
授業計画	<p>第1回 通訳学習をする上で大切なこと、コミュニケーション理論について</p> <p>第2回 シャドウイング</p> <p>第3回 語彙（単語・数字・固有名詞を含む）のクイック・レスポンス</p> <p>第4回 サイト・トランスレーション</p> <p>第5回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳</p> <p>第6回 日・英両語の新聞記事読解</p> <p>第7回 日・英両語のニュース同時通訳</p> <p>第8回 日・英両語の翻訳</p> <p>第9回 日・英両語のショートスピーチ</p> <p>第10回 メモ取り</p> <p>第11回 逐次通訳1</p> <p>第12回 逐次通訳2</p> <p>第13回 トータル・パフォーマンス1</p> <p>第14回 トータル・パフォーマンス2</p> <p>第15回 同時通訳専用ブースでの同時通訳実践1</p> <p>第16回 同時通訳専用ブースでの同時通訳実践2</p>
授業の概要	<p>目安として、英検2級程度の英語力を有する方を対象とする。初歩レベルの同時通訳が出来るよう、プロ通訳者兼教育者と共同し、徹底した訓練を集中的に行う。教材には、実際におこなわれた会議、講演等のゲストスピーチや基調報告等の原稿・録音素材を用いる。また、今、現在報道中のニュース（日・英）を用い、同時通訳現場の臨場感を味わいつつ、スキルの向上、特に、訳出の正確さと迅速さを養う。また、通訳者のマナー（特に逐次通訳）を含め、通訳者としてのトータル・パフォーマンスを学びます。コースの仕上げとして、受講者のスピーチや、コース修了式のすべての発話（司会者の言葉、学長挨拶、学科長挨拶、ゲスト挨拶等）を同時通訳機器を活用し、実際に同時通訳を体験する。また、本県で必要とされている法廷通訳の練習も行う。</p>
予習	事前に配布される資料を十分に研究しておくこと。
復習	修得した内容・技術の応用に努めること。
テキスト	各種メディアの音声素材、原稿などを活用した資料を配布します。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>ラボ内での個人的なパフォーマンス、トータル・パフォーマンスの出来具合を見る。同時通訳専用ブースでの同時通訳を見る。</p> <p>授業態度・受講者の発表・演習：100%</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	USBメモリを持参してください。
オフィスアワー	メールアドレス：senko@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称 : Oral English I

授業コード :

英文科目名称 : Oral English I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	4単位(0-8)	選択必修A
担当教員			
Hatcher/Bradley			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: This is one of the beginning classes of college English. The goal of this class is to have students become used to learning English in a college setting with native English speaking teachers or teachers with a strong English background.</p> <p>Goal: Students will acquire their English skills equivalent to TOEIC 250.</p>		
授業計画	第1回	<p>Class Orientation + ice breaking activities / Class Orientation+ ice breaking activities</p> <p>① American English File 1 Talk about classroom policy and grading system. Students introduce themselves each other using English. Ice-breaking activities.</p>	
	第2回	<p>② Impact Issues 1 Talk about classroom policy and grading system. Students introduce themselves each other using English. Ice-breaking activities.</p> <p>Unit1/ unit1</p> <p>① American English File 1 Verb be and subject pronouns: I, you, etc...</p>	
	第3回	<p>② Impact Issues 1 Is it better to be an individual or to look like everyone else?</p> <p>Unit1/ Unit2</p> <p>① American English File 1 Possessive adjectives; my, your, etc..</p>	
	第4回	<p>② Impact Issues 1 What should we do if a friend has committed a crime?</p> <p>Unit2/ Unit3</p> <p>① American English File 1 a/an, plural; this, these, that, those</p>	
	第5回	<p>② Impact Issues 1 Is it possible to get addicted to the internet?</p> <p>Unit2/ Review Test</p> <p>① American English File 1 Adjectives, imperatives, let' s</p>	
	第6回	<p>② Impact Issues 1 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p> <p>Unit3/ Unit4</p> <p>① American English File 1 Simple Present Tense</p>	
	第7回	<p>② Impact Issues 1 Are beauty contests good for women?</p> <p>Unit3/ Unit5</p> <p>① American English File 1 Simple Present Tense and Word Order in questions</p>	
	第8回	<p>② Impact Issues 1 Who should pay on a date?</p> <p>Mid-term Exam/ Unit6</p> <p>① American English File 1 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p>	
	第9回	<p>② Impact Issues 1 Is it best to express our feelings openly and directly?</p> <p>Unit4/ Review Test</p> <p>① American English File 1 Whose...?, Possessive' s</p>	
	第10回	<p>② Impact Issues 1 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p> <p>Unit4/ Unit7</p> <p>① American English File 1 Prepositions of time (at, in, on) and place (at, in, to)</p>	

	<p>② Impact Issues 1 Is it always important to tell the truth? Unit5/ Unit8 ① American English File 1 Can/Can' t</p> <p>② Impact Issues 1 Is the internet a good place to meet people? Unit5/ Unit9 ① American English File 1 Present continuous/ simple present or present continuous?</p> <p>② Impact Issues 1 What' s the best way to communicate with friends and family? Unit6/ Unit10 ① American English File 1 Object pronouns: me, you, him, etc...</p> <p>② Impact Issues 1 Is there a limit to being a fan? Unit6/ Review all the units ① American English File 1 Like + (verb + -ing)/ review be or do?</p> <p>② Impact Issues 1 Review all the units Final Test/ Final Test ① American English File 1 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p> <p>② Impact Issues 1 Final tests from all the units</p>
授業の概要	To help students understand spoken English To help students speak using basic English To prepare students for higher levels of speaking and listening in English
予習	Pre read and check any uncertain voc. words in the unit.
復習	Review new voc. words and expressions you learned in the class.
テキスト	① American English File 1 ② Impact Issues 1
参考書	None
評価方法・評価基準	Classroom participation (20%) Oral presentations (20%) Listening tests (10%) Short tests (quizzes) (10%) End-of-Semester test (40%) Other methods as determined by the instructors
	<p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom.
オフィスアワー	(仮) Hatcher : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Bradley : 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室
課題に対するフィードバック方法	All the English related questions will be answered by teachers during the class

講義科目名称 : Oral English II

授業コード :

英文科目名称 : Oral English II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1年	4単位(0-8)	選択必修A
担当教員			
Webb/Latham・Melley/未定・Melley/Bradley			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: This is one of the beginning classes of college English. The goal of this class is to have students become used to learning English in a college setting with native English speaking teachers or teachers with a strong English background.</p> <p>Goal: Students will acquire their English skills equivalent to TOEIC 350-400.</p>		
授業計画	第1回	<p>Class Orientation+Ice-breaking activities/ Class Orientation+Ice-breaking activities</p> <p>① American English File 1 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p> <p>② Impact Issues 1 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p>	
	第2回	<p>Unit1/ unit1</p> <p>① American English File 1 Verb be and subject pronouns: I, you, etc...</p> <p>② Impact Issues 1 Is it better to be an individual or to look like everyone else?</p>	
	第3回	<p>Unit1/ Unit2</p> <p>① American English File 1 Possessive adjectives; my, your, etc..</p> <p>② Impact Issues 1 What should we do if a friend has committed a crime?</p>	
	第4回	<p>Unit2/ Unit3</p> <p>① American English File 1 a/an, plural; this, these, that, those</p> <p>② Impact Issues 1 Is it possible to get addicted to the internet?</p>	
	第5回	<p>Unit2/ Review Test</p> <p>① American English File 1 Adjectives, imperatives, let' s</p> <p>② Impact Issues 1 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p>	
	第6回	<p>Unit3/ Unit4</p> <p>① American English File 1 Simple Present Tense</p> <p>② Impact Issues 1 Are beauty contests good for women?</p>	
	第7回	<p>Unit3/ Unit5</p> <p>① American English File 1 Simple Present Tense and Word Order in questions</p> <p>② Impact Issues 1 Who should pay on a date?</p>	
	第8回	<p>Mid-term Exam/ Unit6</p> <p>① American English File 1 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p> <p>② Impact Issues 1 Is it best to express our feelings openly and directly?</p>	
	第9回	<p>Unit4/ Review Test</p> <p>① American English File 1 Whose...?, Possessive' s</p> <p>② Impact Issues 1 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p>	
	第10回	<p>Unit4/ Unit7</p> <p>① American English File 1 Prepositions of time (at, in, on) and place (at, in, to)</p>	

	<p>② Impact Issues 1 Is it always important to tell the truth? Unit5/ Unit8 ① American English File 1 Can/Can' t</p> <p>② Impact Issues 1 Is the internet a good place to meet people? Unit5/ Unit9 ① American English File 1 Present continuous/ simple present or present continuous?</p> <p>② Impact Issues 1 What' s the best way to communicate with friends and family? Unit6/ Unit10 ① American English File 1 Object pronouns: me, you, him, etc...</p> <p>② Impact Issues 1 Is there a limit to being a fan? Unit6/ Review all the units ① American English File 1 Like + (verb + -ing)/ review be or do?</p> <p>② Impact Issues 1 Review all the units Final Test/ Final Test ① American English File 1 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p> <p>② Impact Issues 1 Final tests from all the units</p>
授業の概要	To help students understand spoken English To help students speak using basic English To prepare students for higher levels of speaking and listening in English
予習	Pre read and check any uncertain voc. words in the unit.
復習	Review new voc. words and expressions you learned in the class.
テキスト	① American English File 1 ② Impact Issues 1
参考書	None
評価方法・評価基準	Classroom participation (20%) Oral presentations (20%) Listening tests (10%) Short tests (quizzes) (10%) End-of-Semester test (40%) Other methods as determined by the instructors
	<p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom.
オフィスアワー	(仮) Webb : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Latham : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Melley : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Bradley : 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to lessons will be answered by teachers in the classroom

講義科目名称：Oral English III

授業コード：

英文科目名称：Oral English III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	4単位(0-8)	選択必修A
担当教員			
Fogel/Gayler・Terre/Gayler・Fogel/Nieuburt・Bradley/Latham			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: After students have some experience studying English in college, it is important for them to understand the requirement of teachers although all textbooks all the same.</p> <p>Goal: Students will acquire their English skills equivalent to TOEIC 400-450.</p>		
授業計画	第1回	<p>Class Orientation+Ice-breaking activities/ Class Orientation+Ice-breaking activities</p> <p>① American English File 1 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p> <p>② Impact Issues 1 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p>	
	第2回	<p>Unit7/ Unit11</p> <p>① American English File 1 Simple past of be: was/ were</p> <p>② Impact Issues 1 How do we deal with rude behavior?</p>	
	第3回	<p>Unit7/ Unit12</p> <p>① American English File 1 Simple past: regular and irregular verbs</p> <p>② Impact Issues 1 Do we treat disabled people unfairly?</p>	
	第4回	<p>Unit8/ Unit13</p> <p>① American English File 1 Simple past: review regular and irregular verbs</p> <p>② Impact Issues 1 Should children be concerned with environmental problems?</p>	
	第5回	<p>Unit8/ Review Test</p> <p>① American English File 1 There is/ there are, some/ any + plural nouns</p> <p>② Impact Issues 1 Review Test Unit11, Unit12, and Unit13</p>	
	第6回	<p>Unit9/ Unit14</p> <p>① American English File 1 Countable/ uncountable nouns: a/ an, some/ any</p> <p>② Impact Issues 1 Is harder for young people to start a career now than it was in the past?</p>	
	第7回	<p>Unit9/ Unit15</p> <p>① American English File 1 Quantifiers: how much/ how many, a lot of, etc/ comparative adjectives</p> <p>② Impact Issues 1 Should employees report dishonest activities at work or keep quiet?</p>	
	第8回	<p>Review Test/ Unit16</p> <p>① American English File 1 Review Test Unit7, Unit8, and Unit9</p> <p>② Impact Issues 1 How much attention should we pay to our dreams?</p>	
	第9回	<p>Unit10/ Review Test</p> <p>① American English File 1 Superlative adjectives</p> <p>② Impact Issues 1 Review Test Unit14, Unit15, and Unit16</p>	
	第10回	<p>Unit10/ Unit17</p> <p>① American English File 1 Be going to (plan), future time expression/ be going to (prediction)</p> <p>② Impact Issues 1</p>	

	<p>第11回 Should all couples have children? Unit11/ Unit18 ① American English File 1 Adverbs (manner and modifiers)</p> <p>第12回 Are we smart enough to save ourselves? Unit11/ Unit19 ① American English File 1 Verbs + infinitive</p> <p>第13回 Should cloning animals be allowed? Unit12/ Unit20 ① American English File 1 Present perfect</p> <p>第14回 Is it important to learn English? Unit12/ Review all the units ① American English File 1 Present perfect or simple past</p> <p>第15回 Final Test/ Final Test ① American English File 1 Review Test Unit10, Unit11, and Unit12</p> <p>② Impact Issues 1 Final tests from all the units</p>
授業の概要	To continue students developing their listening and speaking skills To improve the ability of students to communicate in English To prepare students for more advanced levels of speaking and listening in English
予習	Pre read and check any uncertain voc. words in the unit.
復習	Review new voc. words and expressions you learned in the class.
テキスト	① American English File 1 ② Impact Issues 1
参考書	None
評価方法・評価基準	Classroom participation (20%) Oral presentations (20%) Listening tests (10%) Short tests (quizzes) (10%) End-of-Semester test (40%) Other methods as determined by the instructors
	<p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom.
オフィスアワー	(仮) Fogel : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Gayler : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Terre : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Nieuburt : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Latham : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Bradley : 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to lessons will be answered by teachers in the classroom

講義科目名称 : Oral English IV

授業コード :

英文科目名称 : Oral English IV

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	2年	4単位(0-8)	選択必修A
担当教員			
柳田/Bradley・Webb/Phillips・East/山城			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: After students have some experience studying English in college, it is important for them to understand the requirement of teachers although all textbooks all the same.</p> <p>Goal: Students will acquire their English skills equivalent to TOEIC 500.</p>		
授業計画	第1回	<p>Class Orientation+ice breaking activities/ Class Orientation+ice breaking activities</p> <p>① American English File 2 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p> <p>② Impact Issues 2 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p>	
	第2回	<p>Unit1/ unit1</p> <p>① American English File 2 Word order in questions</p> <p>② Impact Issues 2 Should women change their true behaviors to attract men?</p>	
	第3回	<p>Unit1/ Unit2</p> <p>① American English File 2 Simple present/ present continuous</p> <p>② Impact Issues 2 How can we solve our traffic problems?</p>	
	第4回	<p>Unit2/ Unit3</p> <p>① American English File 2 Simple past: regular and irregular verbs</p> <p>② Impact Issues 2 How important is it to learn local language?</p>	
	第5回	<p>Unit2/ Review Test</p> <p>① American English File 2 Past continuous: time sequences and connectors</p> <p>② Impact Issues 2 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p>	
	第6回	<p>Unit3/ Unit4</p> <p>① American English File 2 Be going to (plan and predictions)</p> <p>② Impact Issues 2 Should everyone in the family be treated the same?</p>	
	第7回	<p>Unit3/ Unit5</p> <p>① American English File 2 Present continuous (future arrangements)/ defining relative clauses</p> <p>② Impact Issues 2 What does marriage mean to you?</p>	
	第8回	<p>Review Test/ Unit6</p> <p>① American English File 2 Review Test Unit1, Unit2, and Unit3</p> <p>② Impact Issues 2 Do we sometimes do too much for our friends?</p>	
	第9回	<p>Unit4/ Review Test</p> <p>① American English File 2 Present perfect + yet and already/ present perfect or simple past</p> <p>② Impact Issues 2 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p>	
	第10回	<p>Unit4/ Unit7</p> <p>① American English File 2 Something, anything, nothing, etc</p> <p>② Impact Issues 2</p>	

	<p>第11回 Is it better to be a vegetarian or a meat eater? Unit5/ Unit8 ① American English File 2 Comparative adjectives and adverbs, as...as</p> <p>第12回 How can we stop bullying? Unit5/ Unit9 ① American English File 2 Superlatives (+ ever + present perfect)/ quantifiers, too, not enough</p> <p>第13回 How can we take care of our parents and grandparents? Unit6/ Unit10 ① American English File 2 Will/ won' t (prediction)</p> <p>第14回 How should students spend their time at university? Unit6/ Review all the units ① American English File 2 Will/ won' t (decisions, offers, promises)</p> <p>第15回 Review all the units Final Test/ Final Test ① American English File 2 Review Test Unit4, Unit5, and Unit6</p> <p>② Impact Issues 2 Final tests from all the units</p>
授業の概要	To continue students developing their listening and speaking skills To improve the ability of students to communicate in English To prepare students for more advanced levels of speaking and listening in English
予習	Pre read and check any uncertain voc. words in the unit.
復習	Review new voc. words and expressions you learned in the class.
テキスト	① American English File 2 ② Impact Issues 2
参考書	None
評価方法・評価基準	Classroom participation (20%) Oral presentations (20%) Listening tests (10%) Short tests (quizzes) (10%) End-of-Semester test (40%) Other methods as determined by the instructors
	<p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom.
オフィスアワー	(仮) 柳田：毎週**曜日 **限目 柳田研究室 (仮) Bradley：毎週**曜日 **限目 Bradley研究室 (仮) Webb：授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Phillips：授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) East：授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) 山城：授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to the lesson will be answered by teachers in the classroom.

講義科目名称 : Oral English V

授業コード :

英文科目名称 : Oral English V

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	2年	4単位(0-8)	選択必修A
担当教員			
Hatcher/Bradley・柳田/Hatcher			

授業のテーマ及び到達目標	<p>Objective: After students have some experience studying English in college, it is important for them to understand the requirement of teachers although all textbooks all the same.</p> <p>Goal: Students will acquire their English skills equivalent to TOEIC 600</p>		
授業計画	第1回	<p>Class Orientation+Ice-breaking activities/ Class Orientation+Ice-breaking activities</p> <p>① American English File 2 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p> <p>② Impact Issues 2 Talk about classroom policy, and also mention grading system. Students introduce themselves each other in English.</p>	
	第2回	<p>Unit7/ Unit11</p> <p>① American English File 2 Use of the infinitive/ geround</p> <p>② Impact Issues 2 How much should we change our lives for love?</p>	
	第3回	<p>Unit7/ Unit12</p> <p>① American English File 2 Have to, don' t have to, must , must not, can' t</p> <p>② Impact Issues 2 What can we do to save the planet?</p>	
	第4回	<p>Unit8/ Unit13</p> <p>① American English File 2 should</p> <p>② Impact Issues 2 Should we pay attention to rumors?</p>	
	第5回	<p>Unit8/ Review Test</p> <p>① American English File 2 If +present, will +base form (first conditional)</p> <p>② Impact Issues 2 Review Test Unit11, Unit12, and Unit13</p>	
	第6回	<p>Unit9/ Unit14</p> <p>① American English File 2 If+past, would+base form (second conditional)</p> <p>② Impact Issues 2 Who should have control?</p>	
	第7回	<p>Unit9/ Unit15</p> <p>① American English File 2 Present perfect + for and since/ preset perfect or simple past</p> <p>② Impact Issues 2 Should couples live together before marriage?</p>	
	第8回	<p>Review Test/ Unit16</p> <p>① American English File 2 Review Test Unit7, Unit8, and Unit9</p> <p>② Impact Issues 2 How much does our weight affect our health and happiness?</p>	
	第9回	<p>Unit10/ Review Test</p> <p>① American English File 2 Passive</p> <p>② Impact Issues 2 Review Test Unit14, Unit15, and Unit16</p>	
	第10回	<p>Unit10/ Unit17</p> <p>① American English File 2 Used to/ might</p> <p>② Impact Issues 2</p>	

	<p>第11回 Who is responsible for helping refugees? Unit11/ Unit18 ① American English File 2 Expressing movement</p> <p>第12回 What is the best way to find the right marriage partner? Unit11/ Unit19 ① American English File 2 Word order of phrasal verbs/ so, neither + auxiliaries</p> <p>第13回 What kind of an example should teachers set? Unit12/ Unit20 ① American English File 2 Past perfect</p> <p>第14回 Do murders deserve to die? Unit12/ Review all the units ① American English File 2 Reported speech/ questions without auxiliaries</p> <p>第15回 Review all the units Final Test/ Final Test ① American English File 2 Review Test Unit10, Unit11, and Unit12</p> <p>② Impact Issues 2 Final tests from all the units</p>
授業の概要	To continue students developing their listening and speaking skills To improve the ability of students to communicate in English To prepare students for more advanced levels of speaking and listening in English
予習	Pre read and check any uncertain voc. words in the unit.
復習	Review new voc. words and expressions you learned in the class.
テキスト	① American English File 2 ② Impact Issues 2
参考書	None
評価方法・評価基準	Classroom participation (20%) Oral presentations (20%) Listening tests (10%) Short tests (quizzes) (10%) End-of-Semester test (40%) Other methods as determined by the instructors
	<p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	Students should try to use as much English as possible in the classroom.
オフィスアワー	(仮) Hatcher : 授業終了後に質問を受け付けます。 (仮) Bradley : 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室 (仮) 柳田 : 毎週**曜日 **限目 柳田研究室
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to the lesson will be answered by teachers in the classroom.

講義科目名称 : Discussion in English I

授業コード :

英文科目名称 : Discussion in English I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	選択必修A
担当教員			
David Ulvog			

授業のテーマ及び到達目標	Allowing the students to debate and discuss in English		
授業計画	第1回	Introduction	
	第2回	Beauty Contests	
	第3回	U.S bases in Okinawa	
	第4回	Multiculturalism in Japan	
	第5回	Legalizing drugs	
	第6回	Gun Ownership	
	第7回	Convenience Food	
	第8回	Development v. Conservation	
	第9回	Vegetarianism	
	第10回	Gender Roles	
	第11回	Okinawan Independence	
	第12回	Alcohol	
	第13回	Teenage pregnancy	
	第14回	Private or public companies	
	第15回	Assessment	
	第16回	Assessment	
授業の概要	This course is designed to get students talking in the class, as well as getting them to think about problems from different points of view. Ultimately, it will help them to express their opinions and create logical persuasive arguments. Each week, the class will discuss one controversial topic. Over the course of the semester they will also be introduced to various oratorical devices which they will be encouraged to use in their own discussion ? e.g. irony, metaphors and similes, using quotations, etc. In each class, students will hone their arguments by rehearsing in pairs and small groups before engaging in more formal, full class discussions or debates. A highlight of this class is usually a debate with native English speaker students from an American high school.		
予習	Prepare vocabulary and arguments for use in the class.		
復習	Revise new vocabulary and debating techniques introduced in the class.		
テキスト	There is no text for this course. All materials are prepared by the teacher.		
参考書	—		
評価方法・評価基準	<p>1. Classroom Preparation and Classroom Participation 30%</p> <p>2. Final two debates (Weeks 15 & 16) 35% each.</p> <p>【DP 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	Students will need to actively participate in all practice activities in order to get as much debate practice as possible prior to the final exam.
オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	.

講義科目名称：Oral Presentation I

授業コード：

英文科目名称：Oral Presentation I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	2年	2単位(0-2)	選択必修A
担当教員			
柳田 正豪			

授業のテーマ及び到達目標	Helping students to make engaging presentations in English		
授業計画	第1回	Class orientation, preparing to make basic self-introductions	
	第2回	Giving a self introduction presentation	
	第3回	A presentation to introduce a good friend	
	第4回	Preparing a presentation about a favourite place	
	第5回	Giving a presentation about a favourite place.	
	第6回	Projecting your voice ? using word stress to add emphasis	
	第7回	Preparing presentation about a prized possession.	
	第8回	Giving a presentation about a prized possession.	
	第9回	Preparing a presentation about a memorable experience.	
	第10回	Giving a presentation about amemorable experience.	
	第11回	Focus on body language, gestures and posture	
	第12回	Preparing a presentation about how to make or do something.	
	第13回	Giving a presentation about how to make or do something.	
	第14回	Strategies for introducing and concluding presentations.	
	第15回	Preparing a review of a movie etc	
	第16回	Preparing a review of a movie etc	
授業の概要	This course will introduce the key elements of public speaking through practical experience: students will make presentations on a variety of topics related to their own experience. As well as developing their oral English skills, the students will learn how to structure presentations. We will also look at non-verbal aspects of presentation giving, including eye contact, stance and gestures. Presentations will be both teacher and peer evaluated.		
予習	Most weeks, students will need to prepare some kind of presentation.		
復習	Reviewing the teacher' s feedback and the textbook.		
テキスト	This course will use the textbook, Present Yourself 1 (Cambridge University Press.) Students will need to buy this text.		
参考書	Preparing for the presentations is an important part of this course, and will mostly be done outside of class.		
評価方法・評価基準	Participation 10%、Six Presentations 15% each 【D P 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。		

履修上の注意	My aim for this course is for students to gain as much practical experience of presenting as is possible.
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 柳田研究室
課題に対する フィードバック方法	.

講義科目名称：簿記論

授業コード：

英文科目名称：Bookkeeping

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
未定			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・決算書が作成できるようになる。 ・日商簿記3級合格レベルの力がつく。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・簿記とは？</p> <p>第2回 商品売買</p> <p>第3回 現金預金</p> <p>第4回 手形</p> <p>第5回 有価証券と固定資産</p> <p>第6回 棚卸資産</p> <p>第7回 その他取引(その1)</p> <p>第8回 その他取引(その2)</p> <p>第9回 帳簿組織その1</p> <p>第10回 帳簿組織その2</p> <p>第11回 試算表</p> <p>第12回 決算手続きその1</p> <p>第13回 決算手続きその2</p> <p>第14回 決算手続きその3</p> <p>第15回 伝票</p> <p>第16回 期末試験</p>
授業の概要	現代の経済社会において、営利企業は成績表(財務諸表といいます)を作成し、問題点を把握し次年度以降の経営活動に活かしています。また各種利害関係者にも自社の成績を公表しています。企業の経営成績の作成プロセスが複式簿記であり、本講義ではこの複式簿記のプロセスを学びます。
予習	今回のテーマの箇所を事前に読んで講義に参加してください。
復習	毎回講義の終了時に復習問題を出します。次の講義で提出してもらいます。
テキスト	みんなが欲しかった 簿記の教科書 日商3級商業簿記 第4版(972+税)
参考書	みんなが欲しかった 簿記の教科書 日商3級商業簿記 第4版(972+税)
評価方法・評価基準	<p>特になし</p> <p>D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 .. 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	毎回出席を取ります。出席しましょう！簿記に電卓は必須です。電卓を持参しましょう！テキストの方は受講者は全員購入してください。参考書の方は、日商簿記3級を受験してみようという学生は必ず購入してください。

オフィスアワー	.
課題に対する フィードバック方 法	.

講義科目名称：同時通訳 I

授業コード：

英文科目名称：Simultaneous Interpretation I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(2-0)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・同時通訳に必要な訓練をこなすことができる ・基礎的な同時通訳、逐次通訳に必要な要素を理解する
授業計画	<p>第1回 通訳とは、同時通訳と他の通訳の違い、通訳のための訓練とは</p> <p>第2回 シヤドウィング（発音、イントネーションの練習）</p> <p>第3回 語彙（単語・固有名詞を含む）のクイック・レスポンス</p> <p>第4回 予測練習</p> <p>第5回 リテンション・リプロダクション</p> <p>第6回 サイト・トランスレーション</p> <p>第7回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳練習 1</p> <p>第8回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳練習 2</p> <p>第9回 日・英両語のニュース同時通訳（シヤドウィングを中心に） 1</p> <p>第10回 日・英両語のニュース同時通訳（シヤドウィングを中心に） 2</p> <p>第11回 通訳者としての立ち振る舞い（マナー）</p> <p>第12回 メモ取り</p> <p>第13回 逐次通訳（日→英）</p> <p>第14回 逐次通訳（英→日）</p> <p>第15回 同時通訳の総合演習</p>
授業の概要	<p>同時通訳者は特別な人だけがなれると思いませんか？そんなことはありません。適切な訓練と鍛錬を積み、特別なバックグラウンドを持っていなくても同時通訳者への道は開かれます。この授業では、シヤドウィング、サイト・トランスレーション、キック・レスポンスといった同時通訳のための独特の訓練法を用い、日・英両語の発音、イントネーション、語彙力、予測能力、同時通訳能力を高めます。特に英語のリスニング力を高めるため、CNNやNHK（日英両語）のニュースなども教材の一部として活用します。逐次通訳においては、教材やスピーチを聞きながらメモを取り通訳をする訓練をします。また、クラスメートのスピーチを逐次で通訳し、必要なプレゼンテーションの要素も学習します。</p>
予習	<p>以下を毎日15～20分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料について、単語や表現などを調べておく ・シヤドウィングの自主トレーニング
復習	<p>以下を毎日15～20分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の反復と応用 ・シヤドウィングの自主トレーニング
テキスト	<p>授業担当教員が準備・配布します。</p>
参考書	<p>特になし</p>
評価方法・評価基準	<p>授業中のパフォーマンス 100%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。

	○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	USBメモリ持参のこと。シャドーイングの自主トレーニングに努めること。語彙力を増やす努力をすること。
オフィスアワー	メールアドレス：senko@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称：同時通訳Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Simultaneous Interpretation Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・同時通訳に必要な訓練をこなすことができる ・基礎的な同時通訳、逐次通訳に必要な要素を理解する
授業計画	<p>第1回 「通訳とは」、「同時通訳と他の通訳の違い」、「通訳のための訓練とは」</p> <p>第2回 シヤドウィング（発音、イントネーションの練習）</p> <p>第3回 語彙（単語・固有名詞を含む）のクイック・レスポンス</p> <p>第4回 予測練習</p> <p>第5回 リテンション・リプロダクション</p> <p>第6回 サイト・トランスレーション</p> <p>第7回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳練習 1</p> <p>第8回 日・英両語の原稿を用いた同時通訳練習 2</p> <p>第9回 日・英両語のニュース同時通訳（シヤドウィングを中心に）1</p> <p>第10回 日・英両語のニュース同時通訳（シヤドウィングを中心に）2</p> <p>第11回 通訳者としての立ち振る舞い（マナー）</p> <p>第12回 メモ取り</p> <p>第13回 逐次通訳（日→英）</p> <p>第14回 逐次通訳（英→日）</p> <p>第15回 同時通訳の総合演習</p>
授業の概要	<p>同時通訳者は特別な人だけになれると思いませんか？そんなことはありません。適切な訓練と鍛錬を積み、特別なバックグラウンドを持っていなくても同時通訳者への道は開かれます。この授業では、シヤドウィング、サイト・トランスレーション、キック・レスポンスといった同時通訳のための独特の訓練法を用い、日・英両語の発音、イントネーション、語彙力、予測能力、同時通訳能力を高めます。特に英語のリスニング力を高めるため、CNNやNHK（日英両語）のニュースなども教材の一部として活用します。逐次通訳においては、教材やスピーチを聞きながらメモを取り通訳をする訓練をします。また、クラスメートのスピーチを逐次で通訳し、必要なプレゼンテーションの要素も学習します。</p>
予習	<p>以下を毎日15～20分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料について、単語や表現などを調べておく ・シヤドウィングの自主トレーニング
復習	<p>以下を毎日15～20分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の反復と応用 ・シヤドウィングの自主トレーニング
テキスト	<p>授業担当教員が準備・配布します。</p>
参考書	<p>特になし</p>
評価方法・評価基準	<p>授業中のパフォーマンス 100%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。

	○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	USBメモリ持参のこと。シャドーイングの自主トレーニングに努めること。語彙力を増やす努力をすること。
オフィスアワー	メールアドレス：senko@ocjc.ac.jp
課題に対するフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称：フレッシュマン・セミナー

授業コード：

英文科目名称：Freshman Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位(1-1)	必修科目
担当教員			
柳田正豪・作田真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>授業のテーマ：大学環境に慣れるだけでなく、卒業後のイメージを持たせる。</p> <p>到達目標：英語科で過ごす二年間の学生生活の一つひとつに自分の将来と関連した意義を見出すことができるようになる。</p>
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、初年次教育の意義 図書館ツアー、教員自己紹介、大学の生活、授業のマナー、学年暦、連絡方法 など。 予告：自己紹介、感銘を受けた本、映画などについて発表</p> <p>第2回 内面を知ろう。自己紹介をしよう 心理テスト、ストレス対処法、自分の生活の見直し</p> <p>第3回 自己紹介（話を聞く態度とは） 聴く大切さ（聴く態度を説明する、質問を必ず考える） 自己紹介（自己開示）part 1</p> <p>第4回 自己紹介、大学とは 自己紹介 part 2 大学に対しての思いを匿名で提出する。全体共有する</p> <p>第5回 英語勉強法 英語勉強法の紹介 Skitの説明</p> <p>第6回 English Camp Skitの説明と練習</p> <p>第7回 情報検索 Computer LL室と図書館で、情報検索を学ぶ</p> <p>第8回 レポート 学んだ情報検索を応用して、ミニレポートを作成する</p> <p>第9回 情報リテラシー fakenewsやコンピューターウイルス等の説明</p> <p>第10回 ハラスメント パワハラ、セクハラ、アカハラ等</p> <p>第11回 社会人基礎力 社会人基礎力（敬語）+履歴書の書き方</p> <p>第12回 ライフデザイン ライフデザイン 理論編</p> <p>第13回 ライフデザイン ライフデザイン 実践編</p> <p>第14回 英語の勉強法2 ジャーナリズムを利用した勉強法</p> <p>第15回 まとめ、レポート提出 このフレッシュマンセミナーで何を学んだのかをまとめる+英語テスト</p>
授業の概要	<p>短期大学では、二年という短期間で短期大学士としての教養、専門知識を習得するとともに、十分な社会人基礎力も身につけて現代社会に臨む必要がある。このため、入学前教育（ブリッジ・プログラム）と連携した初年次教育（フレッシュマン・セミナー）を実施し、入学生がよりスムーズに大学環境に適応できるようにサポートしたい。</p>
予習	シラバスの内容に関してリサーチしておく
復習	授業内容を実際の学生生活に応用する
テキスト	なし
参考書	なし
評価方法・評価基準	<p>課題30% テスト30% 授業への参加度40%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。

履修上の注意	与えられた課題を期限内に提出すること
オフィスアワー	(仮) 柳田：毎週**曜日 **限目 柳田研究室 (仮) 作田：毎週**曜日 **限目 作田研究室
課題に対する フィードバック方法	授業に関する質問は、授業内・学院内で対応する。

講義科目名称 : Current Issues Online

授業コード :

英文科目名称 : Current Issues Online

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択必修C
担当教員			
Daniel Broudy			

授業のテーマ及び到達目標	<p>The objective of this course is to improve students' English and online learning abilities to increase their critical awareness and understanding of current issues that affect our lives locally, nationally, and internationally. Successful students will acquire a level of English that enables them to teach junior and senior high school students in the English language. This class will help students achieve a B2 level of CEFR. Successful students will also be able to offer grade-appropriate feedback and assessment for students across primary and secondary schooling. Students are required to develop a flexible ability to organize an interactive classroom where their students actively participate and critically reflect on new knowledge.</p>		
授業計画	第1回	<p>The what, why and how of online learning Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Topic: "Greetings and Introductions"</p> <p>DIRECTIONS: Post a brief introduction of yourself that tells: a. where you are from b. what your major study is c. what you want to learn from this course d. what you plan to do after graduation e. what your favorite food is</p>	
	第2回	<p>Reproduction issues Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Topic: "Reproduction Right and Responsibilities"</p> <p>DIRECTIONS: Please watch the YouTube videos to develop and express your opinion about the issue of Japan's declining population.</p> <p>A text of the YouTube video "Japan's Biggest Challenge", has also been added.</p> <p>Discuss what you feel is the primary problem with Japan's declining population, and what you think can be done to fix the growing problem.</p>	
	第3回	<p>Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>The class materials for this week are two YouTube videos and a website dedicated to stopping bullying.</p> <p>Please watch the videos and look through the website to learn how you can prevent or stop bullying.</p> <p>a. Share your memory of an experience that you have personal knowledge of that involved bullying. b. Discuss why you think it happened and how it could have been prevented or stopped. c. What do you think Albert Einstein was referring to in the quote from him?</p>	
	第4回	<p>Hikikomori Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Please read the article from the New York Times (attached as a PDF below), which is a little long but quite good, and the Youtube videos. Reflect on the article and the videos and then answer the questions below. After you finish, submit your responses.</p> <p>a. Why do you think hikikomori occurs? b. What can be done to help people who are suffering from hikikomori? c. Is hikikomori an emotional or psychological condition - or both?</p>	
	第5回	<p>Feedback, editing and rewriting. Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Please watch the video "Every 15 Minutes a Teenager Dies from Drunk Driving" made by the California Highway Patrol. The "15 minutes" is a statistic indicating how often someone dies due to drunk driving.</p> <p>Also, visit the "Every 15 Minutes" website to learn more about this program and watch videos ... of the reenactments at various schools.</p>	

	<p>Then, check out the article about drunk driving in Japan, such as the accident in Fukuoka where three children were killed, and another where a passenger was ordered to pay 53 million yen for not preventing the driver from driving drunk.</p> <p>Discuss and share your thoughts on the following questions:</p> <p>a. Why do you think that people still drink and drive despite all of the evidence about how dangerous it is? b. What is a just punishment for those who are caught driving drunk?</p> <p>第6回 Bullying in schools and the workplace Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Watch the video that describes Japan's present efforts to stimulate economic growth as well as the perceived effectiveness of this effort. Consider the efforts now being put forward and the difficulties of living in the present economic situation, and answer the following two questions below:</p> <p>a. Discuss your opinion about the government's present effort to create economic growth. b. What do you think is a way to grow the local economy in Okinawa, despite what is happening throughout the rest of Japan?</p> <p>第7回 Globalization Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>This week's topic is globalization, also spelled as globalisation. This topic has various levels of difficulty and is one of the major issues facing countries around the world. In order to learn about and understand this topic, please watch the introduction to globalization video, then see the BBC slide show for information about different areas of globalization. There is also a video about the bad side of globalization. Finally, there is a link to Wikipedia to help you understand this difficult topic. (If you like, you can search for the Japanese version of the Wikipedia page.) Then, answer the following questions:</p> <p>a. Briefly discuss two positive effects of globalization. b. Briefly discuss two negative effects of globalization. c. Do you think the positive effects of globalization make it more acceptable in spite of the negative effects? Why or why not?</p> <p>第8回 Smoking and Smokers' Rights Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>The topic this week is about the increasing bans on smoking in public implemented around the world due to growing concerns about the public health from second-hand smoke.</p> <p>To learn more about this movement to ban smoking in public places, see generally the following Wikipedia page (you may also access the Japanese language version)</p> <p>Last, discuss the three following questions:</p> <p>a. Do these bans on smoking in public infringe on the rights of smokers? b. Tobacco is not an illegal drug, so is it okay to ban its use so extensively? c. What can be said about your freedom to make choices today in this democratic society?</p> <p>第9回 Consumerism in Today's World Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Watch all 4 parts of "The Story of Stuff" and answer the following questions.</p> <p>a. Does the documentary cause you to think critically about yourself, how you define yourself as a member of society? b. If yes, what important lesson did you learn from the documentary? c. What do you personally think is the major problem with consumer societies? d. What can you do to help solve the problem?</p> <p>第10回 Understanding and Defeating Racism Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>1. Read about indigenous peoples in Japan in the following link: Caste, Ethnicity, and Nationality in Japan 2. Watch the video on race as a concept: Race: Are We So Different? (YouTube) 3. Watch this video, too, race as a mythology: The Myth of Race (YouTube)</p> <p>DIRECTIONS: Reflect on what you have learned and answer the following questions:</p> <p>a. What interesting new thing have you learned about the idea of race? b. Have you ever been affected by (or witnessed) racism? c. If yes, briefly describe what happened. d. What do you feel is the best way to defeat racism in the world today?</p>
--	--

	<p>第11回 Slavery in Today' s World Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Please read the BBC article and, then, watch the Santa's Workshop documentary on YouTube. Afterward, answer the following questions.</p> <p>a. This is a sweatshop where the girls are being worked almost as slaves. Why do you think they choose to work there? b. Why does the owner not pay his workers more? c. Why don' t foreign companies investigate these places in greater depth? d. Why do you suppose the country (society) allows this situation to continue?</p> <p>第12回 Explaining the Exam Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>There is no issue to discuss this week.</p> <p>Instead, you have a chance to think about an issue you might want to do your exam on, and perhaps start doing some more research.</p> <p>I want you to look at the following explanation of the exam provided below as a PowerPoint presentation.</p> <p>You can click on the attached presentation below for guidance.</p> <p>Post below the topic you are interested in doing a presentation on and tell us why it is interesting to you.</p> <p>第13回 Deciding then Researching Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Last week you told me about the topic you have chosen (remember, you can choose any topic from this course).</p> <p>This week, tell me roughly what you are going to say about that topic.</p> <p>I want you to do some research and post some links that are relevant to your topic.</p> <p>For this assignment, you can number the answers like I have done in the following example:</p> <p>##### EXAMPLE:</p> <p>1. Topic: Internet Privacy</p> <p>2. Content: I am going to make a presentation that tries to persuade people to quit sites like Google, Facebook, Yahoo and Skype, and to switch to open-source alternatives. I am going to explain why i think they should quit, and then I am going to give an introduction to several alternatives.</p> <p>3. Research: This site has lots of information on alternatives to the mainstream sites: prism ? break</p> <p>第14回 Last Minute Issues Last minute questions?</p> <p>If you have any remaining questions about the presentation, please ask me. Even if you do not have any questions and everything is okay, then please indicate by responding.</p> <p>第15回 Submissions Visit the Coursebase classroom online to access content and to respond to the media and critical questions.</p> <p>Over the next two weeks you should finalise your video and post it by the deadline on the 22nd of January by 23:59.</p> <p>Since you have two weeks to post your work and have had two weeks to think about it and research the topic, you should have no problem in submitting your work on time.</p> <p>Be sure also, to complete this work.</p> <p>If you have still have some concerns or questions, please send me an email &lt;dbroudy@ocjc.ac.jp> or call me at 090.7586.0534</p> <p>If you have difficulty attaching your presentation, simply email it to me.</p> <p>Finally, please be sure to visit the Kyomuka to fill out a course evaluation for Current Issues Online.</p> <p>Enter your video or video link below.</p>
授業の概要	This course is conducted almost entirely online. Students will use email as well as internet sites to participate. By the end of this course, students should be more comfortable working and learning

	in an online environment, as well as have developed a greater understanding of current issues of importance. Students should also have developed a greater ability in thinking, talking, and writing about these issues. This course helps students understand various details of information provided in a range of media and genres. It helps students understand various details in auditory media to improve listening, helps students develop writing on various topics and themes in English, and encourages students to speak on various topics and themes in English. This course, thus, integrates the four major communication skills of reading, writing, speaking and listening.
予習	Review all academic writing that you have done. Take note of your strong points and of areas that you need to improve.
復習	It is essential to review and make sure you understand each week's lesson.
テキスト	None
参考書	Access to a computer with an internet connection is necessary and mandatory.
評価方法・評価基準	<p>Students will be evaluated in accordance with the quantity of their participation and, to a lesser extent, the quality of their writing. Since the course assumes and values the importance of dialogue and discussion of issues, quantity communicates a genuine desire to participate.</p> <p>【D P 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	Preferably, students should have completed English Composition I and/or II.
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 Broudy研究室
課題に対するフィードバック方法	.

	<p>delivered a sign of his glory by turning water into wine. The parable of the Good Samaritan is a parable told by Jesus in Luke. It is about a traveler who is stripped of clothing, beaten, and left half dead alongside the road. First a priest and then a Levite comes by, but both avoid the man. Finally, a Samaritan happens upon the traveler.</p> <p>第12回 The Lost Son/Feeding Five Thousand</p> <p>The Parable of the Lost Son is one of the parables of Jesus and appears in Luke. In the story, a father has two sons. The younger son asks for his inheritance and after wasting his fortune, becomes destitute. He returns home with the intention of begging his father to be made one of his hired servants. The father welcomes him back and celebrates his return. The Feeding Five Thousand is also known as the miracle of the five loaves and two fish, because five barley loaves and two small fish supplied by a boy were used by Jesus to feed a multitude.</p> <p>第13回 Jesus Walk on Water /Lazarus</p> <p>Jesus walks on water is one of the miracles of Jesus. Jesus sent the disciples by ship back to the other side of the Sea of Galilee while he remained behind, alone, to pray. After rowing against the wind most of the night, the disciples saw Jesus walking on the sea. Lazarus is the subject of a prominent miracle of Jesus in the Gospel of John, in which Jesus restores him to life four days after his death.</p> <p>第14回 The Last Supper/Jesus Is Betrayed</p> <p>The Last Supper is the final meal that Jesus shared with his Apostles in Jerusalem before his crucifixion. The Last Supper provides the scriptural basis for the Eucharist, also known as "Holy Communion." Jesus was betrayed by Judas, one of his disciples. Judas kissed and betrayed Jesus to the Sanhedrin for 30 silver coins.</p> <p>第15回 Jesus Dies and Comes Back to Life</p> <p>The resurrection of Jesus is the Christian religious belief that, after being put to death, Jesus rose again from the dead. It is the central tenet of Christian theology.</p> <p>第16回 Final Exam</p>
授業の概要	The focus of the class is put on understanding the essays and the parts of the Bible quoted in them. However, it is hoped that by focusing on the content and meaning of some essays or articles, you will be able to improve your English reading ability as well.
予習	The students are expected to read the the scheduled part in the syllabus previously and check the meaning of each word which seems new to you.
復習	The students are expected to master the important words in each lesson and review the content of the lesson by reading the text they studied in class and checking the notes they took in class.
テキスト	The text book for this class is "Bible Stories" by Nina Wegner (IBC Publishing, Inc. 2013). Some materials related to the topics are also provided for every class.
参考書	It would be wise to have a copy of the Bible in Japanese.
評価方法・評価基準	<p>Participation in class (20%) Reaction Papers (30%) Mid-term / Final Exam (50%)</p> <p>【D P 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	<p>You are expected to check the meaning of the words in each text previously and be ready to read aloud when you are asked.</p> <p>You are also expected to join in the discussion when the time for it is set by the instructor.</p> <p>Regular attendance is highly required.</p>
オフィスアワー	毎週月曜日（4限目）／毎週火曜日（4限目） 仲里研究室（事前にメールでの予約が必要です。）
課題に対するフィードバック方法	課題やプリントは、評価して（採点・評価後）返却する。

講義科目名称：英語検定演習 I

授業コード：

英文科目名称：Practice for English Proficiency Test I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 語彙力・長文読解力・リスニング力を英検準2級レベルまで伸ばすことを目標とする。</p> <p>【到達目標】 英検準2級に合格する。</p>
授業計画	<p>第1回 英語検定演習 I のオリエンテーション及びミニテスト ミニテストにより、自分のレベルを知ってもらう</p> <p>第2回 語彙 英検の過去問から語彙力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第3回 語彙 英検の過去問から語彙力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第4回 長文読解 英検の過去問から長文読解力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第5回 長文読解 英検の過去問から長文読解力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第6回 長文読解 英検の過去問から長文読解力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第7回 リスニング 英検の過去問からリスニング力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第8回 リスニング 英検の過去問からリスニング力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第9回 英作文 英検の過去問から作文力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第10回 英作文 英検の過去問から作文力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第11回 2次試験対策 英検の過去問を練習問題として2次試験の概要をつかむ</p> <p>第12回 2次試験対策 英検の過去問を練習問題として2次試験の概要をつかむ</p> <p>第13回 総合演習 I 英検の過去問から語彙力、長文読解力、リスニング力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第14回 総合演 II 英検の過去問から語彙力、長文読解力、リスニング力を鍛える練習問題をこなす</p> <p>第15回 総合演習 III 英検の過去問から語彙力、長文読解力、リスニング力を鍛える練習問題をこなす</p>
授業の概要	<p>ビジネスに関する題材だけでなく、歴史、科学、教育、芸術といった幅広い分野の語彙力・長文読解力・リスニング力をのばすため、様々な教材を用いて指導する。英検準2級レベルの題材を中心として扱う。TOEIC 350点レベルに相当。</p>
予習	<p>毎回の小テストの予習をする。 リスニング課題をする。 各回、約2時間の事前学習を要する。</p>
復習	<p>各単元の復習をする。 各回、約2時間の事後学習を要する。</p>
テキスト	<p>配布資料を利用する</p>
参考書	<p>英検PASS単熟語準2級</p>
評価方法・評価基準	<p>課題50%、小テスト50%</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。

履修上の注意	英検準2級を目指すもの
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 作田研究室
課題に対する フィードバック方法	コメントをつけた上で、授業の中で返却します。

講義科目名称：英語検定演習Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：Practice for English Proficiency Test Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 英語運用能力を伸ばすため、英検2級の教材を利用する</p> <p>【到達目標】 語彙力・長文読解力・リスニング理解力を英検2級レベルまで伸ばすことを目標とする。</p>
授業計画	<p>第1回 英語検定演習Ⅱのオリエンテーション及びミニテスト Dictationの方法と多読との組み合わせ。ミニテスト</p> <p>第2回 語彙 英検大門1。品詞と時制</p> <p>第3回 語彙 英検大門1。文の構成と文法間違い</p> <p>第4回 長文読解 英検大門2。接続詞と語順</p> <p>第5回 長文読解 英検大門3。文脈の言いかえとスキミング</p> <p>第6回 リスニング 英検リスニングPart1 and Part2</p> <p>第7回 英作文 Introduction, Body, and Conclusionの構成</p> <p>第8回 中間試験 大門1からリスニングまでの復習</p> <p>第9回 リスニング上達トレーニング 音読筆写のすすめ</p> <p>第10回 総合演習I 大門1のまとめ。TOEIC問題</p> <p>第11回 総合演習II 大門2のまとめ。接続詞の復習。ビジネスレターの作成。</p> <p>第12回 総合演習III 大門3のまとめ。TOEIC問題</p> <p>第13回 総合演習IV リスニングのまとめ。TOEIC問題</p> <p>第14回 総合演習V 英作文のまとめ。序文、本文、結論の復習</p> <p>第15回 総合演習VI 英検2級総合的なまとめ</p>
授業の概要	TOEICのビジネス傾向長文やリスニングだけでなく、経済、医学、教育といった幅広い分野の語彙・長文・リスニングに対応してもらおう。英検2級レベルの題材を中心として扱う。TOEIC 500点レベルに相当。
予習	毎回の小テストの予習をすること
復習	各単元の復習をすること
テキスト	配布資料を利用する
参考書	英検PASS単熟語2級
評価方法・評価基準	<p>課題50%、テスト50%</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	英検準2級をすでに修得しているか、それと同等の英語力を持っているもの
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 ○○研究室

課題に対する フィードバック方 法	課題及び授業内の小テストは授業内でその都度返却し解答する。
-------------------------	-------------------------------

講義科目名称：English & American Literature

授業コード：

英文科目名称：English & American Literature

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
作田 真由子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 イギリス文学史・アメリカ文学史上、著名な作家の代表的作品を読んで鑑賞するとともに、その作家や作品の特徴、文学史的意義を学ぶことにより、一般的教養を身につける。</p> <p>【到達目標】 英米文学の入門的な知識を得る。</p>
授業計画	<p>第1回 William Shakespeare 「百万の心を持つ詩人」と言われるウィリアム・シェイクスピアの作品全般について概説する。また、彼が活躍した時代の英語や、彼が作品で使用したblank verseなどについてもふれる。</p> <p>第2回 William Shakespeare シェイクスピアの劇作品を概説し、一部を読み、DVDで鑑賞する。</p> <p>第3回 William Shakespeare シェイクスピアの詩作品を数編読み、鑑賞する。</p> <p>第4回 John Donne 形而上詩の代表的詩人ジョン・ダンの詩について概説し、数編を読み、鑑賞する。</p> <p>第5回 Jane Austen ジェイン・オースティンの代表的作品を概説し、一部を読み、DVDで鑑賞する。</p> <p>前4回分の小テスト。</p> <p>第6回 William Wordsworth イギリスロマン派の代表的詩人、ウィリアム・ワーズワースの詩について概説し、数編の詩を読み、鑑賞する。</p> <p>第7回 Emily Bronte エミリー・ブロンテの小説『嵐が丘』の一部を読み、DVDで鑑賞する。</p> <p>第8回 Oscar Wilde 世紀末の才人、オスカー・ワイルドの作品について概説し、一部を読み、鑑賞する。</p> <p>第9回 Benjamin Franklin 「すべてのヤンキーの父」と言われる、アメリカ建国時代の政治家・文人・科学者であるベンジャミン・フランクリンの作品の一部を読み、鑑賞する。</p> <p>前4回分の小テスト。</p> <p>第10回 Edgar Allan Poe エドガー・アラン・ポーの作品を概説し、一部を読み、鑑賞する。</p> <p>第11回 Emily Dickinson エミリー・ディキンソンの詩を概説し、数編を読み、鑑賞する。</p> <p>第12回 Robert Frost ロバート・フロストの詩を概説し、数編を読み、鑑賞する。</p> <p>前3回分の小テスト。</p> <p>第13回 Sherwood Anderson シャーウッド・アンドソンの作品について概説し、代表的作品の一部を読み、鑑賞する。</p> <p>第14回 Ezra Poundとイマジストたち エズラ・パウンドとイマジストたちの代表的詩を数編読み、鑑賞する。</p> <p>第15回 Ernest Hemingway アーネスト・ヘミングウェイの代表的作品の一部を読み、鑑賞する。</p> <p>4回分の小テスト。</p>
授業の概要	イギリス文学史・アメリカ文学史上、著名な作家の代表的作品を読み、感想文を書く。また、一部を日本語に訳す作業をすることもある。
予習	指定された作品を、日本語訳でもよいので読んでおく。 各回、約2時間の事前学習を要する。
復習	学んだ箇所を復習し、小テストに備える。 各回、約2時間の事後学習を要する。
テキスト	プリント配付
参考書	神山妙子編著「はじめて学ぶイギリス文学史」(ミネルヴァ書房) 板橋好枝/高山賢一編著「はじめて学ぶアメリカ文学史」(ミネルヴァ書房)
評価方法・評価基準	小テスト60%、課題40%

	<p>【D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	日頃から英米の文学作品を、できるだけ多く、日本語訳でもよいので読んでおくこと。
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 作田研究室
課題に対する フィードバック方法	小テストや課題はチェック後、授業の中で返却します。

講義科目名称：Business Writing

授業コード：

英文科目名称：Business Writing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択必修D
担当教員			
スミス 陽子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>知識理解：国際的ビジネスシーンへの総括的な理解を深める 思考判断：英語で考える思考判断能力を身につける 関心意欲：英語でのコミュニケーション技術取得へ関心をもつ 態度：真摯に取り組む態度で望む</p>
授業計画	<p>第1回 講義の概要・進め方、評価方法等の説明</p> <p>第2回 ビジネスのグローバル化・コミュニケーションと国際ビジネス</p> <p>第3回 商業英語とは何か</p> <p>第4回 就職活動・英文履歴書の書き方</p> <p>第5回 面接の準備と対応</p> <p>第6回 ビジネス英語リスニング訓練</p> <p>第7回 電話での対応</p> <p>第8回 ビジネス英語スキット（スピーキング）</p> <p>第9回 ビジネスレターの書き方、小テスト</p> <p>第10回 ファクス、メモ、E-mailの書式と書き方</p> <p>第11回 海外からの顧客の接遇とコミュニケーション</p> <p>第12回 海外へのビジネストリップ</p> <p>第13回 時事・経済英語の理解</p> <p>第14回 時事・経済英語の理解、小テスト</p> <p>第15回 まとめ</p>
授業の概要	<p>グローバル化した現代において、異なった文化・習慣を持ち、しかも異なった言語を話す人々と国際ビジネスを効果的に進めていくための必要な要件は何か。一つは正確に意志の疎通ができる語学力(英語力)である。二つは国際社会におけるビジネスの慣習・ルール、そしてマナー等のコミュニケーション技術を身につけることである。</p> <p>本講義では、就職活動の流れ、英文履歴書の書き方、商業文書の作成、電話での対応ビジネス英会話、プレゼンテーションの基本、電子メールの書き方、接遇とコミュニケーション等の基本的な国際ビジネス実務を学習する。そして実際の場面において、自信を持って駆使できる英語表現力とコミュニケーション技術の向上を図る。</p> <p>各講義前半はリスニング、ディクテーション（聞いたものを書く）に力を入れ、後半はオフィスの英会話をペアやグループで練習し、スキットとして発表するので、スピーキングの練習になります。毎回発表があり、参加度が成績につながるので、毎回出席し、積極的に参加することが求められるクラスです。</p>
予習	<p>次回のレッスンを一読する。 前までの週のボキャブラリーを暗記してくる。</p>
復習	<p>その日、その日のレッスンを毎日音読する。 その日の新しいボキャブラリーを暗記する。</p>
テキスト	城由紀子・島田拓司・Schaefer, E. J. 『BUSINESS TALK (やさしいオフィス英語)』 成美堂
参考書	田仲武雄『初めて学ぶビジネス英語』 成美堂 『CNN English Express』 朝日出版 Gary Joseph Grappo and Adele Lewis (豊田英子訳) 『英文履歴書の書き方』 アルク
評価方法・評価基準	<p>授業への参加度 (25%)、小テスト (40%)、課題提出 (20%)、授業態度等 (15%) を総合的に判断して評価。</p> <p>【D P 1～5との関連】</p>

	<p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	<p>①テキスト、ノート、筆記用具、辞典を持参すること</p> <p>②予定の項目に目を通しておくこと</p> <p>③無断欠席、遅刻をしないこと</p> <p>④提出物の期限を守ること</p>
オフィスアワー	講義終了後。
課題に対するフィードバック方法	講義中に個人的にフィードバックを与えます。

講義科目名称：通訳実践活動

授業コード：

英文科目名称：Interpretation Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	1単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
柳田 正豪			

授業のテーマ及び到達目標	教室で学んだ通訳を地域社会で実践し、知識・技術を高めるとともに社会貢献をすることができる。
授業計画	在学中に行った通訳の実践活動（30時間）をレポート形式にまとめ、担当教員に提出する。必要に応じて参考資料も提出する。
授業の概要	通訳の授業等で学んだことを活かし、地域社会のニーズに応じて行う通訳（同時、逐次、アテンドなど）の実践活動を評価する。
予習	通訳内容に関してリサーチを十分に行う
復習	行った通訳を振り返り、今後活かす
テキスト	なし
参考書	なし
評価方法・評価基準	レポートおよび面談：100% 【D P 1～5との関連】 ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	同時通訳Iあるいは同時通訳IIを履修していること
オフィスアワー	（仮）毎週**曜日 **限目 柳田研究室
課題に対するフィードバック方法	shogo@oc.jc.ac.jpにて随時質問に答える

講義科目名称：同時通訳実践演習 I (Chapel Service)

授業コード：

英文科目名称：Chapel Service Interpretation I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	月曜礼拝やキリスト教講演会において同時通訳の実践をする。高度な同時通訳の実践力を備えた人材、また沖繩から平和を作り出す意義を大切に建学の精神を英語と日本語で適切に表現できる人材になることを目標とする。
授業計画	<p>第1回 月曜礼拝通訳の実践1</p> <p>第2回 月曜礼拝通訳の実践2 自分の担当箇所を中心に、全体を見て準備する。</p> <p>第3回 月曜礼拝通訳の実践3 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。</p> <p>第4回 キリスト教講演会通訳 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。</p> <p>第5回 月曜礼拝通訳の実践4 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。</p> <p>第6回 月曜礼拝通訳の実践5 声のトーンを意識する。</p> <p>第7回 月曜礼拝通訳の実践6 自分の担当箇所を中心に、全体を見て準備する。</p> <p>第8回 月曜礼拝通訳の実践7 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。</p> <p>第9回 月曜礼拝通訳の実践8 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。</p> <p>第10回 月曜礼拝通訳の実践9 声のトーンを意識する。</p> <p>第11回 月曜礼拝通訳の実践10 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。</p> <p>第12回 月曜礼拝通訳の実践11 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。</p> <p>第13回 月曜礼拝通訳の実践12 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。</p> <p>第14回 月曜礼拝通訳の実践13 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。</p> <p>第15回 まとめとフィードバック</p>
授業の概要	前期の月曜礼拝とキリスト教講演会において同時通訳(場合により逐次通訳)を担当する。本学の通訳関連科目で習得できる種々のスキルを総動員して実践に挑戦するとともに、建学の精神を伝える一翼を担う意識をもって臨む。
予習	配布された資料を研究し、同時通訳に備える。(毎回、約2時間以上の事前学習を必要とする)
復習	実際に行ったパフォーマンスを振り返って良かった点、要改善点などを分析する。(毎回、約2時間以上の事後学習を必要とする)
テキスト	礼拝プログラムや説教者の原稿、その他の資料(その都度配布します)
参考書	聖書(日本語、英語)、キリスト教関連資料、その他内容に応じた資料(その都度指定します)
評価方法・評価基準	<p>礼拝等における通訳実践 100%</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	「同時通訳 I」または「同時通訳 II」を履修中または履修済みであることが望ましい。
オフィスアワー	メールアドレス：senko@oc.jc.ac.jp

課題に対する フィードバック方 法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。
-------------------------	----------------------------

講義科目名称：同時通訳実践演習Ⅱ（Chapel Service）

授業コード：

英文科目名称：Chapel Service Interpretation Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	月曜礼拝やキリスト教講演会において同時通訳の実践をする。高度な同時通訳の実践力を備えた人材、また沖縄から平和を作り出す意義を大切に建学の精神を英語と日本語で適切に表現できる人材になることを目標とする。		
授業計画	第1回	オリエンテーション、月曜礼拝通訳の実践1	
	第2回	月曜礼拝通訳の実践2 自分の担当箇所を中心に、全体を見て準備する。	
	第3回	月曜礼拝通訳の実践3 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。	
	第4回	キリスト教講演会通訳 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。	
	第5回	月曜礼拝通訳の実践4 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。	
	第6回	月曜礼拝通訳の実践5 声のトーンを意識する。	
	第7回	月曜礼拝通訳の実践6 自分の担当箇所を中心に、全体を見て準備する。	
	第8回	月曜礼拝通訳の実践7 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。	
	第9回	月曜礼拝通訳の実践8 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。	
	第10回	月曜礼拝通訳の実践9 声のトーンを意識する。	
	第11回	月曜礼拝通訳の実践10 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。	
	第12回	月曜礼拝通訳の実践11 あらためて、建学の精神を念頭に置きながら通訳することに努める。	
	第13回	月曜礼拝通訳の実践12 伝わりやすい表現、伝わりにくい表現について考慮する。	
	第14回	月曜礼拝通訳の実践13 クラスメートのパフォーマンスを聞き、参考にする。	
	第15回	まとめとフィードバック	
授業の概要	前期の月曜礼拝とキリスト教講演会において同時通訳（場合により逐次通訳）を担当する。本学の通訳関連科目で習得できる種々のスキルを総動員して実践に挑戦するとともに、建学の精神を伝える一翼を担う意識をもって臨む。		
予習	配布された資料を研究し、同時通訳に備える。（毎回、約2時間以上の事前学習を必要とする）		
復習	実際に行ったパフォーマンスを振り返って良かった点、要改善点などを分析する。（毎回、約2時間以上の事後学習を必要とする）		
テキスト	礼拝プログラムや説教者の原稿、その他の資料（その都度配布します）		
参考書	聖書（日本語、英語）、キリスト教関連資料、その他内容に応じた資料（その都度指定します）		
評価方法・評価基準	<p>礼拝等における通訳実践 100%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。 		
履修上の注意	「同時通訳Ⅰ」または「同時通訳Ⅱ」、および「通訳とプレゼンテーション」を履修中または履修済みであることが望ましい。		

オフィスアワー	メールアドレス : senko@ocjc.ac.jp
課題に対する フィードバック方 法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称：多読 I

授業コード：

英文科目名称：Extensive Reading I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
作田真由子・仲座栄利子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 この授業の目的は自分のレベルにあった英文を、ある程度のスピードを持って読むことで、読書の楽しみと達成感を得るとともに、大量の英文をインプットすることで、自然な形で英語の語彙や文法を習得していくことである。</p> <p>【到達目標】 英文を読む習慣をつけ、大意を把握する能力を向上させることができる。</p> <p>教材としてはGraded Readers を用いる。この教材は種々の題材で書かれていて、かつレベル分けがされているため、学生が自分で興味あるトピックを選ぶことができ、かつ自分のレベルにあったものを選ぶことができる。</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン+リーディング 多読について、また、レポートの作成方法についての説明</p> <p>第2回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第3回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第4回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第5回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第6回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第7回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第8回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第9回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第10回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第11回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第12回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第13回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第14回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第15回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。 レポートをまとめてステイブルでとじ、提出する。 また、読破した総語数を報告する。</p>
授業の概要	<p>毎回、図書館の多読室で、自分の興味とレベルにあった教材を選び、次の3原則を守りながら読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 楽しみながら読む。つまらなければ止めて、別の教材を選ぶ。 2. 辞書は引かない。(引かなくてもわかる本を読む。) 3. わからないところは飛ばして先へ進む。(話の流れがわかればOK。) <p>1冊読み終えると簡単なレポートを書く。そのレポートと読破した総語数を学期末に教員に提出する。</p> <p>随時、授業の中で教員が人気のある本を紹介したり、多読によって学力を伸ばした例などを紹介する。</p>
予習	授業中に読む以外に、時間の許す限り多く読む
復習	授業中に読む以外に、時間の許す限り多く読む
テキスト	Graded Readers
参考書	辞書、英文法参考書

<p>評価方法・評価基準</p>	<p>課題レポート100%</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
<p>履修上の注意</p>	<p>自分のレベルに合わせて意欲を持って読む。日ごろから語彙力、文法力をあげておく。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>(仮) 作田：毎週**曜日 **限目 作田研究室 (仮) 仲座：毎週**曜日 **限目 仲座研究室</p>
<p>課題に対するフィードバック方法</p>	<p>学期末にレポートを提出してもらい、点数をつけてレターボックスに返却します。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
仲座 栄利子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 多読Iと同様、この授業の目的は自分のレベルにあった英文をある程度のスピードを持って読むことで、読書の楽しみと達成感を得るとともに、大量の英文をインプットすることで、自然な形で英語の語彙や文法を習得していくことである。</p> <p>【到達目標】 英文を読む習慣をつけ、大意を把握する能力を向上させることができる。</p> <p>教材としてはGraded Readers を用いる。この教材は種々の題材で書かれていて、かつレベル分けがされているため、学生が自分で興味あるトピックを選ぶことができ、かつ自分のレベルにあったものを選ぶことができる。多読Iをすでに履修した学生はIの上に、読む速度と読解力のさらなる向上を目指してもらう。多読に初めて触れる学生は3原則を守りながら、読む技術を習得してもらう。</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン+リーディング 多読について、また、レポートの作成方法についての説明</p> <p>第2回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第3回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第4回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第5回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第6回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第7回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第8回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第9回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第10回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第11回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第12回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第13回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第14回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。</p> <p>第15回 リーディング 選んだ本を読み、レポートを作成する。 レポートをまとめてステイブルでとじ、提出する。 また、読破した総語数を報告する。</p>
授業の概要	<p>毎回、図書館の多読室で、自分の興味とレベルにあった教材を選び、次の3原則を守りながら読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 楽しみながら読む。つまらなければ止めて、別の教材を選ぶ。 2. 辞書は引かない。(引かなくてもわかる本を読む。) 3. わからないところは飛ばして先へ進む。(話の流れがわかればOK。) <p>1冊読み終わると簡単なレポートを書く。そのレポートと読破した総語数を学期末に教員に提出する。</p> <p>随時、授業の中で教員が人気のある本を紹介したり、多読によって学力を伸ばした例などを紹介する。</p>
予習	授業中に読む以外に、時間の許す限り多く読む
復習	授業中に読む以外に、時間の許す限り多く読む
テキスト	Graded Readers
参考書	辞書、英文法参考書

<p>評価方法・評価基準</p>	<p>課題レポート100%</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
<p>履修上の注意</p>	<p>自分のレベルに合わせて意欲を持って読む。日頃から語彙力、文法力をあげておく。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>(仮) 毎週**曜日 **限目 仲座研究室</p>
<p>課題に対するフィードバック方法</p>	<p>学期末にレポートを提出してもらい、点数をつけてレターボックスに返却します。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
上原 明子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 社会と対峙するための「書く」「読む」を通して、ロジカル・シンキングとクリティカル・シンキングを鍛える。</p> <p>【到達目標】 新聞からの情報収集リテラシーが養成される。論理的な文章に親しみ、リサーチ・ペーパーを作成することができる。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 「コトバが宿る器となろう」 コトバと論理の「コトバ」の意味についてのレクチャーを行う。 「コトバ」とカタカナで記したときは、単なる言語活動を指す「言葉」ではない。音楽家は音楽、画家は絵、・・・こちら側になんらかのメッセージを告げるものは、「コトバ」である。「コトバ」は、私達の周りに満ちていて、それが宿るにふさわしい器を求めている。感性の鋭さ、論理的な思考を修練して、美しい「コトバ」が宿る器となれる生き方をめざそう。 課題：「理性と感性」についてのレポート作成。</p> <p>第2回 クリティカルシンキング（1） 新聞スクラップ 新聞を読むことの意味と新聞スクラップを作ることを学ぶ。 課題：新聞スクラップを作成する。</p> <p>第3回 クリティカルシンキング（2） 新聞質問ノート 「質問」の持つ役割について学ぶ。 課題：新聞記事について、3～5つの「質問」と「回答」を作成する。</p> <p>第4回 クリエイティブシンキング（1） コラム写本とディスカッション 斎藤孝『新聞力』を読み解きながら、コラム写本の意義について学ぶ。 課題：天声人語の写本とタスクへの取り組み。</p> <p>第5回 クリエイティブシンキング（2） コラム作成とディスカッション コラムを作成することに挑戦する。 課題：コラムの論理構造を分析し、コメントについてのコラムを作成する。</p> <p>第6回 社説縮約（1） 解説 斎藤孝『新聞力』を読み解きながら、新聞の社説縮約について学ぶ。 縮約のモデルを分析し、縮約の方法について学ぶ。 課題：社説を200字に縮約し、縮約した箇所についての分析を行う。</p> <p>第7回 社説縮約（2） 実践 新聞の社説縮約について学ぶ。 3～5社の新聞社の社説縮約を行う。 課題：一週間分の新聞についての社説縮約。</p> <p>第8回 社説縮約（3） 各新聞社の社説比較 社説縮約のまとめ。 同じ内容を扱っている2社の社説を縮約し、取り上げられている内容の比較分析を行う。 課題：授業で行った方法を用いて、2社の社説縮約と比較分析レポート作成。</p> <p>第9回 マッピング思考法 言葉や事象の結びつきを視覚化する論理的思考方法のひとつであるマッピング思考法を学ぶ。 社説のマッピングを行い、その中のトピックについてコメントを書く。 課題：与えられたテーマについてのマッピングを行い、コメントを作成する。</p> <p>第10回 ロジカルシンキング（1） 論理的な文章の構成 論理的な文章の基本的な構成（序論、本論、結び）について学ぶ。 課題：指定されたテキストについて、論理構造を分析する。</p> <p>第11回 ロジカルシンキング（2） 論理的な文章の作成 論理的な文章をF（事実）O（意見）A（行動）の3タイプの文を組み合わせた論理的文章を作成する。 課題：提示された「構成メモ」に基づき、論理的文章を作成する。</p> <p>第12回 リサーチ・ペーパー（1） テーマ決定・取材 ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの実践としてリサーチ・ペーパーを段階的に作成する。 マッピング思考法を用いて、テーマを決定し、取材を行う。</p> <p>第13回 リサーチ・ペーパー（2） 文献探索・インタビュー・アンケート ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの実践としてリサーチ・ペーパーを段階的に作成する。 テーマについての文献探索やインタビュー（またはアンケート）を行い、資料を整える。</p> <p>第14回 リサーチ・ペーパー（3） 構成・下書き ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの実践としてリサーチ・ペーパーを段階的に作成する。 構成メモを作成し、論理的構造を確認し、文章化する。</p> <p>第15回 リサーチ・ペーパー（4） 報告 ロジカルシンキング、クリティカルシンキングの実践としてリサーチ・ペーパーを段階的に作成する。</p>

	<p>リサーチ・ペーパーについてのプレゼンテーションと評価を行う。 課題：リサーチ・ペーパーの改訂版作成。</p>
授業の概要	論理的思考力を育成し、問題解決能力を高めるため、新聞の読み方、マッピング思考法、リサーチ・ペーパー作成を行う。
予習	新聞社説やコラムについての指定様式レポート作成（約2時間要す）
復習	講義内で指示したタスクにとりくむこと（約2時間要す）
テキスト	講師作成資料を配布
参考書	『新聞力』 齊藤孝（ちくまプリマー新書）
評価方法・評価基準	<p>課題への取り組み 50% リサーチ・ペーパーへの取り組み 50%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	授業参加についてのセルフ・ルールを決めて実行してください
オフィスアワー	毎週水曜日（11：00～12：30） 研究室
課題に対するフィードバック方法	授業にて返還。リサーチ・ペーパーは、各自のメールボックスに返還。

講義科目名称：異文化共生

授業コード：

英文科目名称：Cross-cultural Understanding

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1～2年	2単位(0-2)	選択科目
担当教員			
柳田 正豪			

授業のテーマ及び到達目標	<p>授業のテーマ：英語で地元の文化や伝統をプレゼンテーションする。また異文化と共存するのに何が重要なのかを学ぶ。</p> <p>到達目標：高度な英語運用能力とプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を養う。</p>		
授業計画	第1回	<p>異文化とは 授業のオリエンテーション プレゼンテーションの説明 成績のつけかた カルチャーショックとは</p>	
	第2回	<p>My Hometownの準備 Textbookをグループで理解する+ディスカッション My Hometownについてデモを見せる 3 must-see places 3 must-eat food 3 must-go restaurants or cafe Good points about your hometown Bad points about your hometown Conclusion</p>	
	第3回	<p>Preparing My Hometown Presentation All the students prepare their "My Hometown" presentation</p>	
	第4回	<p>My Hometown Presentation All the students present their "My Hometown" presentation</p>	
	第5回	<p>Introduce Okinawa Textbookをグループで理解する+ディスカッション 沖縄の紹介のデモを見せる 海外研修の行先によってグループ分けをし、プレゼンのテーマを決める</p>	
	第6回	<p>Preparing for Okinawa Presentation All the students prepare for their "Okinawa" presentation</p>	
	第7回	<p>Presentation "Okinawa" + Problems in Okinawa All the students present their presentation</p>	
	第8回	<p>What problems does Okinawa have? Facts and opinions Suggestions and Solutions Preparation "Problems in Okinawa" + textbook Textbookをグループで理解する+ディスカッション Prepare for "Problems in Okinawa"</p>	
	第9回	<p>Presenting "Problems in Okinawa" + Intorude Questionniare Survey All the students present "Problems in Okinawa"</p>	
	第10回	<p>Introduce Questionnaire Survey What do you like about Okinawa? How much do you satisfy staying in Okinawa? Scale of 1 through 10 What troubles or problems did you face while staying in Okinawa? How can Okinawa attract more tourists from abroad? How can Okinawa make tourists stay longer than now? Prepare for the presentation; continue the survey Prepare for the presentation All the students continue their survey</p>	
	第11回	<p>Presentation Presenting the results of the survey + discussion</p>	
	第12回	<p>Culture shock Experience the culture shock</p>	
	第13回	<p>"Taboos" Introduce last presentation "Taboos" Choose one foreign country and research its taboos.</p>	
	第14回	<p>Prepare for "Taboos" All the students prepare for presentation "Taboos"</p>	
	第15回	<p>Final Presentation All the students present their final presentation</p>	
授業の概要	<p>英語で沖縄の文化・伝統をプレゼンテーションする。また異国の文化・伝統も英語でプレゼンテーションして</p>		

	もらう。プレゼンテーションを通して異文化の理解を深めるとともに、高度なコミュニケーション能力も身につけてもらう。
予習	毎プレゼンテーションの準備を怠らないこと。
復習	毎講義で学習したプレゼンテーション技能を復習すること。
テキスト	適宜プリントを配付、または参考テキストの紹介を行なう。
参考書	.
評価方法・評価基準	<p>パワーポイントの資料作成 (20%) プレゼンテーションのデリバリーやスキル (60%) 小クイズ (20%)</p> <p>【D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。</p>
履修上の注意	ハワイ研修・台湾研修に参加する学生は必ず履修すること
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 柳田研究室
課題に対するフィードバック方法	. 授業に関する質問は授業内で応答する。またメールにての質問も受け付ける。 shogo@ocjc.ac.jp

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-2)	選択必修D
担当教員			
城間 仙子			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 より「伝わる音声」を習得する。またこれにより、リスニング力も向上させる。 【到達目標】
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン シャドーイングとは何かを学ぶ シャドーイングの訓練法およびシャドーイングに至る前に行うべき訓練について学び、体験する 英語の発音について基本的な事項を確認する</p> <p>第2回 音読1 英単語の発音の調べ方についてあらためて確認する 英語の発音記号について、あらためて確認する 配布された教材(1)を用いて、音読を行う 適宜、単語の発音について調べ、発音を確認する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第3回 音読2 配布された教材(2)を用いて、音読を行う 適宜、単語の発音について調べ、発音を確認する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第4回 音読3 配布された教材(3)を用いて、音読を行う 適宜、単語の発音について調べ、発音を確認する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第5回 音読4 配布された教材(4)を用いて、音読を行う 適宜、単語の発音について調べ、発音を確認する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第6回 シンクロリーディング1 シンクロリーディングに関する基本的事項を確認する モデル音声(1)に合わせて、シンクロリーディングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第7回 シンクロリーディング2 モデル音声(2)に合わせて、シンクロリーディングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第8回 シンクロリーディング3 モデル音声(3)に合わせて、シンクロリーディングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第9回 シャドーイング演習1 シャドーイングに関する基本的事項を確認する モデル音声(4)に合わせて、シャドーイングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第10回 シャドーイング演習2 モデル音声(5)に合わせて、シャドーイングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第11回 シャドーイング演習3 モデル音声(6)に合わせて、シャドーイングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第12回 シャドーイング演習4 モデル音声(7)に合わせて、シャドーイングを練習する 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第13回 総合演習1 教材の難易度を上げながら、本格的なシャドーイングの練習を行う 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第14回 総合演習2</p>

	<p>教材の難易度を上げながら、本格的なシャドーイングの練習を行う 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第15回 総合演習3</p> <p>教材の難易度を上げながら、本格的なシャドーイングの練習を行う 自分の音読音声を録音し、セルフチェックする 録音した音声を提出し、担当教員にチェックさせる</p> <p>第16回</p>
授業の概要	この授業では、一般の外国語学習者を対象にシャドーイングの訓練を行う。受動的なリスニング練習とは異なり、リスニングをしながら実際に自分の口や舌を動かして発声することにより、能動的な英語学習となる
予習	音読と発音の自習。 積極的にラボ室を活用してください。 (毎日15～20分程度)
復習	LL機器等を用いて授業内容が身につくように努める。 (毎日15～20分程度)
テキスト	時事問題や建学の精神を意識した資料を担当教員が配付します。
参考書	なし
評価方法・評価基準	<p>授業中のパフォーマンスや課題の提出 100%</p> <p>【D P 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	USBメモリを持参すること
オフィスアワー	<p>毎週火曜日 4時限目 城間研究室</p> <p>メールアドレス：senko@oc.jc.ac.jp</p>
課題に対するフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、授業内でその都度行う。

講義科目名称：英作・文法 I (夏期集中講義)

授業コード：

英文科目名称：Eng. grammar through Comp. I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期 (夏期集中)	1 年	2単位	選択必修B
担当教員			
仲座 栄利子			

授業のテーマ及び到達目標	文の基礎を習得し、短い英文を書く力を養う。
授業計画	<p>第1回 文の種類：英語の語順、他</p> <p>第2回 動詞と文型：動詞の使い方と文型、他</p> <p>第3回 動詞と時制：「時」をどのように表すか、他</p> <p>第4回 完了形：完了形が表す意味、他</p> <p>第5回 助動詞：助動詞の役割、他</p> <p>第6回 態：受動態の形と意味、他</p> <p>第7回 不定詞：不定詞とは、他</p> <p>第8回 動名詞：動名詞とは、他</p> <p>第9回 分詞：分詞とは、他</p> <p>第10回 比較：何と何を比較するのか、他</p> <p>第11回 関係詞：関係代名詞と関係副詞、他</p> <p>第12回 仮定法：「仮定法」と動詞の形、他</p> <p>第13回 疑問詞と疑問文：疑問文の形、他</p> <p>第14回 否定：英語で否定を表す、他</p> <p>第15回 話法：発言内容の伝え方、他</p> <p>第16回 期末試験</p>
授業の概要	英文を書く練習を通して既習の基本的な文法事項を復習・再確認させ、定着を図る。
予習	テキストを読んで理解しておく。できれば、他の英文法参考書も見る。
復習	既習の事項を見直し、わからなかったところをチェックする。
テキスト	Forest、桐原書店、第7版、2016
参考書	辞書、英文法参考書。
評価方法・評価基準	<p>試験：60%</p> <p>授業態度：20%</p> <p>発表：20%</p> <p>D P 1~5との関連】</p> <p>.. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。</p> <p>.. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。</p> <p>.. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。</p> <p>○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>○ 5 学則に定める修業年限を満了し、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。</p>
履修上の注意	テキストと辞書を持参し、毎回必ず予習を済ませてから、授業に参加すること

オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 仲座研究室
課題に対する フィードバック方法	.

講義科目名称 : Making a Newspaper

授業コード :

英文科目名称 : Making a Newspaper

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位(2-0)	選択必修B
担当教員			
Michael Bradley			

授業のテーマ及び到達目標	Objective: Students will learn and experience all the stages involved in producing a newspaper. This is task based learning in its purest form ? the students are always working towards producing something tangible. Students will learn invaluable lessons are organising their time and meeting deadlines, as well as improving their English. Goal: By the end of this course students' overall level of English will have improved because they will have had to use all four skills - reading, writing, listening and speaking - in every class. They will also have learned how to compile a newspaper and will have gained confidence from that experience. (主としてライティングの技能を磨くが、他の技能も実践的に駆使して英語力を高める。また、どのようにして新聞記事を作成するかも学び、実地の経験から自信を得る)
授業計画	<p>第1回 Introduction. How news articles are structured and how that structure differs from academic writing. Introduction. Deciding the various sections which we will cover in our newspaper and assigning students to various roles ? eg. Who will cover stories about the local area, or stories from within the college.</p> <p>第2回 How the various sections of a newspaper differ from each other: news versus opinion pieces versus editorials. A look at the process of making a newspaper. How information is gathered, how interviews are set up and conducted.</p> <p>第3回 The layout of the newspaper. Students decide how the paper will be organized ? what sections it should be divided into. An introduction to the characteristics of news writing. Journalistic writing is quite unlike academic writing in many respects and has to be taught and practised.</p> <p>第4回 First editorial meeting Students decide the content of the first issue and begin research. Students will again practise writing news articles. For homework, they will have to gather the raw material for their first articles.</p> <p>第5回 Students conduct interviews for their articles. Students write up their first articles in class. They will then be introduced to the basics of sub-editing.</p> <p>第6回 Students sub-edit the articles and prepare for publication. Students will sub-edit each others' copy in preparation for the printing of the first edition.</p> <p>第7回 Second editorial meeting Students decide the content of the second issue and begin research. Editorial meeting to reflect on the first edition and prepare for the second edition. For homework, students will be required to gather materials for their next articles.</p> <p>第8回 Students conduct interviews for their second articles. Students write up their articles for the second edition in class.</p> <p>第9回 Students sub-edit the second articles and prepare for publication. Students will sub-edit each others' copy in preparation for the printing of the second edition.</p> <p>第10回 Third editorial meeting Students decide the content of the third issue and begin research. Editorial meeting to reflect on the second edition and prepare for the third edition. For homework, students will be required to gather materials for their next articles.</p> <p>第11回 Students conduct interviews for their third articles. Students write up their articles for the third edition in class.</p> <p>第12回 Students sub-edit the third articles and prepare for publication. Students will sub-edit each others' copy in preparation for the printing of the third edition.</p> <p>第13回 Fourth editorial meeting Students decide the content of the fourth issue and begin research. Editorial meeting to reflect on the third edition and prepare for the fourth edition. For homework, students will be required to gather materials for their next articles.</p> <p>第14回 Students conduct interviews for their fourth articles Students write up their articles for the fourth edition in class.</p> <p>第15回 Students sub-edit the fourth articles and prepare for publication. Students will sub-edit each others' copy in preparation for the printing of the fourth and final edition.</p>
授業の概要	The purpose of this course is to get students to produce their own newspaper which other people on campus will hopefully be interested in reading. The students will take responsibility for the

	entire process, from generating story ideas, to writing articles, to sub-editing and page lay-out. (このクラスの目的は、学生たちが、キャンパス内の人々に興味を持って読んでもらえる独自の新聞を作ることである。学生たちはトピックの選択、記事の執筆、編集、ページレイアウトなどすべてのプロセスに責任を持つ。)
予習	Students will need to come to class with ideas for possible stories. (学生はトピックのアイデアをあらかじめ考えてクラスに来ること。)
復習	Students will have to conduct some interviews outside class time. (学生たちは授業時間外にインタビューを行う。)
テキスト	No textbook, It is recommended that students bring their own memory sticks/flash drives where they can save their work.
参考書	特になし
評価方法・評価基準	Assignments/Classwork: 80%. Attitude in class 20% 【D P 1~5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 ○ 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	特になし
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 Bradley研究室
課題に対するフィードバック方法	All the questions related to class lessons will be answered by teacher in the classroom. Students can also send their questions to teacher's email address: mbradley@ocjc.ac.jp

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(1-1)	選択科目
担当教員			
上原 明子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 「ステキな社会人」、「求められる人」になるため、また自分のキャリアを追い求めるために必要な知識やスキルを学び、実践できるようになる。</p> <p>【到達目標】 社会人基礎力の獲得。</p>
授業計画	<p>第1回 また会いたいと思わせる、マナーを身につける (ビジネスマナー) (サポート：キャリア支援課) 電話のかけ方、敬語等のビジネスマナーを習得。 一般常識に関するタスクへの取り組み。 課題：タスクの復習。</p> <p>第2回 キャリア支援課ツアー/自分を知ろう (自己分析) (サポート：キャリア支援課) ※パソコン室使用 就活全体像の理解、求人票・学内情報の見方、自己分析。 課題：自己分析結果(自己紹介書)をメールにて添付ファイルで送付。</p> <p>第3回 文章で伝えるあなたの魅力(履歴書の書き方) (サポート：キャリア支援課) 履歴書の書き方(キリ短ひな形使用) ※15回めの授業までに添削を受けて完成する。 一般常識に関するタスクへの取り組み。 課題：タスクの復習。</p> <p>第4回 社会の仕組みを知ろう (業界研究①) ゲストスピーカーをお招きして 業界、業種、職種についての理解を深める。 課題：「関心のある業界、業種」についてのレポート作成。</p> <p>第5回 仕事について知ろう (業界研究②) フィールドワーク 課題：業界研究レポート作成。</p> <p>第6回 社会で活かしたい能力を、在学中から育もう (社会人基礎力) ゲストスピーカーをお招きして 社会人基礎力についての考察を深める。 キリ短生の英語&コミュニケーション力を活かせる仕事について知見を深くする。 課題：授業の内容の要約と気づきについてのレポート作成</p> <p>第7回 ラブレターを書いてみよう(自己PR・志望動機) (サポート：キャリア支援課) 自己PRのケース・スタディ。 自己分析の応用として、長所・短所、将来の夢、理想の自分についての文書を作成する。 資料に基づき、キリ短生のための社会人基礎力について確認する。 課題：自己PR書の作成。</p> <p>第8回 ステキな声の出し方、話し方 ・ロジカルシンキングとは？ 表現力・コミュニケーション力について学ぶ。 「キリ短の魅力」について、グループで論理的に考え、まとめ、プレゼンする。 課題：プレゼン原稿仕上げ。</p> <p>第9回 沖縄企業の研究 ゲストスピーカーをお招きして 沖縄の企業の現状についての知見を得る 課題：授業の内容についての要約と気づきについてのレポート作成。</p> <p>第10回 新聞の読み方 ゲストスピーカーをお招きして 時事問題への関心を高め、情報を収集する方法を学ぶ。 課題：関心のあるニュースについてのレポート作成。</p> <p>第11回 面接力UP (サポート：キャリア支援課) 集団面接のロールプレイ、面接官の気持ちを知る。 一般常識に関するタスクへの取り組み。 課題：タスクの復習</p> <p>第12回 人生とお金の関係 ・働く時に必要な法的知識 ゲストスピーカーをお招きして 生涯賃金、生活費を含むマネープランについて学ぶ 働く時に必要な法的知識を学ぶ 課題：「授業内容の要約と気づき」についてレポート作成</p> <p>第13回 キャリア イングリッシュ TOEICテスト ※実施曜日確認のこと</p> <p>第14回 まとめ(1) 講座を通して深めた自己分析について、プレゼンを行う 課題：最終レポート作成</p>

	第15回 　まとめ(2) TOEICテストの解説 ※実施曜日確認のこと
授業の概要	社会人としてのスタートを切るために必要な知識やスキルを総合的に学ぶ。分野に応じてそれぞれの専門家を招き、オムニバス形式で授業を行う。
予習	一般常識、時事問題、語彙力チェッククイズのための勉強(約2時間を要す)
復習	毎回の授業のタスクとフィードバックレポート作成(約2時間を要す)
テキスト	『JOB HUNTING GUIDE BOOK』沖縄キリスト教短期大学
参考書	授業内で、適宜紹介する。
評価方法・評価基準	毎回の授業のタスクとフィードバックレポート：30% 最終レポート：30% プレゼンテーション：20% 一般常識チェッククイズ：20% 【DP 1～5との関連】 .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(英語)の単位を授与する。
履修上の注意	スーツまたは、スーツに準じる服装で参加すること
オフィスアワー	毎週水曜日(11:30~12:30) 研究室
課題に対するフィードバック方法	各自のメールアドレスにて返還。

講義科目名称：エアラインサービス（夏季集中講座）

授業コード：

英文科目名称：Airline Service

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
夏期集中	1～2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
愛甲 香織			

授業のテーマ及び到達目標	1. エアラインサービススタッフの業務内容、必要とされる資質を理解する。 2. 日常生活の中で、マナー、ホスピタリティ、コミュニケーションに関心を持ち、実践する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 講座を通して学べることを確認</p> <p>第2回 キャビンアテンダント・グランドグランドスタッフの業務内容、業務特性</p> <p>第3回 サービスとは何か？事例に学ぶ顧客満足と顧客感動</p> <p>第4回 ホスピタリティとおもてなし</p> <p>第5回 ベーシックサービスマナーⅠ接客の5原則</p> <p>第6回 ベーシックサービスマナーⅡロールプレイ</p> <p>第7回 コミュニケーション 伝える力と聴く力</p> <p>第8回 チームビルディング 仲間と協力する力</p> <p>第9回 多文化理解、各国事情、日本の文化</p> <p>第10回 美しい日本語を話そう</p> <p>第11回 エアラインサービス外国語 世界のことば</p> <p>第12回 知っておきたい国際マナー</p> <p>第13回 知っておきたい食事のマナー</p> <p>第14回 ご高齢や障害のある方への対応</p> <p>第15回 エアライン面接対策 印象力アップの方法</p> <p>第16回 まとめ 試験（実技・筆記）</p>
授業の概要	キャビンアテンダント（客室乗務員）、グランドスタッフ（地上スタッフ）の業務内容について学び、航空会社の旅客サービスについての理解を深めます。エアラインサービススタッフとして必要とされる知識や技量、マインド等を研究し、将来の進路選択に役立てるコースです。さらに授業を通して、日常生活でよい人間関係を築くためのマナー、ホスピタリティやコミュニケーション力を学びます。
予習	航空に関する情報を自分で収集する
復習	学んだマナーや知識の確認として、「グローバル人材ビジネス実務検定」「サービス介助士」等、各種検定に挑戦する
テキスト	資料を配布予定
参考書	「グローバル人材ビジネス実務検定 公式テキスト」 その他適宜紹介する
評価方法・評価基準	<p>試験（実技・筆記）60％ 授業態度、積極性40％</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。

履修上の注意	【備考】参加型授業のため積極的な姿勢を希望
オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対する フィードバック方法	.

講義科目名称：航空ビジネス入門（夏期集中講座）

授業コード：

英文科目名称：Airline Business

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
夏期集中	1～2年	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
戸崎 肇			

授業のテーマ及び到達目標	航空ビジネスとはどのようなものか。そこで働く人々はどのような業務に携わっているのか。航空業界に就職するためにはどのような資質が求められるか。多角的に航空ビジネスを理解していく。
授業計画	<p>第1回 インTRODakション：本講義の全体像についての説明</p> <p>第2回 航空会社ではどのような仕事が行われているのか</p> <p>第3回 世界の航空市場について（アライアンス）</p> <p>第4回 日本の航空市場について（日本におけるLCCなど）</p> <p>第5回 インバウンドの急増と東京オリンピック、解決すべき問題</p> <p>第6回 パイロットという仕事について</p> <p>第7回 キャビン・アテンダントという仕事について</p> <p>第8回 整備という仕事について</p> <p>第9回 管制官、保安検査という仕事について</p> <p>第10回 航空会社におけるセールスという仕事について</p> <p>第11回 空港で働くということについて</p> <p>第12回 空港の整備場の見学</p> <p>第13回 客室乗務員の教育現場の見学</p> <p>第14回 ビジネス・ジェットの可能性</p> <p>第15回 本講義のまとめ</p> <p>第16回 定期試験</p>
授業の概要	講師による講義に加え、航空会社で実際に働いている人々（JTAなど）から話を伺う。また空港などの見学も行う。
予習	特に必要ではないが、日頃、航空に関するニュースにできるだけ興味を持って接するようにしてほしい。
復習	講義の内容について、関連することを自分でも調べてみよう。また、講師に積極的に質問してほしい。
テキスト	『1時間でわかる図解これからの航空ビジネス早わかり』中経出版
参考書	『観光立国論』現代書館
評価方法・評価基準	<p>試験（中間・期末試験）50%、小テスト・授業レポート20%、出席30%</p> <p>【DP 1～5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 .. 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の単位を授与する。
履修上の注意	講義時は不要な会話は行わず静粛に。ただ、講義中でも質問等があれば躊躇せず積極的に行うこと。
オフィスアワー	（仮）授業終了後に質問を受け付けます。

課題に対する
フィードバック方
法

.

講義科目名称：ホスピタリティ&ツーリズム

授業コード：

英文科目名称：・

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2年次	2単位(2-0)	選択科目
担当教員			
未定			

授業のテーマ及び到達目標	<p>知識理解：観光産業の仕組みの理解を深める 関心意欲：コミュニケーションツールとしての英語への関心を高める 思考判断：就職に向けて計画的に行動する 態度：意欲的に学び、実践する態度を身につける</p>
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン、沖縄県の観光産業と旅行者について</p> <p>第2回 空港の仕事 (How Airports Work)</p> <p>第3回 機内サービスの英語 (安全のための案内 など)</p> <p>第4回 空港見学</p> <p>第5回 ホテルの英語 (Hotel Language)</p> <p>第6回 ホテルの仕事 (How Hotels Work)</p> <p>第7回 ホテル見学</p> <p>第8回 カーレンタル、レストランの英語 (Car Rental Shop/ Restaurant Language)</p> <p>第9回 カーレンタル、レストランの仕事 (How Car Rental Shop/ Restaurants Work) (+見学)</p> <p>第10回 クルージングの英語とその仕事</p> <p>第11回 史跡 (首里城その他の城、拝所、ウタキ) の地理、歴史など</p> <p>第12回 史跡案内の英語</p> <p>第13回 旅行代理店の仕事</p> <p>第14回 鉄道・モノレールの仕事</p> <p>第15回 ITと観光</p> <p>第16回 期末試験</p>
授業の概要	沖縄の観光に関して実際的な知識と英語を学ぶ。
予習	日頃から関心を持って知識を得ておく。
復習	学習した知識、英語表現など、既習事項の徹底を図る。
テキスト	未定
参考書	未定
評価方法・評価基準	<p>定期試験 (中間・期末試験) 50% 授業への参加度 50%</p> <p>【DP 1~5との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> .. 1 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。 ○ 2 多文化・異文化に関する豊かな教養と社会人基礎力を身につけている。 .. 3 国際的な視野と批判的思考力を身につけている。 ○ 4 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。 ○ 5 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士 (英語) の単位を授与する。
履修上の注意	・

オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対する フィードバック方 法	.